

特276
598

朝鮮
滿洲
旅の
棧



始



滿鐵 鮮滿案內所
東京.大阪.名古屋.門司.下関.新潟

正誤表

頁數	行數	正	誤
一六	七	ツォーリスト	リ、リウ、ト
七四	一	本溪湖煤鐵有限公司	本溪湖鐵有限公司
一〇四	七	高速度	高速度
一〇九	四	車站大街	東、站、大、街
一一〇	七	實にこの	實の、この
一一四	一	白阿線	白、溫、線
一一六	一三	人口四萬二千(内、内地人三百六十)	人口 三萬五千(内、内地人二百余)
一二三	三	招來	招、來
一二四	五	ARSHAN	HALUNARSHAN
一二六	一〇	連絡	聯、絡

自	山海關	青島	濟南	張家口	北	京	塘沽
天津	3等 4.25 2等 8.50 1等 12.75	11.30 22.60 33.90	5.40 10.80 16.20	5.10 10.20 15.30	2.10 4.20 6.30	70 1.40 2.10	
塘沽	3等 3.60 2等 7.20 1等 10.80	12.00 24.00 36.00	6.10 12.20 18.30	5.80 11.60 17.40	2.80 5.60 8.40		
北京	3等 6.35 2等 12.70 1等 19.05	13.40 26.80 40.20	7.50 15.00 22.50	3.00 6.00 9.00			
張家口	3等 9.35 2等 18.70 1等 28.05	16.40 32.80 49.20	10.50 21.00 31.50				
濟南	3等 9.65 2等 19.30 1等 28.95	5.90 11.80 17.70					
青島	3等 15.55 2等 31.10 1等 46.65						

二六頁の支那鐵道主要驛間運賃表は誤謬に付本表を貼付使用され度

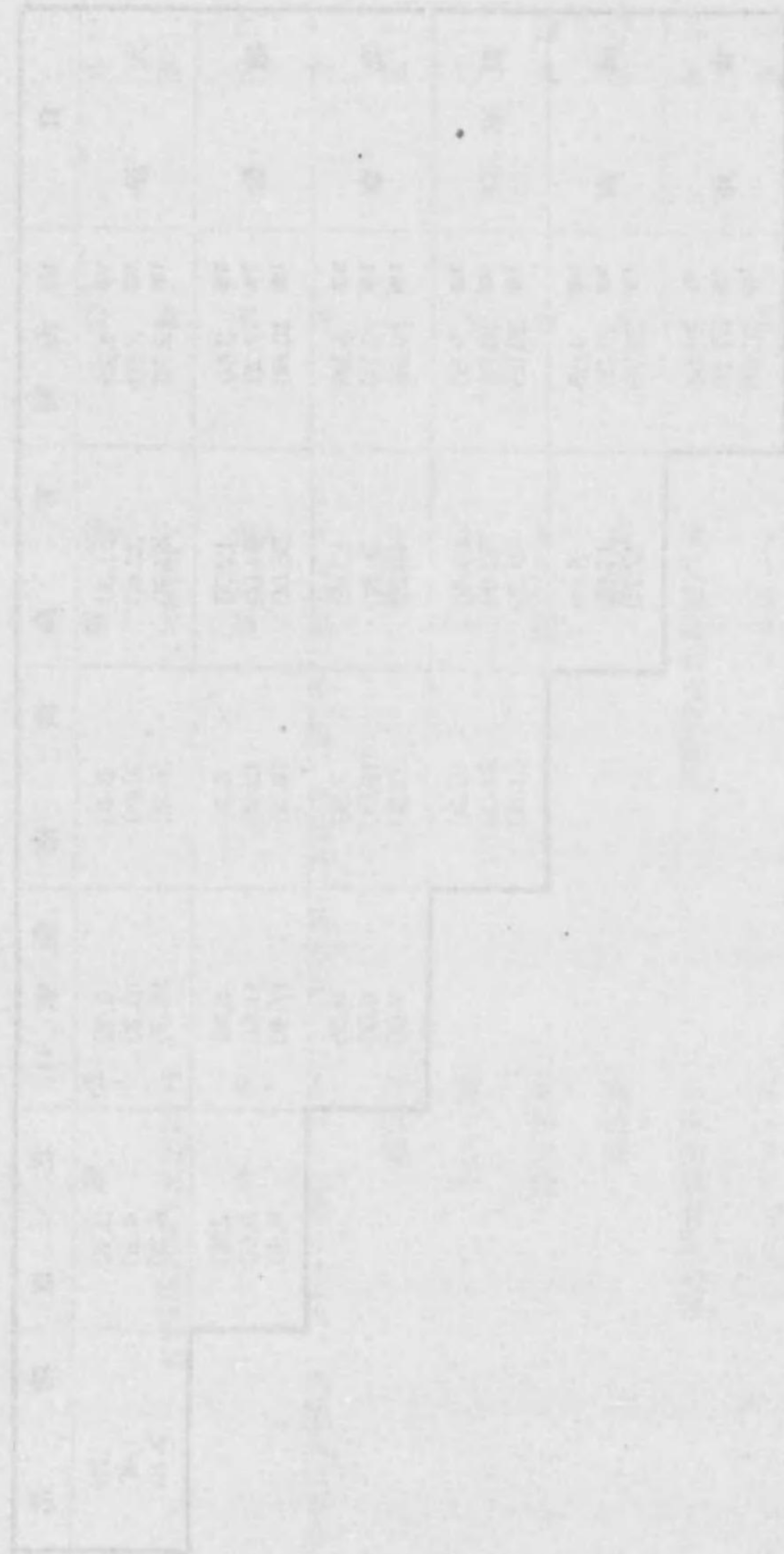
追加
頁數 八
行數 九

検査済の證印の次に「内地、朝鮮間を除く」挿入

朝鮮
滿洲 旅の栞

滿鐵・鮮滿案内所

東京・大阪・名古屋・門司・下關・新潟



特276
598



金剛山·萬物相



奉天·北陵

中國科學院
圖書館



中國科學院圖書館
8.21-2

292.1

滿朝鮮 旅の葉

目次

はしがき	一
旅行季節	二
服装と携帶品	三
旅館と宿泊料	四
單獨宿泊料	四
團體宿泊料	四
通貨	六
税關と土産物	七
特種地帯旅行の注意	一〇
乗車船券の求め方	三
單獨旅行の場合	三

團體旅行の場合……………一六
汽車、汽船旅客運賃表……………一七

都市案内編

朝鮮

釜山から京城へ……………三一

釜山、東萊温泉、海雲臺温泉、大邱、水原、京城、仁川

京城から安東へ……………四

平壤、兼二浦、新義州

釜山から慶州へ……………五

蔚山、佛國寺、慶州

大田から木浦へ……………五

木浦、麗水

京城から元山へ……………五

鐵原、洗浦、三防、元山

元山から會寧へ……………六

咸興、興南、西湖津、城津、吉州、朱乙温泉

金剛山……………三

北鮮線……………五

清津、雄基、羅津

滿洲

安東から奉天へ……………六

安東、本溪湖

奉天から大連へ……………七

奉天、撫順、遼陽、鞍山、湯崗子、營口、熊岳城、金州、大連、旅順

奉天から新京へ……………一〇

四平街、公主嶺、新京

新京から哈爾濱へ(哈爾濱)……………一〇七

四平街から齊々哈爾へ(洮南)……………一四

鄭家屯から大虎山へ(通遼)……………一六

齊々哈爾から北安へ(北安)……………一七

地 圖

鮮、滿、北支交通圖

北安から黒河へ(黒河).....	一三八
北安から三棵樹(濱江)へ.....	一三〇
哈爾濱から滿洲里へ.....	一三〇
齊々哈爾、海拉爾、滿洲里、阿爾山	
哈爾濱から綏芬河へ.....	一三五
牡丹江、綏芬河	
新京から圖們へ.....	一三七
吉林、圖們	
圖們から佳木斯へ(佳木斯).....	一三三
林口から虎林へ.....	一三四
奉天から山海關へ.....	一三四
錦州、興城、壺蘆島、山海關	
錦縣から承德へ(承德).....	一三九
支 那.....	一四〇
天津、北京、濟南、青島、上海、蘇州、杭州、南京	

寫 眞

朝鮮 金剛山 滿洲 奉天・北陵	
朝鮮 釜山・棧橋 京城・市街大街	
大邱・市場 平壤・牡丹臺	
滿洲 特急アジア 大連・埠頭	
奉天・大廣場 吉林・市街と松花江	
新京・大同廣場 哈爾濱・松花江	
安東・鴨綠江と鐵橋 承德・須彌福壽廟	
牡丹江・驛 撫順・滿鐵撫順露天掘	
永豐鎮・移民地風景、 滿洲の特産・大豆の積出し	
北支 北京・萬壽山 天津・繁華街	
青島・日本人街 濟南・大明湖	

はしがき

陸の生命線大陸は祖國日本にとつて國防、産業上の要衝であるだけでなく私達のさゝやかな生活にまで直接に又間接に大きな響きを持つて居る。

殊に再三度に互る聖戦により、水よりも濃い尊い血によつて培つて來た大陸は私達の父がそして兄弟が殉國の靈地であり、歴戦收撫の跡であるから一度は訪れて敬虔な祈りを捧げ、以つて黎明の新天地に嚴肅なる認識を求めることが、私達平和の戦士に遺された義務であらうと思ふ。

かゝる意味で、大陸歴訪者への便宜の爲に朝鮮總督府鐵道局並南滿洲鐵道株式會社が共同して設けて居る無料相談機關、滿鐵鮮滿案内所の利用が貴方の旅行を最も意義あらしめるであらう。

旅行季節

春……四月のなかばから六月にかけての鮮満は、櫻、桃、杏、胡藤が一時に咲いては最も愉快な旅行シーズンである。

夏……七月、八月は盛夏で、日中の気温は内地より幾分上昇するも、大陸氣候の影響を受けて大氣が乾燥してゐるので、内地よりは却つて凌ぎよく、殊に夕方から朝にかけての涼味は大陸ならでは味はへぬ快適さである。

秋……八月末から十月中旬にかけては爽涼の秋で、車窓に映る深山の紅葉、曠野千里の大觀は、又格別である。

冬……大陸の冬は三寒四温と云つて、寒さが三日續けば次には暖い日が四日續くといふやうに、自然の調和による氣候の循環が極めて規則的なので寒さも案外凌ぎよく、殊に室内は暖房が完備してゐるので旅もさほど苦痛ではない。この季節は鮮満ともに物資の出廻りが活潑を極め、又スキー、スケート、銃獵等が楽しめる。

服装と携帯品

服装は四季を通じて輕快な洋服が總ての點で望ましい。嚴寒奥地の旅行でないかぎり服装は内地のまゝで充分で、冬の旅行でも厚手の外套を用意すれば、殊更防寒具の必要はない。

雨も内地に比較すれば極めて少いから、雨期と云はれる夏でも洋傘を携行するよりはレインコートの方が夜汽車などの冷氣に備へて便利である。

携帯品としては、内地の旅行と取立てゝ區別はないが、旅の常備として、水あたり、食あたり、の豫防薬と夏でも塵埃除としてマスク位は用意した方がよい。

その他大概の品物は行く先々で間に合ふから、嵩張つたり、荷厄介になるものは可成避けた方がよい。着がへのワイシャツ類も鮮満の旅館では一晩でクリーニングして呉れるから澤山携帯するには及ばない。荷物は小さな包みを幾つにもせず、自分で運搬し得る程度の鞆一箇又はリュックサックに纏める方が心も軽く、身も輕くていい。

鐵道沿線を離れて奥地に入る方は別として、拳銃、刀劍類の持参は却つて危険を伴ひ、且當局の許可證がなければ携行を許されぬから注意を要する。

旅館と宿泊料

旅行に際して先づ、気がかりなものは旅館であり、その選擇、泊り方で旅行そのものを愉快にしたり、又不愉快にもするのである。

旅館を何處に求むべきかの不安ばかりでなく、その宿泊料、茶代、チップ等の心づかひは常に旅行者の心荷となるものであるが、鮮滿では一律に茶代、廢止協定があり、旅館使用人の心附も大體勘定の割乃至二割程度をやれば申分ない。

◎單獨宿泊料

洋式ホテル……歐・米兩式があり、室料は一人室、凡そ三圓以上、食事は朝食一圓五〇錢、晝食二圓、夕食二圓五〇錢程度。

和式旅館……一泊二食付、凡そ一等六圓以上、二等五圓、三等四圓程度。

◎團體宿泊料

鮮滿とも地方により料金に多少の開きはあつたが、旅館協定により團體宿泊料は大體左記標準による。

◎鮮滿團體宿泊料金及食料料金表

註—學生團體ハ一泊三食附、其他ノ團體ハ一泊二食附料金ヲ示ス

團體種別	地域別		料金				基本料金	宿 泊 料			食 事 料			辨當
	滿洲	朝鮮	基本料金	朝食	晝食	夕食		朝食	晝	夕				
中等學生團體	滿洲	朝鮮	一、八〇	一、八〇	一、七五	一、五〇	六〇	一	八〇	三五				
	朝鮮	朝鮮	二、〇〇	一、八〇	一、八〇	一、六〇	六〇	一	九五	四〇				
大學生團體	滿洲	朝鮮	二、六〇	二、二五	二、二五	二、〇〇	七〇	一	二〇	三五				
	朝鮮	朝鮮	二、六五	二、二五	二、三〇	二、〇〇	八〇	一	一五	四五				
青年團	滿洲	朝鮮	三、〇〇	二、二〇	二、四〇	二、〇〇	八〇	一	二〇	五〇				
	朝鮮	朝鮮	二、六五	二、二〇	一、八五	一、五〇	九〇	一	四〇	五五				
一般團體	滿洲	朝鮮	三、八〇	三、一五	二、五五	二、二〇	一、〇〇	一	六〇	二、二〇				
	朝鮮	朝鮮	三、五〇	三、一五	二、五〇	二、〇〇	一、〇〇	一	六〇	二、〇〇				

備考 十三年六月一日より

通貨

朝鮮内にあつては朝鮮銀行紙幣、滿洲内にあつては滿洲國紙幣が通貨になつてゐるが、日本貨幣（日本銀行券、朝鮮銀行券）は鮮滿孰れの地でも等價で流通してゐる。

なほ滿洲國幣、朝鮮銀行紙幣は大連驛樞内國幣無料交換所、奉天、新京、圖們、上三峰、安東の各驛樞内賣店並大連埠頭、釜山棧橋の朝鮮銀行出張所で、等價無料で兩替して呉れるから内地に歸還する者は右のいづれかの場所で所持の滿洲國幣及朝鮮銀行券を日本銀行券に兩替する事を忘れてはならぬ。

旅行小切手

旅行中多額の現金を携帯することは盜難、紛失の恐れがあるのみでなく相當氣懸りなものであるから、當座の現金を除いて絶對安全な旅行小切手の利用をお薦めしたい。

この旅行小切手は各地の日本旅行協會（ツーリスト・ビュロー）で發賣し、種類は貳拾圓券、五拾圓券、百圓券の三種で、手数料は百圓又はその端數毎に貳拾五錢である。

現金の引換は鮮滿支各主要都市にある日本旅行協會又は第百銀行支店及取引銀行で簡單に引換が出来る。

税關と土産物

日本と滿洲に輸出入される品物は夫々輸入税を課せられるのが原則であつて、土産に持ち歸る萬年筆一本に對して課税されても旅客としては止むを得ない譯であるが、税關は輸出入禁制品その他の正當なる輸出入を保護する爲に検査をするので、殊に旅行者が土産に持ち歸る程度の些少の品物に對しては、極めて寛大である。

通關の秘訣は「正直なる申告」であつて、事實を偽つたり、又はかくすやうなことがあると、反つてとんでもない結果になる。

一、通關

イ、大連から大阪商船定期船で、門司又は神戸に向ふ場合、携帶品は船中で、託送手荷物（チツキ預けの荷物）は門司又は神戸税關で日本税關の検査がある。

内地から大連に行く場合には大連は自由港であるから關東州内着の場合には税關検査はない。

ロ、關釜連絡船及裏日本北鮮航路による場合は往復路とも船内で税關の簡單な検査がある。

ハ、鮮滿の國境、安東、圖們又は上三峰を通過する場合は、列車内持込の携帶品は車内で、託送手荷物は驛ホームの税關検査所で朝鮮及滿洲税關の検査があるから、必ず通關に立會はねばならぬ。

託送手荷物を先送した場合には、先づ列車内で携帯品の通關を済ましてから直に驛ホームの検査場で係員に託送手荷物の通關が済んでいるか否かを確める事が必要である。

ニ、大連驛から滿洲國內（普蘭店驛以北の關東州外）に入る場合には大連驛手小荷物検査所で、携帯品及託送手荷物の滿洲國稅關検査を受けねばならぬ。滿洲國から關東州に入る場合は關東州境の列車中で煙草と酒類に對して關東州廳日本官吏の簡易な検査が行はれる。

二、旅行具と引越荷物

一般旅行者の旅具及引越荷物（商品又は商賣道具を除く）は特殊の物を除いて免税して呉れる。

三、土産物

煙草は自用と認められた場合に限り、左記の數量以内免税されるが、必ず検査済の證印を受けねばならぬ。

紙 卷……………百 本まで
但し一人につき何れか一種に限られ、葉卷、紙卷兩方の場合は
葉 卷……………五十本まで
各々その半量
刻 ……………三十匁まで

左記は何れも旅行者の身分、職業、旅行の目的、行程等の諸事情を斟酌して稅關吏が認定で免税するのであるから、これを定量として主張することは出来ないが、この程度の土産ならば先ず免税される。

砂糖、菓子類……………合せて十斤迄

ロシヤ 飴……………三罐位迄

絹 紬……………一反

織物 絹 緞……………十尺

緞 子……………十尺

一人に付何れか一品に限る

支那 素 麵……………十斤位迄

甘 栗……………七百匁位迄

寫眞機、毛皮、麻雀、雙眼鏡、寶石類等の奢侈品は一つでも輸入地市價の十割の輸入稅が課せられ、骨牌類は輸入稅の他に麻雀は一組につき三圓、トランプ、花札は一組につき五十錢の骨牌稅が課せられる。但しトランプ、花札は何れか一組に限り免税される。

四、携帯品の證明

内地から携帯される寫眞機、望遠鏡等の高價品は歸國の際、新舊に拘らず輸入品と看做されて課税される惧があるから、豫め左記の如き携帯品明細書を作成し、稅關箇所（神戸、門司、安東、圖們等の日本側稅關）で携帯證明を受けて置く必要がある。

寫真機 雙眼鏡 携帶明細書

代表者 住所 東京市赤坂區葵町二番地

氏名 滿洲野行雄

品名	種類(型)	(品質別) 新古別	生産地	數量	價 格	番 號	住 所	氏 名
寫真機	キヤビネ型	新	大阪	一	五〇〇〇	一二三四	大阪市東區安土町二ノ五六	甲野太郎
"	"	古	東京	一	五〇〇〇	五六七八	門司市西海岸通	乙原次郎
"	"	"	"	一	五〇〇〇	七五三	東京市赤坂區葵町二	滿洲野行雄

特種地帯旅行の注意

滿洲國では國防及治安上の見地から國境地帯法を制定して、左記地帯内の旅行には一定の制限が設

けられてゐる。

虎 林 線 奎 山 驛 以 東
 濱 綏 線 代 馬 溝 驛 以 東
 北 黑 線 額 雨 驛 以 北
 濱 洲 線 興 安 驛 以 西

國境地帯法による地域を旅行する場合は、豫め内地の警察署で居住、證明書の發給を受け、寫真二葉(六ヶ月以内に撮影の名刺型半身脱帽のもの)を添附して、最初の入滿地(例へば、大連、安東、圖們等)所轄警察署で左記の旅行許可書の發給を受けて携行しなければならぬが日程の都合では奉天、新京、哈爾濱等の警察でも差支ない。

旅行許可願(本願書は二通提出を要す)

契

寫 眞

氏 名
年 齡
性 別

- 一、本籍又は出生地
- 一、現住所

- 一、戸主トノ續柄
- 一、職業
- 一、旅行ノ目的
- 一、旅行徑路及行先地
- 一、旅行期間

右ニ依リ旅行許可相成度寫眞添附此段願出候也

年 月 日

領事館、警察署長宛

右 氏 名 ㊟

乗車船券の求め方

朝鮮滿洲方面への旅行には、内地主要驛で連絡乗車船券が發賣されてゐる。この連絡切符は内地主要驛の外、東京、大阪、下關、門司の滿鐵鮮滿案内所及各地のツーリスト・ビュローに於ても發賣されてゐる。切符はなるべく格安で手數の省ける往復又は廻遊切符をお求めになる方がよい。

單獨旅行の場合

内地朝鮮往復券……鐵道省線、朝鮮線の各驛相互間に發賣し、運賃二割引、通用期間二ヶ月。
内地滿洲往復券(朝鮮經由)……鐵道省線と滿鐵線各驛及滿洲國線主要驛の相互間に發賣し、運賃二割

引、通用期間二ヶ月。

内地滿洲往復券

(大阪商船會社
北日本汽船會社
日本海汽船會社) 航路經由

鐵道省線主要驛と滿鐵線、滿洲國線の主要驛相互間に發賣し、鐵道(鐵道省航路を含む)二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月。

内鮮滿周遊券……内地から鮮滿を周遊する場合最も便利な切符で、通用期間二ヶ月、運賃は各鐵道(鐵道省航路を含む)二割引、汽船一割引で周遊徑路、發賣驛その他は左記の項を参照願ひたい。

一、徑路

- A、發驛—釜山—京城—安東—奉天—新京—哈爾濱—新京—大連—門司又ハ神戸—發驛。
- B、發驛—敦賀—北鮮港—吉林—新京—奉天—大連—門司—又ハ神戸—發驛。
- C、發驛—敦賀—北鮮港—拉法—哈爾濱—北安—齊々哈爾—洮南—四平街—奉天—大連—門司又ハ神戸—發驛。
- D、發驛—敦賀—北鮮港—新京—奉天—安東—京城—釜山—下關—發驛。
- B、發驛—敦賀—北鮮港—拉法—哈爾濱—北安—齊々哈爾—洮南—四平街—奉天—安東—京城—釜山—下關—發驛。

二、發賣驛

東京、新橋、横濱、静岡、名古屋、京都、大阪、門司、博多、熊本、西鹿兒島、鹿兒島、長崎、敦賀（但しA徑路及E、C、D、Eの反對徑路の場合敦賀にては發賣せず）

三、運賃割引證

本券には左記區間の往復運賃二割引の割引證が附隨してゐる。

A 徑路 京城—仁川、奉天—撫順、大連—旅順、大連—青島又は上海（片道に限る）

B 徑路 輪城—朱乙、奉天—撫順、大連—旅順、四平街—通遼、鄭家屯、洮南又は齊々哈爾、奉天—錦縣又は山海關、新京—哈爾賓、圖們—牡丹江。

C 徑路 輪城—朱乙、奉天—撫順、大連—旅順、四平街—新京、奉天—錦縣又は山海關、鄭家屯—通遼、拉法—吉林又は新京、齊々哈爾—滿洲里、哈爾濱—綏芬河又は牡丹江、圖們—牡丹江。

D 徑路 京城—仁川、輪城—朱乙、奉天—撫順、奉天—大連、大連—旅順、四平街—通遼、鄭家屯、洮南又は齊々哈爾、奉天—錦縣又は山海關、新京—哈爾濱、圖們—牡丹江。

E 徑路 C 徑路に京城—仁川、奉天—大連を加ふ。

四、本券は各鐵道とも途中下車は隨意で、鐵道省線内は東海道線、中央線、山陰線、關西線の孰れを徑路とするも任意である。

五、周遊券は二、三等の二種類（學生、生徒は三等に限る）で、一等車船室の設けある區間は一等に乗換の取扱が出来る。

六、教職員及學生に對する周遊券は各運輸機關毎に學生割引證所定の割引率により計算したる運賃を合算する。

東亞遊覽券

前項内鮮滿周遊券の條件では都合の悪い鮮滿廻遊の場合と、内地と滿洲、支那に跨り往復又は廻遊する場合には本券が便利である。

この切符が内鮮滿周遊券と異なる點は

一、徑路選擇の自由

内地省線の主要驛を出發して、鮮滿或は支那にも足を伸して廻遊する場合、視察コースを自由に定める事が出来る、但し下記諸港の孰れかを徑路中に含めること、大連、天津、青島、上海、南京、漢口、廈門、汕頭、香港、廣東。

二、乗車船等級の自由

乗車船の等級は各運輸機關毎に自由に選擇が出来る。

三、運賃割引

- 鐵道（鐵道省航路を含み、支那鐵道を除く）二割引、汽船各航路共一割引。
- 四、通用期間 三ヶ月
- 五、東亞遊覽券の發賣は各地のツーリスト・ビュローのみが取扱ふ。
- 六、教職員及學生に對しては各運輸機關毎に學生割引證所定の割引率により計算したる運賃を合算して發行する。

團體旅行の場合

十人以上の團體で鮮滿を旅行する場合、豫め滿鐵鮮滿案内所、又はリトリウト・ビュローに申出れば團體としての取扱をうけ、高率の運賃割引と特別の便宜（一切無手数料で……旅行計畫の相談、乗車船の豫約、旅館の手配、乗物の斡旋が受けられる。

一、團體割引率（往復又は廻遊）

人員	種別		鐵道省線		朝鮮線		滿鐵線		北滿線		滿洲國線		北鮮航路		大連航路	
	學生	普通	學生	普通	學生	普通	學生	普通	學生	普通	學生	普通	學生	普通	學生	普通
二十人以上	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	二割五分	二割五分	三割	三割
十人以上	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	二割五分	二割五分	一割五分	一割五分
十人以上	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	五割	二割五分	二割五分	一割五分	一割五分

五十人以上	普通		學生	
	五割	五割	五割	五割

註、二十人以上五十人迄の團體に對しては内一人を、五十人以上の團體に對しては、五十人毎に内一人を世話人として、各鐵道（鐵道省航路を含む）無賃、朝鮮線、滿鐵線、滿洲國線、滿鐵北鮮線は急行料も不要。

汽車、汽船の旅客運賃表

各鐵道及汽船の運賃及急行料金は左表の通りで、前項の單獨及團體の割引運賃を計算する場合は、本運賃を基礎に計算する。

附記 鐵道省線の旅客運賃は、遠距離の場合遞減するも鮮滿は距離比例制である。

鐵道省線主要驛間運賃表

自	東京	仙臺	青森	名古屋	大阪	廣島	下關	博多	長崎	鹿兒島	新潟
下關	3等 9.57 2等 19.14	11.79 23.58	12.71 25.42	7.22 14.44	5.85 11.70	2.76 5.52	1.34 2.58	3.26 6.42	4.67 9.24	9.94 19.88
釜山	3等 13.12 2等 26.24	15.34 30.68	16.26 32.52	10.77 21.54	9.40 18.80	6.31 12.62	3.55 7.10	4.79 9.58	6.81 13.52	8.22 16.34	13.49 26.98
門司	3等 9.67 2等 19.24	11.89 23.68	12.81 25.52	7.32 14.54	5.95 11.80	2.86 5.62	0.10 ...	1.24 2.48	3.16 6.32	4.57 9.14	10.04 19.98
三ノ宮	3等 6.19 2等 12.38	8.57 17.14	9.50 19.00	2.95 5.90	0.49 0.98	3.87 7.74	5.62 11.24	6.31 12.62	7.45 14.80	8.45 11.70	6.53 13.26
敦賀	3等 5.50 2等 11.10	7.51 15.02	8.30 16.60	1.89 3.78	2.29 4.58	5.52 11.04	7.00 14.00	7.65 15.20	8.68 17.26	9.59 19.08	5.19 10.38
新潟	3等 4.14 2等 8.28	4.28 8.56	5.35 10.70	5.27 10.54	6.41 12.82	8.66 17.32	9.94 19.88	10.53 20.96	11.55 23.00	12.47 24.84
長崎	3等 11.18 2等 22.26	13.40 26.70	14.33 28.56	8.88 17.66	7.67 15.24	5.17 10.24	3.26 6.42	2.32 4.64	4.78 9.56	11.55 23.00

鐵道省線急行料金

種別	普通			急行			特別			急行		
	3等	2等	1等	3等	2等	1等	3等	2等	1等	3等	2等	1等
400 軒 迄	0.65		1.30	2.00		2.00	1.30		2.50		4.00	
800 軒 迄	1.00		2.00	3.00		3.00	2.00		4.00		6.00	
801 軒 以上	1.25		2.50	3.75		3.75	2.50		5.00		7.50	

鐵道省線運費料金

種別	汽 車			汽 船		
	3等	2等	1等	釜山—下關	青森—函館	
上 段	1.00	3.00	5.00	3等	2等	3等
中 段	1.30	上段 0.80	" 1.00	...
下 段	1.50	4.50	7.00	下段 1.00	" 1.30	...

朝鮮線主要驛間運賃表

自	釜山	輪城	元山	平壤	仁川	京城	大田	大邱
安東	3等 14.73 2等 26.60 1等 41.90	19.52 35.26 43.31	11.27 20.36 23.41	3.71 6.70 10.52	8.36 15.10 23.24	7.75 14.00 22.00	10.34 18.68 29.35	12.79 23.10 36.30
大邱	3等 1.94 2等 3.50 1等 5.50	16.73 30.22 35.39	8.48 15.32 20.49	9.10 16.44 25.83	5.38 9.72 14.79	5.06 9.13 14.35	2.47 4.46 7.00	
大田	3等 4.41 2等 7.96 1等 12.50	14.28 25.79 28.43	6.02 10.87 13.51	6.64 11.99 18.84	2.92 5.27 7.81	2.61 4.71 7.40		
京城	3等 7.00 2等 12.63 1等 19.85	11.78 21.28 ...	3.52 6.36 ...	4.05 7.31 11.49	.61 1.10 ...			
仁川	3等 7.31 2等 13.19 1等 20.26	12.30 22.21 ...	4.03 7.23 ...	4.65 8.40 12.72				
平壤	3等 11.04 2等 19.94 1等 31.33	15.83 28.59 32.81	7.57 13.67 17.89					
之山	3等 10.41 2等 18.79 1等 25.96	8.27 14.93 ...						
輪城	3等 18.67 2等 33.72 1等 40.89							

△印、京元線、成北線、京仁線ハ一等車ヲ連絡シマセンカ異線連絡運賃ヲ表示シテアリマス

朝鮮線普通急行料金 △印ハ鮮滿直通急行料金

自	釜山	新京城	奉天	安東	平壤	乙
京城	3等 .75 2等 1.50 1等 2.50	△ 1.25 △ 2.50 △ 3.75	△ 1.00 △ 2.00 △ 3.00	.75 1.50 2.50	.50 1.00 2.00	1.00 2.00 3.00
平壤	3等 1.00 2等 2.00 1等 3.00	△ 1.25 △ 2.50 △ 3.75	△ 1.00 △ 2.00 △ 3.00	.50 1.00 2.00		
安東	3等 1.25 2等 2.50 1等 3.75	1.00 2.00 3.00	.50 1.00 2.00			
奉天	3等△ 1.25 2等△ 2.50 1等△ 3.75	.75 1.50 2.50				
新京城	3等△ 1.50 2等△ 3.00 1等△ 4.50					

特別急行料金 (あかつき號)

釜山—京城	3等	2等	1等
	1.20	2.50	4.00

朝鮮線運費料金

種別	上段	中段	下段
3等	1.00	1.50	1.80
2等	3.00	...	4.50
1等	5.00	...	7.00

滿鐵線主要間運賃表

自	大連	新京	四平街	撫順	奉天	營口	鞍山	旅順
安東	9.96 3等 17.98 1等	9.01 16.27 25.57	7.23 13.05 20.51	4.90 8.85 13.18	4.28 7.73 12.15	6.59 11.90 18.34	5.18 9.36 14.70	10.61 19.16 29.29
旅順	.93 3等 1.68 1等	11.54 20.84 31.93	9.74 17.59 26.82	7.43 13.42 19.50	6.81 12.30 18.51	4.72 8.52 12.25	5.43 9.80 14.59	
鞍山	4.78 3等 8.63 1等	6.13 11.06 17.38	4.33 7.82 12.28	2.00 3.62 4.95	1.40 2.52 3.96	1.42 2.55 3.65		
營口	4.07 3等 7.34 1等	7.52 13.58 20.98	5.72 10.34 15.92	3.41 6.16 8.55	2.79 5.04 7.61			
奉天	6.16 3等 11.12 1等	4.73 8.54 13.42	2.95 5.32 8.36	.89 1.60 1.78				
撫順	6.78 3等 12.24 1等	5.62 10.14 15.20	3.83 6.92 10.10					
四平街	9.09 3等 16.41 1等	1.80 3.25 5.11						
新京	10.89 3等 19.66 1等							

△印、旅順線、撫順線、營口線へ
等車ヲ連結シテセゾンカラ異級連絡
運賃ヲ表示シテアリマス

滿鐵線普通急行料金 △印ハ鮮滿連絡急行料金

自	大連	鞍山	京城	安東	鞍山	奉天	新京
哈爾濱	1.50 3等 3.00 1等	2.00 4.00 6.50	1.75 3.50 5.75	1.50 3.00 5.00	1.25 2.50 4.50	1.25 2.50 4.50	.50 1.00 2.00
新京	1.00 3等 2.00 1等	1.50 3.00 4.50	1.25 2.50 3.75	1.00 2.00 3.00	.75 1.50 2.50	.75 1.50 2.50	
奉天	.75 3等 1.50 1等	1.25 2.50 3.75	1.00 2.00 3.00	.50 1.00 2.00	.50 1.00 2.00	.50 1.00 2.00	
鞍山	.75 3等 1.50 1等	1.25 2.50 3.75	1.00 2.00 3.00	1.00 2.00 3.00	.75 1.50 2.50	.75 1.50 2.50	
安東	1.25 3等 2.50 1等	1.25 2.50 3.75	.75 1.50 2.50	1.00 2.00 3.00	.75 1.50 2.50	.75 1.50 2.50	
京城	1.75 3等 3.50 1等	.75 1.50 2.50	1.50 3.00 4.50	1.50 3.00 4.50	1.50 3.00 4.50	1.50 3.00 4.50	
鞍山	1.75 3等 3.50 1等	.75 1.50 2.50	1.50 3.00 4.50	1.50 3.00 4.50	1.50 3.00 4.50	1.50 3.00 4.50	
大連	2.00 3等 4.00 1等	1.50 3.00 5.00	2.00 4.00 6.00	2.00 4.00 6.00	2.00 4.00 6.00	2.00 4.00 6.00	

鐵線運費料金

種別	上段	中段	下段
3等	1.00	1.50	1.80
2等	3.00	...	4.50
1等	5.00	...	7.00

特別急行料金 (あじお號)

鞍山	1.50	2.00	4.00
京城	1.50	2.00	4.00
奉天	1.50	3.00	5.00
大連	2.00	4.00	6.00

滿洲國線主要驛間運賃表 △印ハ一區間一等車ヲ連結シテセンカラ異級連絡運賃ヲ表示シテアリス

新 京 か か か	哈爾濱	牡丹江	綏芬河	林口	佳木斯	密山	虎林	海拉爾	滿洲里	吉林	圖們
	3等 4.36	10.75	14.21	12.73	16.71	15.81	18.76	17.82	21.19	2.31	9.51
	2等 7.26	17.91	23.67	21.21	27.54	26.34	31.26	29.70	35.31	3.84	15.84
	1等 12.10	29.85	39.45	35.35	46.40	△ 40.48	△ 45.43	49.50	58.85	6.40	26.40

奉 天 か か か	溝帮子	錦縣	遼寧島	山海關	承德	北票	赤峰	東阜新
	3等 3.12	4.25	5.40	7.56	12.10	6.29	10.88	3.74
	2等 5.19	7.08	9.00	12.60	20.16	10.47	18.12	6.75
	1等 8.65	11.80	△ 14.77	21.00	33.60	△ 17.09	△ 27.11	△ 9.80

滿洲國線急行料金

自	奉天	山海關
錦縣	.50	.50
	1.00	1.00
	2.00	2.00

山海關	.75	吉林
	1.50	2.50

圖 們 か か か	敦化	吉林	新京	牡丹江	林口	佳木斯	密山	虎林
	3等 3.42	7.22	9.51	4.49	6.47	10.46	9.54	12.51
	2等 5.70	12.03	15.84	7.47	10.77	17.43	15.90	20.85
	1等 9.50	20.05	26.40	12.45	17.95	29.05	△ 23.08	△ 28.03

吉林	.75	吉林
	1.50	2.50
新京	1.00	2.00
	2.00	3.00

四平街 か か か	鄭家屯	通遼	洮南	齊々哈爾	海拉爾	滿洲里	北安	黑河
	3等 1.68	3.75	5.78	10.30	18.62	21.98	14.46	19.91
	2等 2.79	6.24	9.63	17.16	31.02	36.63	24.09	33.18
	1等 4.65	△ 8.10	16.05	28.60	△ 51.56	△ 60.91	40.15	△ 55.30

北鮮線主要驛間運賃表

自	輪城	羅津	雄基	清津	會亭	上三峰
圖們	3等 2.56 2等 4.62 1等 7.26	2.53 4.57 7.18	2.30 4.15 6.52	2.70 4.88 7.66	1.24 2.24 3.52	.62 1.12 1.76
上三峰	3等 1.96 2等 3.53 1等 5.55	3.04 5.49 8.63	2.79 5.04 7.92	2.10 3.78 5.94	.64 1.15 1.81	
會亭	3等 1.32 2等 2.38 1等 3.74	3.66 6.61 10.39	3.43 6.19 9.73	1.46 2.64 4.14		
清津	3等 .14 2等 .26 1等 .40	5.12 9.24 14.52	4.89 8.82 13.86			
雄基	3等 4.75 2等 8.57 1等 13.47	.25 .45 .71				
羅津	3等 4.98 2等 8.99 1等 14.13					

支那鐵道主要間運賃表

自	山海關	青島	濟南	張家口	北京	塘沽	
天津	3等	4.25	11.25	5.40	5.35	2.10	7.0
	2等	8.50	22.50	10.90	10.70	4.20	1.40
	1等	12.75	33.75	16.20	16.05	6.30	2.10
塘沽	3等	3.60	11.85	6.00	6.00	2.80	
	2等	7.20	23.70	12.00	12.00	5.60	
	1等	10.80	35.50	18.00	18.00	8.40	
北京	3等	6.35	13.35	7.45	3.25		
	2等	12.70	26.70	14.90	6.50		
	1等	19.05	40.05	22.35	9.75		
張家口	3等	9.10	16.55	10.65			
	2等	18.20	33.10	21.30			
	1等	27.30	49.65	31.95			
濟南	3等	9.60	5.95				
	2等	19.20	11.90				
	1等	28.80	17.85				
青島	3等	15.55					
	2等	31.10					
	1等	46.65					

特別急行料金 (普通急行へ急行料不要)

等級	1等	2等	3等
料程	0.60	0.30	0.15
100料又へ其ノ未滿毎			

汽船會社名	區間	3等	2等	1等	等
鐵道省(連絡船)	下關—釜山 青森—函館	3.55 1.75	7.10 3.50		12.15 6.25
川崎汽船	下關—麗水	3.55	6.50		...
大阪商船	神戶—大連	19.00 17.00	45.00 37.00		65.00 55.00
北日本汽船	敦賀—清津	15.00 16.00	30.00 32.00		45.00 48.00
日本海汽船	新潟—清津	15.00	30.00		45.00
近海郵船	鹿兒島—大連	(特3) 17.00 15.50 14.00 12.00	...		32.00 28.00

大連汽船	新瀉—大連	18.00	...	40.00
郵船、商船、原田	神戶 └─青島	20.00 16.00	46.00 38.00	69.00 57.00
大阪商船	神戶 └─天津	22.00 19.00	58.00 48.00	80.00 70.00 60.00
近海郵船	神戶 └─天津	A B A B 19.00 15.50	...	80.00 70.00 53.00 70.00 60.00 45.00
日本郵船	神戶 └─上海	上海線 21.00 聯絡船 23.00 上海線 19.00 聯絡船 18.00	52.00 250.00 145.00 83.00 78.00 40.00 150.00 88.00 50.05 45.00

— 表 —

大連汽船	大連—天津	6.00 8.00	...	20.00 23.00 27.00
大連汽船	大連—青島 └─大連 └─上海	8.00 8.00 18.00 18.00 12.00	24.00 24.00 50.00 50.00 36.00	36.00 36.00 75.00 75.00 55.00
日清汽船	上海 └─南京 └─漢江	弗 弗 4.60 16.00	弗 弗 17.00 40.00	弗 弗 24.00 60.00

— 表 —

日滿支連絡(航空)旅客運賃

(普通便)

東京	17	25	55	90	102	130	129	147	182	163	185	254
名古屋	8	38	73	85	113	112	130	165	146	168	237	
大阪	30	65	77	105	104	122	157	138	160	229		
福岡	35	47	75	74	92	127	108	130	199			
京城	12	40	39	57	92	92	73	95	164			
平壤	28	27	45	80	61	83	152					
大連	23	41	52	57	79	148						
奉天	18	75	52	57	79	148						
天津	93	75	34	56	125							
新	21	16	38	107								
京	93	16	38	107								
津	109	131	200									
哈爾濱	22	91										
齊々哈爾	69											
滿洲里												

(急行便)

東京	17	25	55	90	102	130	129	147	182	163	185	254
名古屋	8	38	73	85	113	112	130	165	146	168	237	
大阪	30	65	77	105	104	122	157	138	160	229		
福岡	35	47	75	74	92	127	108	130	199			
京城	12	40	39	57	92	92	73	95	164			
平壤	28	27	45	80	61	83	152					
大連	23	41	52	57	79	148						
奉天	18	75	52	57	79	148						
天津	93	75	34	56	125							
新	21	16	38	107								
京	93	16	38	107								
津	109	131	200									
哈爾濱	22	91										
齊々哈爾	69											
滿洲里												



釜山・棧橋 (滿洲國鐵本公司重要機關)



京城・市街大景



大邱・市場



平壤・牡丹臺

釜山から京城へ……………(四五〇軒五) 京釜本線

釜山を發し北行して半島の中央京城に達する線路を京釜本線と云つて此の線は朝鮮縦貫線の一部で次の各線が分岐してゐる。

- 東海南部線 (釜山鎮から慶州に至る)
- 慶全南部線 (三浪津から馬山、晋州及鎮海に至る)
- 東海中部線 (大邱から慶州を経て鶴山に至る)
- 湖南本線 (大田から木浦に至る)
- 京仁線 (南京城から仁川に至る)

右の外朝鮮鐵道會社線の慶北線が金泉から、忠北線が烏致院から、又天安からは京南鐵道會社線の京畿、忠南の兩線が東西に、水原から京東鐵道會社線の京東線、水仁線が孰れも分岐してゐる。

釜山 (京釜本線起點)

朝鮮東南端の主要貿易港で煙波三十湮を隔てて壹岐、對馬と相對し朝鮮海峽を越えて百二十湮の彼

方下關との間には朝夕二回の關釜連絡船が定期運航し鮮滿鐵道と連絡して歐亞大陸に通ずる大玄關の樞要な地位を占め又北九州商船會社の博多行定期便も毎日一往復運航し、内地との交通は至つて便利となつてゐる。

關釜連絡船の横付になる棧橋は僅か數十歩の距離で列車に接続し旅客待合所、出札所、手荷物取扱所、貨幣交換所、電信取扱所、ツーリスト、ビュローの外凡ての設備が整つてゐる。又棧橋から土産品賣店の前を通り抜けると釜山本驛がある。

釜山は朝鮮の情緒を味ひ得ぬ程内地化して、現在人口十五萬六千餘、内内地人五萬一千人、整然とした街衢には官衙公署、大會社商店が軒を並べ、慶南道廳の所在地となつてからは益々殷賑を極めてゐる。

釜山港は遠く四百七十年前對島守宗氏が修交の誼を結び日韓通商を約したに始まり、明治九年朝鮮最初の貿易港として開港され今日では貿易額二億四千萬圓を突破するの盛況を呈してゐる。輸移出品なるものは米、鮮干鹽魚、大豆等、輸移入品としては葉莖、鹽、小麥粉等で、尙市内には釀造業を初め各種工業が相當に發達し、紡績、硬質陶器の工場は朝鮮に於ける有數な大工場となつてゐる。尙市内の交通には主としてタクシー及電車が利用されてゐる。

名勝地

龍頭山 市街の中央に聳ゆる一丘陵で、松樹鬱蒼として茂り府の公園地とな

つてゐる。丘上の龍頭山神社は釜山の氏神様として又朝鮮最古の神社として内鮮人の崇敬厚いものがある。

松島 釜山市街の南方約一軒岩南半島の一部に灣入した海岸景勝の地を俗に松島と呼ばれ附近には料亭軒を並べて四季行遊の地となつてゐる、殊に夏季は海水浴場として至極恰好の地で避暑向の設備も整つてゐる。

釜山鎮城趾 驛の北方三百米にあり。文祿、慶長の役に小西行長が本城を陥れ守導鄭撥を生擒にしたと言はれる處で後行長が之を日本式に改築したものであると傳へられる。今も猶城砦を遺してゐる。

他に大正公園、昭和公園、水晶園等の公園があり市民の好散策地として各種施設が備はつてゐる。

【旅館】釜山鐵道ホテル（洋式）釜山ホテル、鳴戸旅館、荒井旅館、松島ホテル、花屋ホテル、松井旅館、岡本旅館、岡野旅館、港ホテル

東萊温泉 ……東海南部線

新羅時代から世に知られ、朝鮮では第一に指を屈せられる良い温泉である。

釜山の北一二軒、交通は非常に便利で釜山からは絶えず電車が往來し、一時間毎に乗合自動車の便もある。

附近には新羅の名僧之曉の開基に係る南鮮三大名刹の一で有名な梵魚寺と同じく新羅善徳王時代創建されたと傳へられる通度寺とがあつて何れも一日の行樂地として相應しく、又背後には金井山の勝景もあつて無聊に苦しむ様な事はない行樂向の温泉場で旅客の必ず旅塵を洗ふ處となつてゐる。

【旅 館】 鳴戸旅館、鳴戸別館、蓬萊館、東萊館、荒井旅館、協旅館

海雲臺温泉 ……東海南部線

東海南部線海雲臺驛より僅か數十歩で温泉旅館に著くことが出来る。附近は嵯峨たる山々、白砂青松、岩に碎くる大波、小波等實に美しく旅館室内からの眺望も亦絶佳である。

旅館には豊富な温泉湧出によつて温泉プールも開設せられ和洋式宿泊の設備も完備し近年は避暑地としても喜ばれ温泉、海水浴、釣り、洩き網等の家族連れの保養客で賑つてゐる。

交通も亦便利で汽車の外自動車は釜山、海雲臺間を（賃金、片道一人五十錢）毎日一時間毎に定期に往復してゐる。

【旅 館】 温泉ホテル、松濤閣、温泉ホテル別館、海雲閣

大 邱 下 〇 〇 〇

大邱は京城以南に於て釜山に亞ぐ大都市で政治及産業の中樞地として又商工業の盛んな點に於て西鮮の平壤に對峙するもので市街の殷賑、交通機關の設備等大都市の型貌を具え殊に東門、西門の兩市

場で開市される市は盛大なもので西門は陰曆二、七日東門は陰曆の四、九日開設される、又毎年十二月から約一ヶ月間に亘り開催される藥令市は最も有名なものであつて、藥材を主要取引物資としその取引額は七十萬圓に及び朝鮮全土からの參集者數萬に上ると言はれてゐる。此地は京釜本線の開通により異常に發展を示したのに加へて東海中部線を岐ち鐵道交通の要樞を占むると共に地方への道路も良く修築せられ道路の完備せる事全鮮第一で之れを利用する自動車網の主點ともなつてゐる。

東海中部線は慶州を経て、鶴山に通じ更に途中慶州から東海南部線となつて蔚山を経て釜山に通じてゐる。沿道の農産物、日本海の魚類は此線によつて當地に豊富に搬入せられ従つて此處を中心とする經濟圏は慶北全部及慶南の東半部に亘つてゐる。

附近は地味豊沃で年五百萬石の穀類、蔴席の産出を以て鳴り、内地人の移住者の多くなるにつれて農業は長足の進歩を示し又各所に果樹、煙草、莞草等をも栽培し殊に苹果は最も有名で内地は勿論、海外にまで輸出してゐる。

工業としては朝鮮製絲、大邱製絲、片倉製絲等の工場が活潑に活動し人口、一〇五、八〇〇、内地地人二七、六四〇朝鮮人七七、六九〇外で益々重要性を高めてゐる。

名 勝 地

達城公園 府内西方にあつて新羅時代の達弗城の遺跡で、園内には大邱神社、望京樓、觀風樓等があつて眺望絶佳である。

刀水園 園内には清泉が湧き、詠歸亭と呼ぶ建物があつて夏は釣魚、秋は觀月の地とされてゐる。

【旅館】 大邱公會堂、唯家旅館、立花旅館、花屋旅館、田中旅館、つたや旅館、吉田旅館

水原 千〇㊦㊱

邑内は南に鬱然たる八達山が立ち、東北には山脈が起伏し、高さ六米餘の城壁で市街を圍み、東北南西の四門で外部との交通をしてゐる。城壁は李朝正祖の甲寅に工を起し三年の日子を費し竣工したもので四杆に及んでゐる。

市街の附近は松林が續き湖や河の流れに富み、昔から、「樹の都」、「水の都」と云はれ景色の佳い土地で正祖の華城趾、華寧殿、西將臺、練武臺、訪花隨柳亭等の遺跡を今尙存してゐる。

人口約一二、八〇〇、内地人一、六〇〇、朝鮮人一一、一七〇外、外國人である。

名勝地

八達門 驛から二杆半、城壁の南口をなす二層樓造りの樓門である。

華虹門 長安門から蒼龍門に亘る城壁が川を横ぎるところに七個の水門を設け其の上に樓閣を建てたもので、隣にある訪花隨柳亭と共に此附近は水原勝景の眞髓とも云ふべき處である。

華寧殿 正祖王が華山にある父君の陵墓を一時移し祀つた處で行宮から華寧殿にかけ老松茂

り、春はその中に櫻の艶色を綴縫し美觀を呈する。

華山 驛から南に八杆、松樹鬱蒼として全山を蔽ひ、松林中には健陵、隆陵及李王家の菩提寺龍珠寺がある。

勸業模範場 驛の西方、西湖畔にある。枯渴せる半島農産界の改良指導の爲に朝鮮總督府が施設したもので一度は見學すべき價値がある。

外に行宮、烽爐臺、西湖等の觀光地がある。

【旅館】 山本旅館、山陽旅館、昭和旅館、肥後屋旅館

京城 千〇㊦㊱

北漢山の一脈を背景に白岳、普賢、文珠の諸峰を繞らし、南に南山、西に仁王、東北に駱駝の諸山が蟠居し、風光麗はしい一盆地を作り、その外廓を東から西南にかけて大漢江が環流し之れに四圍の山稜をつなぐ城壁で固め李朝五百年の王都をなしてゐた京城は今日では更に、東部から西南部に亘る、清涼里、龍山、永登浦へと尨大な市域を展げ半島の首府として貌を具へてきた。

現在の京城は帝國の半島に於ける行政中樞として政治、經濟、軍事、文化の凡ゆる樞機を集め、人口約七十萬六千餘（内地人約十三萬一千餘、鮮人約五十七萬二千餘）で消費、生産、共に旺盛な綜合的近代文化都市として將來人口百萬の大都市としての計畫に基き市域は擴張され、諸種の施設計畫も

着々實行に移され觀光都市としての豊富な名勝、史蹟、天成の風光の上に益々文化的要素が加へられてゐる。

市内は縦横に交叉する南大門通、黄金町通、鐘路通、漢江通などの幹線は勿論、主要道路はすべて舗装され街路樹があり高層建築が並び快よい近代的明粧に輝いてゐる。

名勝地

朝鮮神宮 南大門から山手に向ふアスファルトの参道と石階を上げれば官幣大社で、社前の外苑はもとの漢陽公園で三方開け眺望絶佳の場所である。

商工獎勵館 南大門の左にあり、總督府殖産局の管理に屬し朝鮮の生産品を陳列し参考品として内地製品をも陳列してゐるので、朝鮮の生産界を一瞥するには絶好の處で、朝鮮の産業に關する質疑應答、生産品に關する調査、紹介等の依頼にも應じてゐる。

南大門 近代化した都心地帯に、獨り古い京城を象徴するかの如く孤立し、現存する李朝建築物では最古のもので、本名を崇禮門と云ひ京城八門中東大門とともに最も宏莊なものである。南山公園 神宮の外苑から裏参道を下れば道は自然に南山公園に通ずる。一帯は逍遙に好適で附近には天滿宮、京城神社、乃木神社、甲午戰勝紀念碑、恩賜科學館等がある。

德壽宮 府廳舎の前、大平通の西側に大漢門と額した大赤門が正門で、昔第四世世宗王の兄月山大君の邸宅であつたが明治三十年故李太王殿下の行宮となり名を慶運宮と改められ、李太王讓位後、故李王殿下が昌德宮に移られたとき、更に德壽宮と改められたものである。今は一般に開放されてゐる。

宮内の洋風石造殿は建築、調度品など善美を盡し貴賓の旅館等に充てられてゐた所であるが、今は美術工藝品、繪畫等が陳列され一般人の觀覽に供されてゐる。

景德宮 李朝太祖が開城から京城に都を遷し、白岳の南麓に宮殿を建て景福宮と稱し輪奐の美を極めた頗る豪莊なものであつたが、文祿の役に日本軍の入城に先立つて亂民の爲め灰燼に歸し爾來二百七十餘年間廢宮同様となつて居たものを攝政大院君が再建を企て、慶應三年竣功し再び王居となつた。

其の後明治二十九年李太王の露國公使館潛行の事があつて再び廢宮となり、現存の勤政廳、思政殿、慶會樓等の主要建築物を残し他は移轉又は取毀はされ、今日に及んでゐる、當時の宮殿は周圍は約三軒の大城壁に圍まれ、敷地面積十三萬坪に及ぶもので朝見の大禮を行はれた薨高い勤政殿と慶會樓は共に李期末期の代表的建築物の一で、その正門であつた光化門は今は總督府廳舎東側に移築されてゐる。

總督府博物館 景福宮構内にあつて樂浪、三韓等の出土品、新羅時代の佛像、王冠、高麗時代の陶器、李朝時代の漆器、書畫等を陳列してゐる。(入場料 一人五錢、月曜日 休館)

經學院 昌慶苑前から北方約半軒の處にあり院は文廟を中心とした儒林の學堂で、廟には孔子を主座とし顔子、思子、曾子、孟子等の聖哲を祀り明倫學院が附置されてゐる。李朝太祖の創建に係り、建物は火災の爲め幾度か修築されたが歴朝典祀を絶やした事なく今も尙春秋二回舉行される祭典は朝鮮年中行事の一として最もクラシツクな朝鮮雅樂が此處のみに傳つてゐる。

東大門 本名を興仁之門と稱し南大門に亞ぐ莊麗なもので、建築の年代は七十餘年前のものである。門の城外には有名な朝鮮市場や關羽を祀る東廟がある。

獎忠壇公園 南山北麓の松翠を負ひ市塵を離れた公園で、春秋行樂の地として市民の遊ぶものが多い。

博文寺 故伊藤博文公の徳風を敬仰し、勳業を後世に傳へ公の冥福を祈る爲獎忠壇公園の景勝の地をトして建立された寺院で、建物は鎌倉時代の様式を模した鐵筋コンクリート造りの珍しいもので本堂正面の扁額は李王殿下の御揮毫によるものである。

【市内遊覽行程】

半日行程

(1) 電車、バスを利用する場合

驛—南大門—(バス)—朝鮮神宮—(バス)—南大門—(電車)—昌德宮昌慶苑—(バス)—朝鮮總督府—(徒歩)—景福宮—(電車)—德壽宮—(電車)—驛 費用約六十錢

(2) 自動車を利用する場合

驛—南大門—朝鮮神宮—南山公園—博文寺—昌慶苑—朝鮮總督府—景福宮—德壽宮—驛

費用 六圓

(3) 遊覽自動車を利用する場合

驛—南大門—朝鮮神宮—南山公園—博文寺—經學院—昌慶苑—朝鮮總督府—景福宮—德壽宮—三越—本町—驛 所要時間四時間

京城遊覽バス(京城自動車經營)は京城驛降車口と、長谷川町京タク前より發車し毎日午前九時、午後二時の二回(冬季午前十一時一回)使用車は十六人乗りと二十人乗りで何れも展望式高級車で料金は大人二圓二十錢、小兒一圓十錢、(團體は割引あり)婦人案内人が附添ひ明快親切に説明してくれる。

●團體遊覽バス（京城電氣經營）多人數の團體の市内視察には京電バス貸切が經濟的で、貸切料金は大型（座席立席共三十人乗）三十分 三圓五十錢、一時間 六圓五十錢、小型（座席十六人乗）三十分 二圓五十錢、一時間 四圓六十錢

一日行程

(1) 電車を利用する場合

驛—（電車）—南大門商工獎勵館—（バス）—朝鮮神宮—（徒歩）—南山公園—京城神社—恩賜科學館—（徒歩）—永樂町—（電車）—獎忠壇公園—博文寺—（電車）—東大門—（電車）—鐘路四丁目—（バス）—經學院—（バス）—昌慶苑（動、植物園、祕苑）—バス—朝鮮總督府—（徒歩）—景福宮、博物館—（電車）—德壽宮—（徒歩）—三越—（徒歩）—本町—旅館

費用約一圓

(2) 自動車を利用する場合（貸切）

驛—商工獎勵館—南大門—朝鮮神宮—南山公園—恩賜科學館—獎忠壇公園—博文寺—東大門—經學院—昌慶苑—バゴダ公園—朝鮮總督府—景福宮—博物館—德壽宮—清涼里—漢江—驛—旅館

費用約二十圓

【旅 館】 朝鮮ホテル（洋式）備前屋、天真樓、半島ホテル、不知火旅館、本町ホテル、笑福

旅館、大塚旅館、御成旅館、平田旅館、浦尾旅館、三重旅館、二見旅館、大東館、虎屋旅館、林屋ホテル、村上旅館、綠屋旅館、常盤旅館、大京旅館、光化門ホテル、廣澤旅館

仁川 せん 川 せん 〇 ④ ④ ……京仁線

仁川は京城から分岐する京仁線の終點で往昔濟物浦と稱した一寒村が明治十六年の開港と共に内外人の移住する者増加し今日の殷賑を示すに至つたもので、日清、日露の兩役は何れも仁川港外に於ける海戰が導火線となつたことは周知の通りで、又京仁線は明治三十一年の開通で朝鮮に於ける鐵道の嚆矢である。

現在人口七五、五六〇、内地人二二、〇五〇、鮮人六一、六〇〇外外國人である。

仁川港は釜山、元山に次ぐ古い開港場で京城の咽喉を扼し港内に月尾島が横り港外には永宗、龍遊等の六島が碁列し自然の良港をなしてゐるが満干の差が甚しく差九米にも及ぶので東洋一の閘門式船渠で之を補ひ遠く支那諸港との貿易額は半島第一位となつてゐる。

閘門式船渠は長さ四五四、五米 幅二一八、一米、最少水深八米餘、七ヶ年の星霜と五百六十萬圓の工費を投じ大正七年十月竣成したもので輓近の發展により狹隘を來したので、第二擴張工事をやつてゐる。

貿易額は輸移出入合計二億三百萬圓、主なる輸移出品は米、大豆、魚類、葉煙草、牛皮等で輸移入

品は小麦粉、砂糖、ビール、葉煙草、石油、機械油、綿布、金布等の類である。

名勝地

月尾島 市街の西方、驛の裏手から約一軒のコンクリート築堤を以て陸地と接続し、南方に小月尾島、八尾島を望み港内一圓の眺望絶佳である。八尾島沖は日露戦役にコレーツ、ワリヤーク二露艦を撃沈した處で、島の北方には潮湯、遊園、別荘、旅館等の娛樂機關を設備し遊覽地として春から秋にかけて出掛ける人が多い。

江華島 漢江の河口にある朝鮮五大島の一つで仁川から毎日汽船の便がある。往時防禦使を置かれた處で砲臺等の跡も残つてゐる。

島の主邑江華は昔江都と稱し高麗の高祖が蒙古の兵禍を避けた所である。

【旅 館】 淺岡旅館、旭屋旅館、仁川閣、菊屋旅館、花屋旅館

京城から安東へ

四九九、三軒……京義線

本線路は京釜線と共に朝鮮の主幹線であつて、京城から北上し高麗の舊都開城を過ぎ禮成江を横切つて滅惡山脈の溪間を屈曲し、載寧の曠野を貫き平安南道に入り大同江を渡つて平壤に達する。此處迄の間で土城と沙里院から朝鐵黃海線が分岐し黃海道を一巡し黃海黃洲驛からは兼二浦線、大同江からは平壤炭礦線、平壤からは平南線が分岐してゐる。

平壤を出て清川、大寧の兩江を涉り平安北道の境を踏え定州驛を過ぎ朝鮮線西北端の新義州驛に達してゐる。途中の西浦からは平元線が分岐し、新安州から价川線、次驛孟中里から博川線が分れてゐる。

尙鴨綠江橋梁の關係から線路は向岸の安東驛に至るまで朝鮮鐵道局の管理するところとなつてゐる。

本線は京釜線と共に朝鮮を縦貫する主幹線のみならず、滿洲の安奉線に繋り滿洲、中華民國は勿論、遠く歐亞大陸に通ずる國際通路で重大な使命を持つて居り、我國の軍事、經濟上の主要線である。

又釜山、奉天、新京間には設備完整した急行及直通旅客列車が一日五往復してゐる。

平壤

大同江の豐饒な平野から産出する農産と政治的中樞として千五百年の歴史を持つ平壤は陸運交通の便と大同江の水運に恵まれて古來西部朝鮮に於ける物資集散の中心地をなしてゐる。

對外貿易としては素糖、雜穀、機械類、綿織物、日用雜貨等約千四百萬圓を輸移入し精糖、牛皮、綿布、果實など約三百二十萬圓を出して居り、此の外直接政府の手で搬出する無煙炭、金地金、金塊などは相當な數量で平壤の市況に一段の活潑さを加えてゐる。

市内には朝鮮在來の常設市場が五箇所あつてその中大同門は日用品で賑ひ、畜産のみを扱ふてゐる

静海門外の市場では平壤の名物である生牛を盛んに取引してゐる。

平壤は亦、附近に埋蔵する鐵、石炭等の豊富な工業資源、良質の工業用水を提供する大同江等の好條件に恵まれて、工業都市としても異常な發達を見せ洋々たる將來を約束されてゐる。

附近には平壤兵器製造所、大日本製糖、西鮮合同電氣、海軍鑛業所、日本穀産工業などの大工場が簇立し勝湖里の小野田セメント、鎮南浦の日本鑛業製鍊所、兼二浦の日本製鐵所等と共に北九州の夫の如き工業地帯を現出してゐる。

人口は内地人二二、八五〇、朝鮮人一五五、六〇〇、外國人一、九三〇、合計一八〇、四二〇で朝鮮第二の都市である。

名勝地

瑞氣山公園 瑞氣山公園は道廳の背後にある小丘で、丘上には日清戰役の忠魂碑が建ち周り一帯の平地が公園となつてゐる。公園からは平壤市の眺望をほしきまゝにすることが出来る。

七星門 平壤六門の一つで平壤神社の北側にあり上部は樓閣をなしてゐる。

博物館 平壤に關係をある箕子、樂浪、高句麗等の古墳又は上古から發掘の古美術品を陳列し、殊に樂浪の出土品には貴重な逸品が多い。

乙密臺 博物館の少し先に行くと丘上に古風の建物が一棟立つてゐる。此の建物は四虛亭

と言ひ約六百年を経たもので今は保護建造物となつてゐる。丘は名高い乙密臺で、牡丹臺と相對し此の附近は觀光平壤の中心をなす處で玄武門、浮碧樓を望み、又日清役の古戰場でもあり四虛亭には今尙彈痕を残してゐる。

箕子廟 乙密臺の下にある朱柱翠棟の古祠で高麗肅宗王が初めて箕子の墳壘を求めて奉祭したものと云はれてゐる。

玄武門 平壤城最北の城門で牡丹、乙密兩臺の鞍部にあつて日清の役に原田一等卒が挺身城壁を越えて門扉を開き突入したので有名となつてゐる。門の樓閣は其の後新たに造り代へられたもので下部の穹窿狀石門だけは當時の儘だと言はれる。

牡丹臺 玄武門の右に屹立する高臺で、日清の役に清軍が砲列を敷き我が元山朔寧支隊を苦しめた處で、此の頂上には今も當時の砲壘の廢趾があり丘頂には最勝亭と言ふ建物がある。

永明寺 玄武門の右下、牡丹臺麓にあり、高句麗時代創建の名刹で文祿の頃には八伽藍を有し此の寺の僧兵が小西行長の軍と交戦したと記録に残されてゐるが日清の役に兵火に罹り今は極く小規模の堂宇のみ残つてゐる。

隣りには高濱虚子の「朝鮮」で紹介せられた料亭「お牧の茶屋」がある。

浮碧樓 お牧の茶屋のすぐ前、左側斷崖の上にあり約一千年前永明寺南軒上人により創建

されたもので平壤屈指の古建築である。
浮碧樓の名は高麗睿宗西巡の折、此處にあつて群臣を會して盛宴を張り李顔をして命名せしめた
ものと言はれる。

此處よりの眺望は箕城第一と言はれ山紫水明の風光は言語に絶するものがある。

妓生學校 平壤は古來官妓の産地として美妓嬌妓を出し牡丹臺と共に平壤の名を有名にしてゐる。最近彼等の養成機關として箕城券番の經營に係る俗稱妓生學校が設立され主として歌謡、舞踊、國語、書畫を教授してゐる。

大同門 大同江畔に屹立する三層の樓門は平壤六門の一つで約五百年前李朝太宗によつて創建されたもので、約三百三十年前の藝術である。結構壯大、李朝初期の作品として尊重されてゐる。練光亭 大同門と並んで江岸の懸崖に建てられた古建築で約四百年前この地の監司によつて造られ觀月、その他各種の宴會に充てられたものと言はれる。

會て文祿の役に小西行長が明使沈惟敬と會見したのは此の樓であつた。

普通門 京義線の鐵道線路と普通江の接する處に建つて居て約九百年前高麗成宗の建立によるもので大陸の迎賓要門として造られた宏壯のものである。

崇仁殿、崇靈殿 崇仁殿は箕子を祀り崇靈殿は檀君を祀つたもので女子高等女學校の隣りにある。

【遊覽順序】

徒歩及電車による場合

驛(電車)―平壤神社(以下徒歩)―七星門―博物館―箕子廟―乙密臺―玄武門―浮碧樓―清流壁(遊覽船により下航大同門下にて上陸徒歩)―大同門―練光亭―妓生學校(電車)―驛又は旅館 所要時間 五時間

自動車による場合

驛―瑞氣山公園―平壤神社―七星門―博物館―箕子廟―乙密臺―玄武門―お牧の茶屋(休憩)―浮碧樓―清流壁(遊覽船により下航大同門下にて上陸)―大同門―練光亭―妓生學校―驛又は旅館 所要時間 三時間

【旅 館】 平壤鐵道ホテル(洋式) 三根旅館、朝日旅館、櫻旅館、つばめ、大同館、青々館
兼 二 浦 ……兼二浦線

兼二浦は大同江の下流、平壤と鎮南浦の中間に位し日清の役に野津の渡河地點として名高い旗津浦の對岸にあつて京義線敷設の鐵道材料陸揚地として工兵中佐、渡邊兼二氏の發見した所で、黃海黃州から分岐した兼二浦線の終點である。

兼二浦附近の大同江は河身廣深、優に六千噸級の汽船が數隻碇泊することが出来る。

大正三年三菱が此處に製鐵所を設け附近の鐵鑛、炭礦等の資源の開發に着手してから市況急激に盛んとなり現在では朝鮮著名の都邑となり人口も一八、三五〇、(内地人三、四三〇、外朝鮮人及外國人)に及んでゐる。

製鐵所は大正三年三菱が設立、昭和十一年二月製鐵業合同によつて日本製鐵の一工場となり軍需工業の重要な役割りを受持つてゐる。

製鐵高は鉄鐵年二一萬噸、鋼鐵六萬噸の内鋼塊三萬噸、厚板三萬噸に達し副産物としてコークス、コールドール、ピツチ、ナフタリン、タール油、ベンゾール、硫酸、硫酸アンモニア、煉炭、鑛滓煉瓦、耐火煉瓦、耐火モルタル、高爐セメント等がある。

新義州 しんぎしゅう 平壤 へいりやう ……京義線

朝鮮の主幹線京義線の終點で國境都市として鴨綠江を距てて滿洲國の安東に對してゐる。

明治四十三年開港以來貿易港として米穀、木材、牛皮等を輸移出し、石炭、木材、粟等を輸入してゐる。鴨綠江上流に産出する木材を集散する都市としての新義州は現在營林署の製材工場、鴨綠江木材、王子製紙などの大工場を始め更に木屑を原料とする東拓系の無水アルコール工場、三角州一帯の蘆草を利用してゐる鑛紡のステープルファイバー工場等簇々と現はれ近く實現を見る鴨綠江水電

計畫を背景とした一大工業都市と化し又多郷島鐵道の築港完成後に於ける大貿易都市としても多望な將來を期待されてゐる。

現在道廳の所在地として政治、經濟の中樞をなし、市内は整然廣潤な街と宏壯な建物など近代都市としての形態も整ひ對岸安東との經濟關係も益々緊密を加へ殆んど同一都市の觀がある。

尙日本空輸の着陸地として國際航空路線の上にも樞要な地位を占め、人口は六三、八〇〇で内内地人九、九三〇、朝鮮人四六、七四〇、外人七、一五〇である。

名勝地

多。獅。島。曾て昭和製鋼所問題で有名になつた處で新義州から南方陸路三七軒

鴨綠江口にある不凍港で築港完成の曉は優に三千噸乃至六千噸の汽船十隻を同時に繋留し得る良港となる。

總督府が五十萬圓を投じて施設した倉庫敷地及突堤道路等は昭和五年竣工したものであるが、現在では狭少に過ぎ最近多獅島鐵道會社によりて新義州と南市から鐵道が施設され各種開發計畫と相俟つて大貿易港としての出現が豫想されてゐる。

【旅 館】 新義州鐵道會館(洋式) 中津旅館、綠屋旅館、岩田旅館

釜山から慶州へ

一一五、二軒……………東海南部線

本線は元、釜山鎮蔚山間開通以前までは東海中部線と言はれて居たもので南鮮海陸資源の開発を使命とする産業線であると共に沿線には東萊、海雲臺等の温泉又史蹟として有名な蔚山、佛國寺等があつて彼の爛熟時代の新羅文化を偲ぶためには朝鮮の観光視察上見逃すことの出来ない線路である。

蔚山 ⑨

蔚山平野を沃流する大和江の流域に發展した都邑で新羅朝以來政治、經濟、交通上の重要な地位を占め現在も郡廳の所在地とし又空陸の交通の樞軸として市街の諸施設も完整し商工業の發展は素晴らしきものがある。現在人口一萬五千内地人八五〇名で往時加藤清正の籠城した處として知られてゐる。

名勝地

蔚山城趾 慶長二年十二月加藤清正、淺野幸長の守備した處で朝鮮聯合軍の包圍を蒙り重圍に陥つたのを苦闘を續け、釜山駐屯中の小早川秀秋等諸軍の來援を得て之れを撃退し敵は死傷者一萬數千人を出し明軍を震懾せしめた處で本丸二ノ丸その他を現存し、現在では之れを鶴城公園として遊覽の設備を施し行樂地となつてゐる。

西生城趾 蔚山から南方約二四軒の地點にあつて、文祿二年加藤清正の手に依つて築かれた城趾で石疊の周圍約四軒に及び今も尙整然と残り昔日を偲ばせるものがある。

佛國寺

⑩

佛國寺驛の北方三軒半、吐含山の中腹にあつて今から千五百餘年前義道と云ふ人によつて開創され後新羅第二十三代法興王の時重創したものが烏有に歸し第三十五代景德王の世國宰金大城が更に重修し多寶釋迦の二塔を建て、石壇を築き奇巧を極めた石階を設け東を青雲、白雲橋、西を七寶蓮華橋と稱し、大雄殿を中心に樓堂伽藍五十有餘が並び建ち偉觀を呈して居つたが、李朝時代兵火に罹り木造建築物を灰燼に歸した。現存の木造物はその後建築されたもの一部で木石混用配置の妙麗さは遺物中の隨一と言はれてゐる。

大雄殿内にある銅造の二佛身は姿勢雄偉面想塌麗でその裏にある舍利石塔と共に當代の代表作と言はれて居る。

尙佛國寺へは佛國寺驛から乗合自動車の便がある。(片道一人三十錢)

古蹟

石窟 佛國寺から急坂三軒を登り吐含山の頂上を超えると新羅の名宰相金

大城が佛國寺の重修と共に畢生の努力を盡して創建した岩窟がある。山腹に穴を穿ち中央に丈六の釋迦如來坐像を安置し入口左右の石壁には金剛神、仁王及四天王の像、内部には四菩薩、十大弟子、九面觀音の佛像を二十七枚の花崗岩に半肉浮彫りとし周壁上方に十個の佛龕があつて各々小菩薩が安置されて居る。

此等の彫刻は何れも非凡の傑作とされ、新羅黃金時代の代表的優秀な遺品であつて、拜觀料と

して五錢を要する。

掛^〇。陵^〇。佛國寺驛から蔚山街道を南に三杆、左折して更に一杆行くと北寄の松林中に掛陵がある。

口碑に新羅三十代文武王の陵と傳へられ、北に小山を負ひ陵の基を護石を以て圍み武具を着けた十二支神像を陽刻し、陵の前面廣場には石獅二對、文武石人、石華表各一對があつて新羅陵墓の代表的型態を備へたものと稱せられ、殊に石獸石人の手法は最も勝れ時代作品中の白眉と謂はれて居る。

方^〇。型^〇。墳^〇。佛國寺驛直前の街路を距てて民家に圍まれて居る方型粗品墳で南面に入口があり周圍に十二支神像を彫刻した護石を廻らした古墳がある。新羅時代遺墳中の唯一の異型墳であると稱せられてゐる。

【古蹟遊覧案内】

佛國寺驛—(三杆半) 佛國寺 (三杆徒歩)

石窟庵—(三杆、徒歩) 佛國寺 (三杆半)

佛國寺—(三杆半) 掛陵 (三杆半) 佛國寺驛

所要時間は各地見物時間を含めて徒歩四時間半、自動車約二時間

自動車賃は、乗合片道驛から佛國寺まで一人三十錢。佛國寺驛から掛陵間は三人迄一臺で一圓五十錢、以上一人を増す毎に五十錢増である。

【旅 館】 佛國寺旅館

慶^{けい}州^{しゅう} 千^{せん} 〇^〇 〇^〇

伊川、南川、北川の清流が還流する盆地に廣々として沃野を抱いてゐるこの地域が昔の王城の跡であつて新羅時代半島統一の都城として五十六代一千年の歴史を懐いてゐる。

慶州で新羅一千年の山緒ある歴史を知る爲めには先づ博物館を訪ね多數の貴重な参考品を見て、更に附近の實地を廻れば當時の優秀な構成、技法そして又規模の雄大さを充分知る事が出来るであらう。現在新羅文化の遺跡は断片的ながら城趾、寺院、堂宇、佛像、陵墓等慶州を中心として二四杆の遠きまで散在して居る。

古 蹟

慶州博物館 館内に石器時代の遺物、新羅、高麗時代の土器、瓦罍、佛像、石、棺

新羅王陵から發掘した金冠等を陳列し殊に世界無比と云はれる奉徳寺の鐘は驚嘆に値する。

鷄^{けい}林^{りん} 慶州の東南約二杆月城の西にある森林で始林とも稱し神聖林とされて居る。

月^{げつ}城^{じやう} 鷄林の南から東南の方に延びて居る半月形の土城で昔は石城であつた様であるが、

今は脱解王を祀る崇信殿と王が氷を貯へたと言はれる石氷庫が残つて居る。

南山城趾。月城の前方南山にある廣大な山城で今も石壁を存して居る。昔は他の明活山城、仙桃山城とともに鼎形をなし新羅都城の重要な城壁をなして居たものである。

瞻星臺。月城の北道路の傍にあつて新羅第二十七世、善徳女王の時に構築された天文觀測臺で東洋最古の天文臺として訪ふ者をして驚嘆せしめて居る。

雁鳴池。月城の北方半軒程の處に小さな池がある。之れは新羅の英主、文武王が支那巫山十二峰に模して造園したもので遊宴の場所に充てられ、池の西沿地には新羅王が海外の貴賓を接見したと云はれる佳麗宏壯を極めた臨海殿の趾がある。

芬皇寺塔趾。善徳女王三年の築造に係る新羅三寶の一と言はれた九層の塔であつたが、今では下部の三層のみ残つて居る。

外に新羅の始祖赫居世及其妃以下三王の陵墓である五陵、新羅統一の覇業を爲した功臣金瘦信の墓が西方にある。

武烈王陵。西岳驛の西南方にあり新羅中興の英主武烈王を祀つた陵墳で龜趺の手法は優麗精緻唐式美術輸入の先驅と言はれるものである。

【旅 館】 柴田旅館、朝日旅館

大田から木浦へ……………二六〇、四軒……………湖南線

忠南、全北及び全南の三道に跨り錦江、萬頃江、東津江、榮山江等の流域をなす全州平野、江景平野、成悅黃登の平野等を初め幾多の沃野を縦斷する朝鮮資源開發上極めて重要な線路で、沿線は二、三の區間を除いた外は坦々とした平地で地味肥沃而も氣候溫和の爲め農産に富み、又沿岸及島嶼は漁獲、豊富で半島の寶庫と稱されて居る。

尙裡里からは米の輸移出を以て米の群山と言はれる群山港に至る群山線又、東南方に向けて全鮮第一の漁港、麗水に至る全羅線、松汀里からは慶全西部線が夫々分岐して居る。

木 浦 干 口

木浦は務内半島の西南端に位し背面に儒達山を負ひ、榮山江の河口を扼する南鮮の貿易港で、開港場として水運の要樞であると共に湖南線の終點で附近に米、棉花を多産する全南の沃野を控え前には海産の豊富を以て鳴る多島海を擁し之等物資の吞吐港としても取引活潑で明治三十年開港後非常な進展を示し貿易額も四千四百五十萬圓に達して居る。

輸移出品の重なるものは米、繰棉、海産物、棉實油等で輸移入品の重なるものは小麥粉、外米、雜貨等である。

殊に棉花の出廻期には埠頭一帶棉花の山を築く盛況を呈する。

市内には之等の物資を原料とする精米、繰棉、棉實油、罐詰等の諸工場が併立し生産都市として市況

活氣を呈し、棉實油、鱺詰、乾海苔、蕨等の特産物がある。人口も五萬二千五百、内朝鮮人四萬三千八百、内地人八千五百、其の他である。

名勝地

松島神社。市街の東北隅に松島神社がある。木浦府民の守護神とされて居る。

儒達山。市街の背後に聳立した奇岩怪石からなる山で往昔は烽遂山と稱されて居た。

海拔約二四〇米山中に八十八箇寺の靈場を建て眺望殊に絶佳で多島海の翠巒を一時に收めらるゝとが出来る。

木浦臺。市街の中央に屹立する小丘で木浦鎮の舊跡と稱され現今城壁の一部を残して居る。

高下島。港口を扼し自然の好防波壁をなして居り東端に文祿の役に奮戦した李舜臣の碑が建てられてある。

儒達ヶ浦。儒達山の西南麓にある府營の海水浴場で設備も相當整つて居る。

【旅館】柴田旅館、三吉野旅館、

麗水 水干

麗水港は全羅線の終點で、麗水港から東方約百軒の統營は朝鮮第一の漁港として又螺鈿漆器で有名な處であり、又此の間の海上は閑麗水道と稱され朝鮮の瀬戸内海とも云ふべき處で朝鮮八景の一に推された海洋觀光路である。釜山から統營までは約八〇軒の距離にあり發動汽船の便がある。

閑山、蛇梁、南海その他大小幾多の島嶼、平凡の海青碧の夏ともなれば統營、三千浦、麗水を足溜りとして島廻りや魚釣に涼を追ひ大きな魅力を感じさせられる。

附近一帯は朝鮮水産總額の三分の一を占むる朝鮮第一の漁場で和船七千、鮮船三千、洋船二百を有し、たひ、さば、いはし、たら、ぶり、さわら、大刀魚等五十餘種の魚類を産し總數々千と稱される海女の活躍は特異な存在である。

京城から元山へ

一二三、七軒………京元線

龍山に於て京釜線と分れ京畿、江原、咸南の三道を通過し半島の脊梁山脈を横斷して元山に至る半島の東西兩海岸を結付ける重要な線路である。

朝鮮に於ける文化の發達は地理的關係上西海岸に偏し東海岸の豊富な物資は空しく死蔵されてゐる状態であつたが、兩者の運輸交通の速達と東海岸地方の開拓とを目的として本線路が敷設されて以來現在では北鮮から木材、石炭、海産物、硫安、肥料等の物資が盛んに京城方面に輸送せられ又新京、圖們を結ぶ滿洲京圖線の開通によつて日滿徑路の一ともなつて交通經濟上益々重要性を加へて居る。

本沿線は殆んど山間僻地が多く太白山脈を横斷する三防幽峽の絶勝、平康、洗浦附近の原始的高原の風光は車窓に映る豫想外の收穫で旅情を慰められるもの甚大なものがある。

鐵 原 てつ げん ㊦ ㊧

世界的名山である金剛山内金剛への入口で此處から長安寺まで金剛山電鐵會社の電車が通じてゐる。

洗 浦 せん ぼ

驛は背梁山脈の分水嶺に當り、半島を横斷する京元線の最高地點で附近は曠漠たる高原をなしてゐる、程遠からぬ蘭谷には總督府牧馬場がある。

三 防 さん ぼう ㊨

洗浦から鐵路は急勾配を以て元山方面に下り十有餘の隧道により明暗斷續する三防幽峽の風致よき車窓の眺めは旅客を喜ばせてゐる。又春は蕨狩、夏は納涼、秋は紅葉、冬はスキー地として知られてゐる。

元 山 げん ざん ㊩ ㊪

元山驛は舊市街と新市街の中間にあつて京元線の終點であると共に咸鏡線の始發驛とし又開港場として交通、經濟の要樞をなして居る。

元山港は明治十三年開港された釜山に次ぐ古い港で港外には島嶼連り港内水深く、干満の差少く大船巨船の碇繋に適し東海岸唯一の良港灣をなして居る。咸鏡線の開通により貿易額も増大し輸出入合計一、七二六萬餘圓に達し、物資集散の區域は擴大され商勢の伸張に伴ふて本港の將來は益々多忙を豫想されて居る。

市街は長徳山の麓に展開し、驛から北元山港區域は内地人の商家が立ち並び、南の元山津と呼ばれる區域には主として鮮人家屋が密集し人口四二、九〇〇、内地人九、五〇〇、市勢殷賑である。

元山驛から三軒半西方に、松濤園海水浴場がある。白砂青松、松林中には元山海水浴會社の諸設備、ゴルフリンク等もあり避暑地として鮮滿無比の處である。

驛から乗合自動車の便があり賃金十五錢、貸切八〇錢である。

【旅 館】 愛媛館、三吉野、大東館、喜久館、水月、三河屋

元山から會寧へ 六一七、六軒……咸鏡線

日本近代化學の躍進を誇る興南咸興地方の大工場、咸北の炭田、茂山の鐵礦それに漁業の豊富を以て朝鮮第一の寶庫と言はれる、北鮮開發の使命を帯ぶると共に、京圖線との接續線として益々重要性を認められた線路である。

本線は日本海の岸邊近くを走るので朝鮮の沿線中車窓の眺望は最も勝れ又朝鮮の背梁山脈を縦に沿うて走つてゐるので大小幾多の隧道を持ち非常な難工事に終始された線路である。

咸 興 かん ぎやう ㊫ ㊬

李朝發祥の地で今は咸鏡南道廳の所在地として北鮮有數の大都會である。附近には朝鮮水電・窒素肥

料等の大工場があるので市況は頗る活氣を呈してゐる。此處から分岐する新興鐵道の線路は一は長津湖畔に他は赴戰湖畔に延びてゐる。

赴戰高原

赴戰高原へは咸興から新興鐵道線により約三時間で達せられる。海拔約千二百米内外の地質學的には珍しい地層をなした高原で雄大なる風致は天然の一大公園となり朝鮮八景の一に推されてゐる。

興南

日本有数の大工場である朝鮮窒素肥料會社の工場設置によつて繁榮を來した新興の都邑である。

西湖津

風光明媚な海水浴場で沿海航路の寄港地となつてゐる。

城津

古くからの貿易港で、奥地木材を集散し、最近工業的にも發展しつつある。附近海岸風景は車窓を飾つて美しい。

吉州

麻・生牛・穀類等を取引する咸北第一の大市場が毎月二回開かれる。最近北鮮製紙會社の工場がおかれた。此處から分岐する惠山線は途中白岩から更に白茂線を分ち楡坪洞迄走つてゐる。

朱乙温泉 朱乙 咸鏡線 朱乙驛下車

朱乙温泉は驛の西北十軒の處にある北鮮第一の温泉で朝鮮の別府と稱されて居る。

近くには朱乙川による溪流があり吾心岩、龍潭等の名勝地もあり又湧出湯量の豊富なことは全鮮一で不斷に立昇る湯烟の爲め四季綠草が茂ると言ふ奇現象を呈して居る。

温泉場は龍郊洞と温泉の二個所に湧出し、前者を砂風呂と温泉プールで知られた「かねた温泉」と云ひ、後者を「朱乙温泉」と稱してゐる。驛から温泉迄は乗合自動車の便があり賃金一人四十錢である。

【旅館】 鮮仙閣、千歳、萬翠、温泉閣、小倉館、

金剛山 外金剛 内金剛

金剛山は江原道の北方海岸に近く通川、高城、淮陽の三郡に跨る二十五萬方里に及ぶ山域で古來萬二千峯の稱ある程多數の奇峰峻嶺から成立つてゐる。そして互に錯綜して型造るその溪谷は數限りなく萬態の山峰と相俟つてその山岳美は天下に無比であり豪壯である。

山中の名峰には最高の毘盧峰を初めとし集仙峰、觀音峰、彩霞峰、月出峰、日出峰、彌勒峰、玉女峰、白馬峰、望軍臺等がある。

金剛山の探勝は五、六月の新緑、九、十月の紅葉の候が最も良い。

金剛山は地理的に背梁骨の分水嶺を境として、内、外金剛に分れ各々異つた風景美を持ち、内金剛は女性的で溪谷美に勝れ萬瀑洞八潭が之れを代表し、外金剛は男性的で山岳美に富み萬物相が之れを代表してゐる。

内金剛へは京城から汽車で鐵原に行き、此處で電車に乗換へ内金剛驛に行くのであつて、毎年六月中旬から十月中旬迄の探勝季節中は日曜、祝祭日の前夜京城十一時發の列車に内金剛まで直通する二三等寢臺車が連結される、又驛から内金剛探勝の根據地である長安寺村は避暑地としても名高く、驛から此處まで電車の發着毎にバスが運轉してゐる。(片道一人十錢)

外金剛へは京元線を利用して、安邊驛に至り此處で東海北部線に乗換えて山麓の外金剛驛に行くのであつて、驛から外金剛探勝の根據地である溫井里までは各列車毎にバスが連絡してゐる。(片道、一人、十五錢)

毎年季節中は内金剛と同様京城から直通する二三等寢臺車がある。

溫井里は外金剛を背景とした景勝の地で温泉が湧出し、各種施設も整ひ、旅館土産品店等が揃ひ賑やかな湯の町である。

【旅 館】 内金剛………内金剛山莊(洋式) 不知火旅館、内金剛旅館、蓬萊館、久米山莊(昆盧峯頂上) 外金剛………外金剛山莊(洋式) 嶺陽館、萬龍閣、松月旅館、

北 鮮 線 三四五、二軒

北鮮線は北鮮三港、羅津、雄基、清津を環狀に繋ぐ鐵道で從來の圖們西部線、東部線を統合總稱したものである。

現在滿鐵はこの鐵道の經營機關として北鮮鐵道事務所を羅津に設置してゐる。

本路線と京圖線の完成は新たな日滿交通路として交通、經濟上の重要な役割を持つばかりでなく、背後地には間島、東滿地方の重要な經濟地域を控へ、沿線は農牧に適し又咸北炭田は埋藏量無限と言はれ、茂山磁鐵鑛山は數億噸の埋藏ありと言はれ軍需資源と國防上にも重要視されるに至つた。

尙近くの沿海州は世界三大漁場の一に數へられることは周知の處で、之等の物資の開發輸送等に關聯して本線の經濟的地位は愈々素晴らしいものがある。

清 津

清津は現在北鮮第一の不凍港で咸北線に接続し日滿最捷經路の要樞をなして居ると共に海路敦賀、浦鹽斯德、元山等に連絡し前には海藻魚介の大漁場を控へ海産物の集散並加工の中心地で商業貿易及各種工業極めて殷賑で水産漁獲高は二百二十餘萬圓でその内百七拾餘萬圓は鱒である。水産製造品は三百八十餘萬圓で、粕二百餘萬圓、魚油百餘萬圓で魚油、粕の工業が當地工業の主要なものとなつてゐる。

貿易額は五千二十萬餘圓で主要輸移出品は魚類、各種織物、セメント、鐵類、木材、大豆、魚油、魚肥等で輸移入品としては粟、大豆、小麥粉、セメント等であるが他に大豆、小麥粉、砂糖等が主要通過貿易品となつてゐる。

日本海中心主義によつて益々將來の發展を期待され驚異的な進展を示し、人口現在四萬二千餘、内朝鮮人約三萬二千、内地人九千五百、外滿洲國人及外國人である。

名勝地

高。秣。山。中腹に清津神社があり四方の眺望佳で松樹鬱蒼として茂りピクニツクの好適地となつてゐる。

双。燕。山。八十八箇所及躑躅岡公園がある。

二見ヶ岩。清津燈臺の絶壁下にあつて釣場として知られてゐる。

【旅 館】 國際ホテル、鷄林館、清進館、櫻屋旅館

雄。基。下。〇

朝鮮最北部に於ける海水の干満の差も殆んどないと言はれる良港で、大正十年開港地となつたが現在には羅津の補助港として北鮮炭の積出、東北滿向建設材料の中繼地及び豆滿江材、間島材の集散地となつてゐる。貿易年額二千九百二十七萬圓に上りセメント、鐵類、大豆、木材、魚粕を主として輸移出し、粟、木材、綿織物、小麥粉、セメント、レール、機械類、木材を輸移入する外通過貿易品とし

て小麥粉、大豆、木材、砂糖等があり木材の集散も年十餘萬噸に達してゐる。

人口は現在二萬五千内朝鮮人二萬四百、内地人三千二百外滿洲國人及外人である。

【旅 館】 大和館、博多屋旅館、みやこ旅館、熊本旅館、早田旅館

羅。津。下。〇

本都邑は北鮮三港中に於て最も主要な地位を占むるもので港は東、西、北に山を負ひ南面が開けて港口には大草、小草の二島があり典型的な自然の良港灣をなしてゐる。

鐵道は滿洲國成立後、京圖線の終點に決定し、港灣は十四ヶ年、六千萬圓の總工費を以て九百萬噸の吞吐能力を有する港灣計畫の下に滿鐵の手を以て進捗してゐる。

現在は埠頭一基を有し吞吐能力は百餘萬噸である。貿易額は輸出入合計二百餘萬圓で輸移入が殆んどで主要輸移入品は、鐵材、セメント、木材等の建築材料の他、米、野菜、食料品で市街計畫も進行中であるが、現在人口二萬六千（内地人六千餘）で日本海運航の急速な進展は本地の發展に異常な拍車を加えられるものと見られて居る。此の地は嘗て日露役に上村艦隊が碇泊し、西伯利亞出兵當時にも我が艦隊の碇泊月餘に亘つた史實がある。

【旅 館】 羅津ホテル、草島旅館、高砂旅館、鶴屋旅館、大和旅館、信濃屋旅館、三國屋旅館、中村旅館、櫻屋旅館、美奈登旅館

安東から奉天へ……………(二七六杆)……………安東線

安東から奉天に至る鐵道を一般に安奉線と云つてゐるが嚴密な意味では滿鐵本線の分岐點蘇家屯から、安東まで二百六十一杆の間を安奉線と云ふ。

この沿線は緑山碧水、長白山系の支脈になつてゐる伏羲山、鳳凰山、鷄冠山等の奇峰峻嶂に鑿河、細河、太子河等の本支流が纏綿して恰も木曾の谷々のやうに滿洲としては珍しい溪谷美を展げてゐる。

安東 あんとう
AN-TUNG

安東は朝鮮より陸路滿洲國への玄關口、國境を劃す鴨綠江の河口から二十六杆、元寶山、鎮江山を背後に控へ右岸に市街を展べ、朝鮮新義州に相對する都市である。滿人の居住する舊市街に接して邦人の建設經營になる新市街は舊市街に接し驛を中心として近代式の縦横整然とした都市をなしてゐる。鴨綠江を利用する水運及、滿洲、朝鮮兩鐵道の接續地點として、活潑な貨物の集散取引を示しその貿易額は年一億五千萬圓に達して大連に次ぐ滿洲三大港の一として將來を囑されて居る。貿易品中輸入品の大宗は綿布で輸移入總額の五割を占め輸出貿易品の主なるものは粟、豆粕、柞蠶絲、大豆、木材等で特に豆粕、木材、柞蠶絲は安東の三特産物である。人口は舊市街十一萬七千、新市街七萬七千



大連・埠頭 (旅順要塞司令部檢閲所)



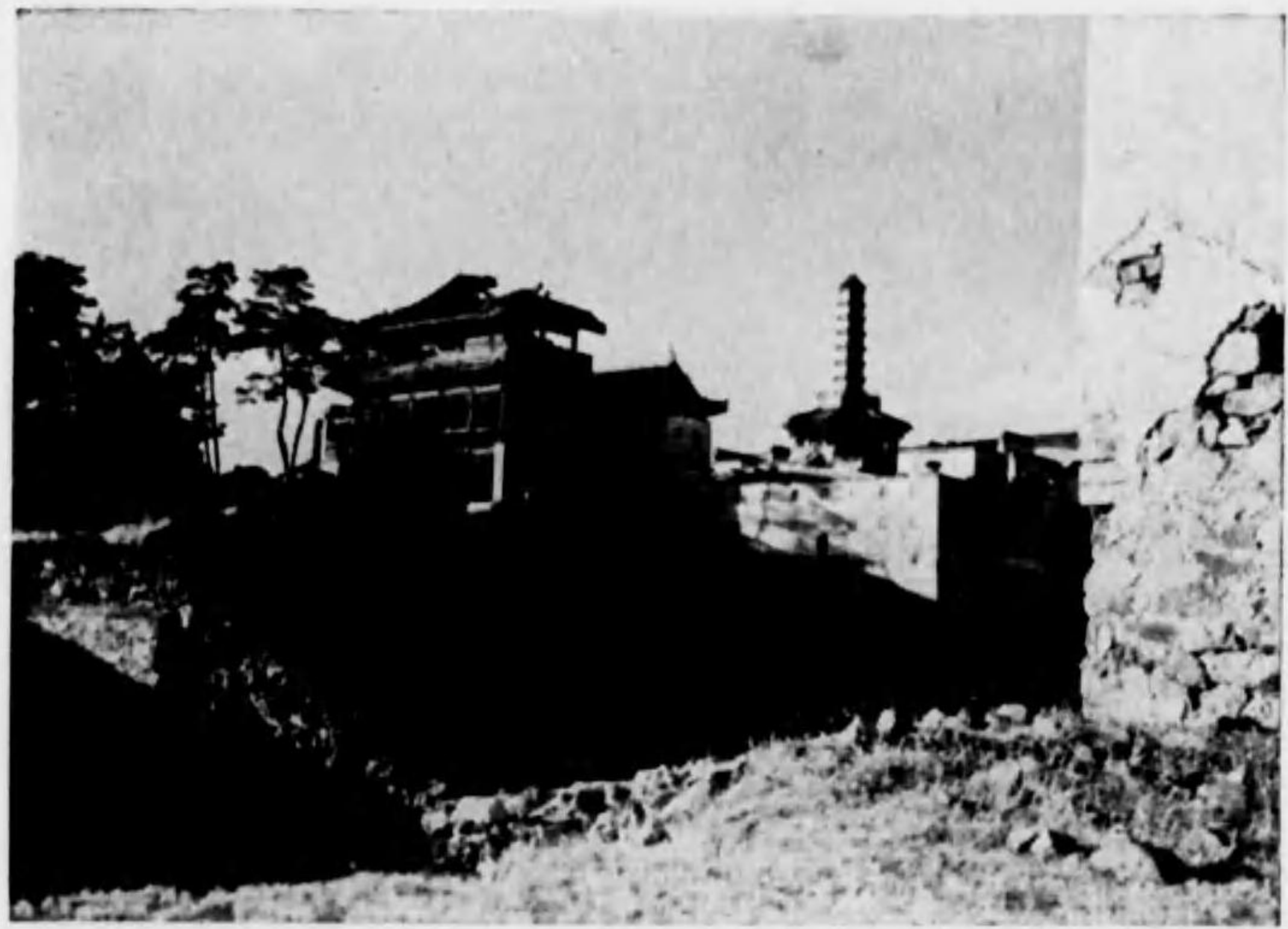
特急アジア



安東・鴨綠江と鐵橋



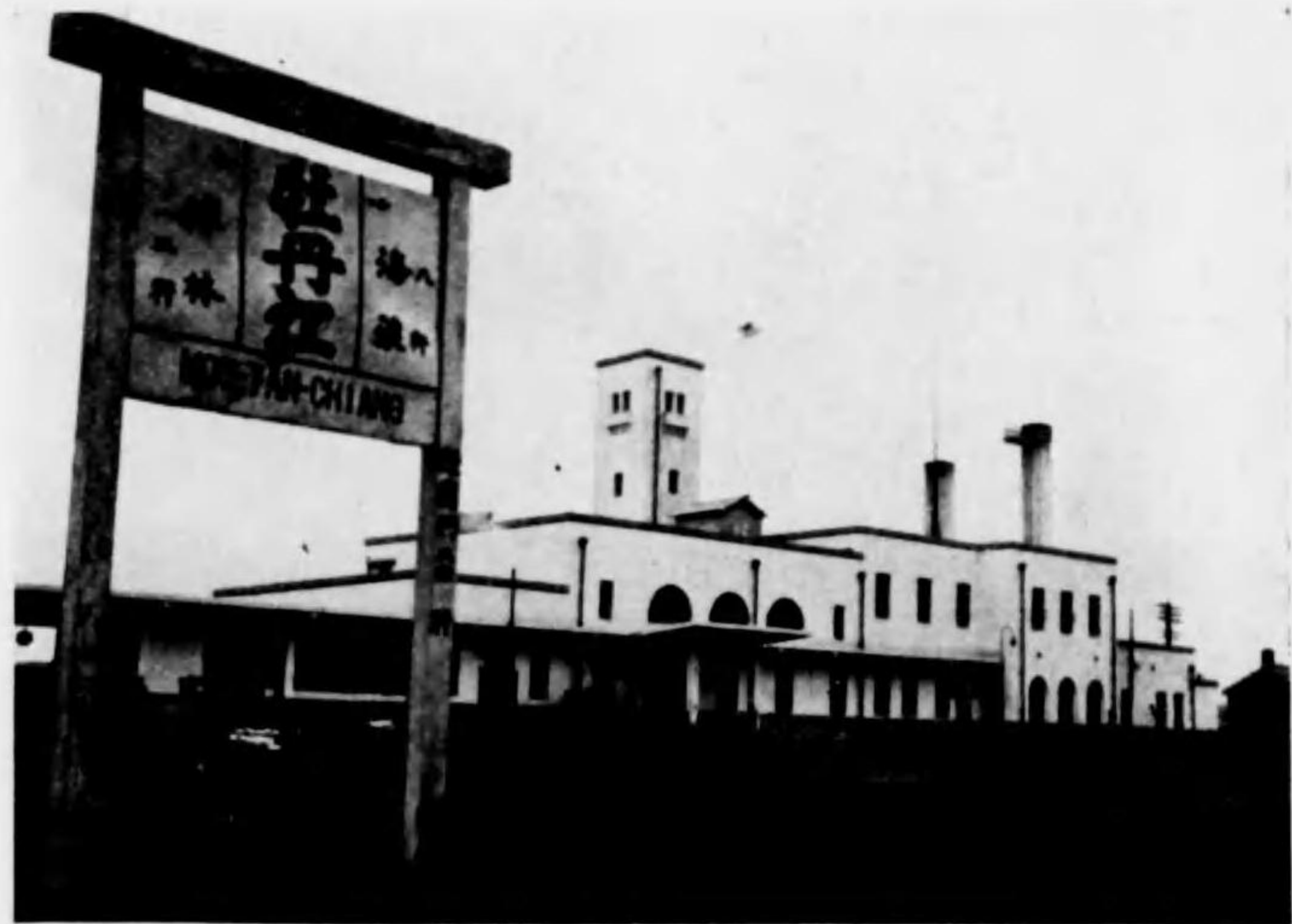
奉天・大廣場



承德・須彌福壽廟



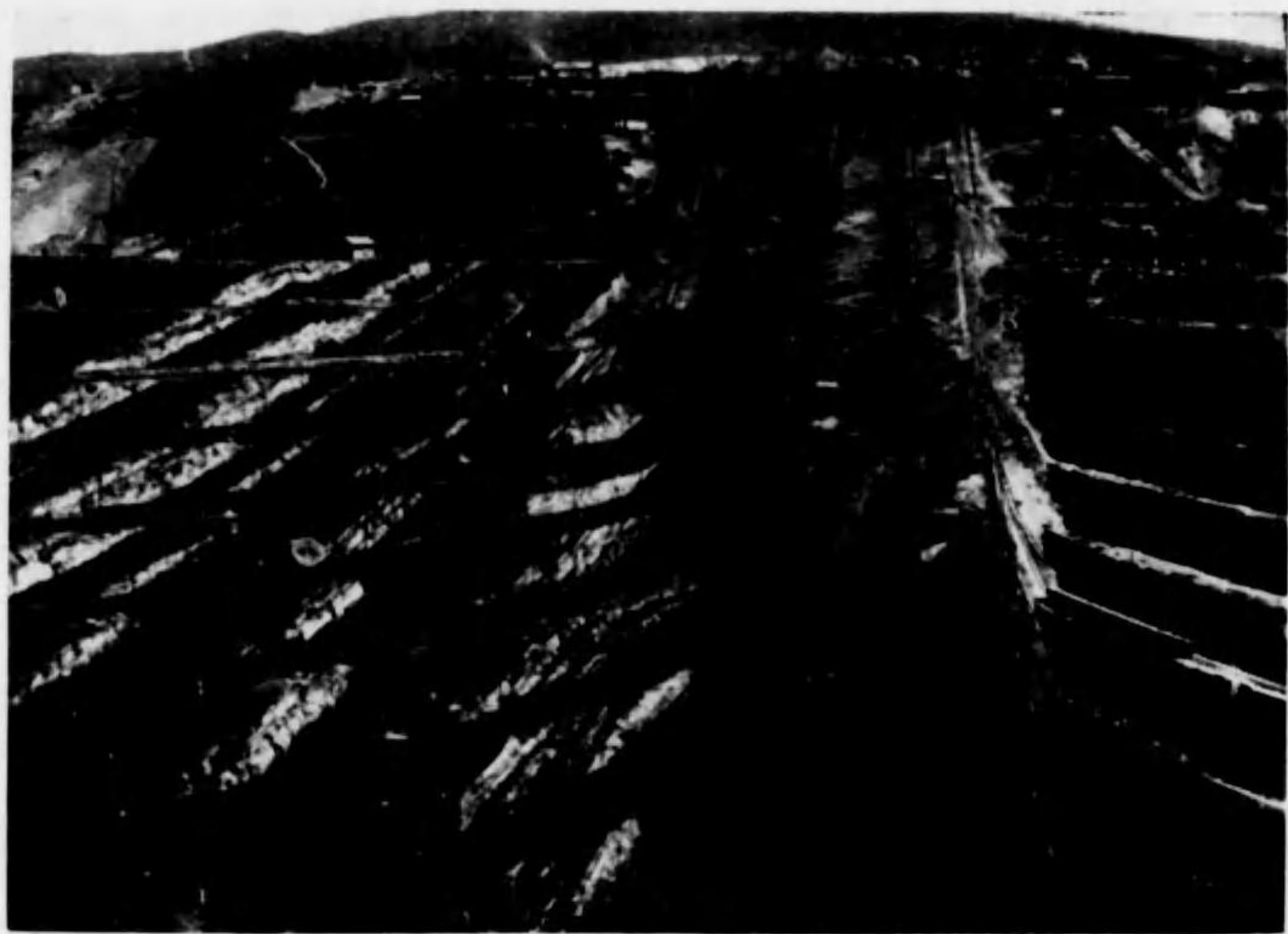
吉林・市街と松花江



牡 丹 江 · 驛



新 京 · 大 同 廣 場



撫 順 · 滿 鐵 撫 順 露 天 堀



哈 爾 濱 · 松 花 江



永豐鎮・移民地風景



滿洲の特産大豆の積出し

合計十九萬四千の内、邦人一萬五千、鮮人一萬四千である。

遊覽地

舊市街の北背に獨特する元寶山、及其の麓の關帝廟、新市街の背後に聳える櫻の名所鎮江山があり、其山腹には臨濟寺、山上には日露聖戰陣歿勇士の忠魂碑がある。

交通機關としては人力車、馬車が利用され、料金は市内十錢乃至十五錢、馬車は一時間三十錢位。

本溪湖
PENHSIHU

本溪湖は鐵の街、石炭の街として近年著名になつて來た所で、煤鐵公司所屬の炭坑及製鐵所がある。

市街は、四圍を山でめぐらし、本溪湖河に沿うて舊附屬地と滿人街があり兩者は鋪石道で連なり、表通りは繁華街、裏通りは官街が竝んで居る。

古來著名な缸窰(水甕製造所)のある處で本溪湖は一名窰街と稱されて居る。

炭坑は市街と太子河畔との間に横たはる照山の麓にあり煤鐵公司の經營で炭層數二十、炭質は半無煙炭で製鐵用コークスを製造するのに適して居る。

鑛區は千三百三十五萬坪、一ヶ年の出炭量六十萬噸、製鐵業も炭坑と同じく本溪湖煤鐵有限公司の經營である。

本溪湖鐵有限公司は、日清日露兩戰役、馬賊の被害坑内の擴大、及坑底の深度に伴ひ通氣と運搬排水に困難を來たしたる等の理由により作業中止中のものを大倉組が明治三十八年十一月手を著け翌三十九年一月に開坑式を擧げその後製鐵事業を加へ明治四十四年日滿合辦組織となり現在資本金七百萬元製鉄年額十二萬噸に及んでゐる。

鑛石は廟兒溝鐵山のものを使用し熔鑛爐四基送風機五基、特記すべき低磷鉄の製造をやつて居る。

遊覽地

市外二軒、滿人街西方左手の山腹に鐘乳洞があり、更に進めばそれと相對する山麓に龍洞と呼ばれる石灰岩の洞窟あり、洞内に碧水を湛へてゐる。

現在神社山の丘上に日露戰役の記念として「沙河會戰第一軍戰蹟」の碑が建立されて居る。

奉天から大連へ………三九六・六軒

本區間は滿洲鐵道の大動脈連京線の奉天以南をなすもので安奉線を分岐する蘇家屯、白塔で有名な遼陽、鐵都鞍山、及び湯崗子溫泉、營口線を分岐する大石橋、熊岳城溫泉を経て大陸の門戸であり東洋屈指の大貿易港大連に至るもので豐沃の南滿洲の産業を刺戟開發して居り、政治、文化、經濟各部門の原動力であると共に遠くシベリア鐵道に連絡して歐洲に至る國際線をなして居る。

撫順線………渾河より炭都撫順に至る鐵道で四八・二軒

營口線………大石橋より營口に至る一二・四軒

旅順線………周水子から連京線に分れて旅順に至る五〇・八軒で途中には滿鐵經營の海水浴場夏家河

子、日露戰役の古戰場龍頭附近城墟、塙臺古墳で有名な營城子等がある。尙金州からは金福鐵路公司の經營に係る金福線が城子驢まで通じて居る。

奉天 FENG-TIEN (MUKDEN)

奉天は、遼河の支流渾河の抱く沃野にたち、滿洲主要都市の一として、往昔から此の地を相して城を置き、遠く渤海の時代から元、明、清、の諸代を経て、瀋州、瀋陽、盛京、奉天と呼ばれ今では歐亞・北支に通じる鐵路の結節點として滿洲交通網の樞軸をなしてゐる。

大奉天は舊滿鐵附屬地、舊商埠地、城内、工業地區の四つに大別され、何れも大奉天都市計畫に基き近代性を加えた明朗な商業都市として躍進を示して居る。

人口五四〇、〇〇〇人にして其の内譯は

舊附屬地及鐵西(工業地區)	日本人	六七、九〇〇	滿人	三一、二三〇
	歐米人	六六〇		
舊商埠地及城内	日本人	二六、四八〇	滿人	四一七、六〇〇
	歐米人	七五〇		

舊滿鐵附屬地は總面積約四百九萬坪、大體に於て長方形をなし鐵道の東を市街地、鐵道の西を工業地として分つ。市街は秩序正しい直角形式をなし驛前より千代田通、浪速通、平安通の三道路を放射せしめ、浪速通の中間に大廣場、平安通の中間に平安廣場がある。

浪速通、千代田通は商業地區にして浪速通には邦人の商店多し。附屬地東南部は醫科大學其他諸學校立ち並び學校街を形成してゐるがこの中に滿洲内鐵道の總元締たる鐵道總局もある。

現在大市街をなす附屬地も三十年前には荒涼たる原野で然もその大部分は墓地であり、日露戦役の狼穿、塹壕等があり血腥き戰場に驛と守備隊があるばかりで日本居留民は商埠地十間房方面に居を構へてゐるに過ぎなかつた。かくて今日の如き發達の緒に就いたのは明治四十一年滿鐵が市街計畫に着手してからの事で當時全人口は日支人を合して二千名に過ぎなかつた。

城内と舊附屬地との中間に介在する一帯を商埠地と稱し各國民の居留地で我が總領事館を首め英、米、獨、佛、伊の各領事館があり各國の商賈が集り特殊の雰圍氣を作つてゐる。然しこの地域も今次滿洲の治外法權撤廢で商埠地の名稱も無くなつた。

この地域は昔日頗る繁榮せるも漸次舊附屬地にその殷賑を奪はれて、今ではその面影もないが滿洲國々立博物館、瀋陽公園、喇嘛の黃寺、西塔等がある。

鐵路の西部にある鐵西工場地區は、商業都市奉天が工業都市奉天として新にデヴィューした滿洲の

心臟部である。

市内交通機關には電車、バス、自動車の外露治時代の馬車、人力車があり、奉天驛前から電車、乗合自動車を利用して城内に至れば奉天城は美しい往時の宮殿を中心として、方形の内城とそれを圍む邊城からなつてゐる滿洲第一の平城である。

内城は、甃築で周圍六軒、高さ十一米、厚さ五・四米、八門を開き中心には宮殿を始め奉天の主腦をなす諸官衙が蟬集し城門に通ずる大道は商業極めて殷賑、小西門から小東門間の四平街は大商店が栞比して居る。

滿洲事變まで中國陸、海、空軍の各副司令、東北邊防軍總司令としてときめいた張學良の公館は國立圖書館となり、日露戦役に大山大將奉天入城の大南門も吉順絲房（百貨店）から望見される。

名勝地

宮殿驛より四軒、大西門から入れば眞直ぐに宮殿の前に出る。

奉天城は清の太祖及太宗の宮居した處で宮殿は金鑾殿と稱し東西一〇〇米、南北二六九米その境域は大内宮闕、大政殿、文溯閣に分れて正面には、皇帝が政を聽いた崇政殿がある。

文溯閣は一名圖書樓と言つて有名な貴書四庫全書六千五百二十二函を藏して居る。

以前は參觀を許されて居たが昭和十一年五月以降宮殿の拜觀は禁止された。

市場。内城の外側城壁に沿ふて、大西門から大東門に至るまで狭長な市場が構成されて居

て、古着、鍛冶金具、雑貨、骨董品、野菜、獸肉、家具、等の店が夫々軒を並べて居る。
同善堂。本堂は光緒七年（一八八一年）左忠莊公の設立に係る社會救濟事業の一施設で貧民、
醫務、孤苦、工藝の四部に分れ相當整備された方法で經營されて居る。

私生兒の捨子を受取る救生所、遁入した娼婦を收容する濟良所、乞食を收容する棲流所等は珍らしい施設である。

法輪寺。西塔と共に護國寺塔の一つである喇嘛の北塔は此の寺に聳えて居り、寺境にある天地廟には涅槃寂靜相を表現した怪奇な男女交歡の像（天地佛）が存置されて居る。

北陵。奉天驛の北方六軒

陵は清朝第二代太宗文皇帝の陵墓で、境域の周圍約八軒、外壁一・七軒、内壁の高さ六米餘で入口には一大牌樓が立ち前三門（正門）を潜つて進めば碑樓がありこの間は兩側に獅子、走獸（白澤）麒麟等の石獸が並び、内二頭の馬の石獸は太宗の乘馬を形どつたものとして著名である。更に三層樓を成す隆恩門を潜れば廟の拜殿である隆恩殿がある。

拜殿の後方には明樓と寢陵があり、半圓形の壁に圍まれた寢陵は太宗文皇帝の靈柩が葬られてゐる。

靜寂の奥津城に競ふ結構の莊と配合の妙は清朝の全盛期を偲ばすものがあり奉天人士の行樂地となつて居る。

なつて居る。

東陵。城内から東方約十四軒

奉吉線の東陵驛に下車するが便利である。

別に、奉天驛前から總局經營の奉撫線乗合バスによれば約一時間で往ける。

東陵は天柱山福陵と稱し、清の太祖高皇帝を葬つたもので渾河の右岸に臨み老松の中に、朱壁綠瓦甍え附近の天然風水の勝は又格別である。

（觀覽料は北陵、東陵共、大人國幣三角若は金三十錢、學生、小兒二角又は金二十錢 普通團體十人以上一角五分又は、金十五錢、小兒一角又は金十錢、正服軍人及六歳以下無料）

【視察の順序】

○半日行程の場合

驛（旅館）—忠靈塔—國立博物館—北陵（又は北大營）—城内—吉順絲房（百貨店）—歸着

遊覽バス（18人乗）五時間

普通團體 一八圓 中等學生以下 一五圓

但し大型（25人乗）の場合は前記料金の三割増、五時間以上使用の際は右何れの場合共一時間に附金三圓

馬車 九—一〇時間(一日行程と同じ)

普通團體 二圓 中等學生以下 一圓九十錢

○一日行程の場合

驛(旅館)―奉天神社―忠靈塔―國立博物館―同善堂―北陵(北塔)―城内―故宮殿前通過―吉順絲房―北大營―滿蒙百貨店(又ハ七福屋百貨店)―歸着

遊覽バス(18人乗) 八時間

普通團體 二四圓 中等學生以下 二〇圓

但し大型(25人乗)の場合は前記料金の三割増

八時間以上使用の場合は何れの場合共一時間に付金三圓

馬車の場合は半日行程の欄参照せられたし

○巡路外割増料金、半日及一日行程でも左記箇所を追加した場合は一ヶ所毎に二圓の割増料金を要す。(大型車使用三割増)

鐵西工業地區廻り、大東門以東兵工廠方面廻り、北飛行場廻り、北塔廻り、小東邊門廻り

○時間貸料金、一時間五圓、(大型三割増)但三時間を超過する時は超過一時間に附三圓(大型三割増)

○定期遊覽バスは毎日驛前發車、期間は五月から十月迄、驛前を十時出發十七時(午後五時)頃歸

着、料金は一名二圓五十錢(北陵、博物館觀覽料を含む)、小學生以下一名一圓五十錢、女子案内人附でコースは驛―奉天神社―忠靈塔―鐵西工業區―國立博物館―同善堂―北陵―城内故宮殿前通過―吉順絲房―北大營―滿蒙百貨店(又ハ七福屋百貨店)―歸着。

【旅館】 ヤマトホテル(洋式)、瀋陽館、大星ホテル、平和ホテル、溫泉ホテル、大丸旅館、マ
ルナカホテル、日滿ホテル、昭和ホテル、松島旅館、東亞旅館、武藏屋旅館、九州館、常盤旅館、
日進旅館、平安ホテル、身上旅館、一力旅館、滿洲旅館、浮月旅館、住吉旅館、奉ヒルホテル、
七福屋ホテル

撫順 撫順 撫順
FUSHUN 順 順 順

撫順は炭礦によつて興つた都市で奉天を始發驛とし連京線渾河驛から分岐し渾河左岸に沿ふて東行する撫順線の終點である。

當市は日露戦役後日本人が集るまでは寂しい寒村であつたが滿鐵の炭礦經營により漸次尨大になり、現在日、滿、其他各國人を合して八九、八九〇人の大都市に發展してゐる。

都市の充實によつて交通も拓け電車、乗合自動車等近代施設備り之れに從來の人力車、馬車があり

非常に便利である。

新市街は東半を滿鐵の社宅によつて占められ西半には商業區と事務所、學校等の區域になつて居る。舊市街は大山坑、モンド瓦斯發電所、第一、第二露天掘の外、滿洲國關係機關があり滿人によつて賑はつて居る。

炭 本炭礦は六、七百年前、高麗人に依つて陶器製造の燃料として採掘されたと察せられ以後清國及露國相次いで採掘し日露戰役により日本軍占領、野戰鐵道提理部經營のものを四十年四月滿鐵創立と共に繼承したものでそれ迄老虎臺、煙臺等四坑のものが大山、東郷の二大堅坑が開鑿され大正四年には古城子露天掘、九年には新屯、古城子の露天掘次いで各露天掘を爲すに至り今日では一日二萬五千噸の出炭量を示して居る。

古城子第二露天掘は東西の延長五籽深度三五〇米と云はれ採掘量は一億三千萬噸に及んで居る。尙本炭礦の上層をなす油母頁岩及綠色頁岩の中含油量多い油母頁岩の富礦は製油工場で處理して居る。このオイルシエール工業は、年産額約七萬五千噸の原油を生産してゐる。

炭田の炭層上に汎く分布される油母頁岩の最厚の部分は一四〇米もあつて總量五十億噸と稱されて居る。

宏大な炭田とそして豐饒な油母頁岩の存在は日本の爲め又滿洲の爲め力強い資源の一つである。

礦區及出炭量・オイルシエール生産高を概記すれば礦區、東西一七籽、南北四籽、約六、〇一六萬平方米埋藏量一〇億噸 炭層の厚さ平均 四〇米

出炭量 七〇六萬噸(昭和八年) 一日平均二萬噸

製油工業

原油 年額七萬五千噸

此の原油より年産四萬五千噸の重油、年産一萬五千噸の粗蠟、その外に骸炭、硫安、及揮發油が得られる。

名勝地

撫順城 本城は明の洪武二十一年千戸所を設けたのを創めとし初めは土城で鎮陽城と呼ばれ後清朝乾隆二十四年城壁を築造し城門を設けたもので現在では西部を残し荒廢し畑地と化して居る。

老虎臺スキー場 老虎臺電車停留所

約一、〇〇〇米のスロープを有し勃興して來た滿洲スキー場の一として冬期は相當に賑はふ。

【旅 館】 炭礦クラブ(洋式)、筑紫館、壽旅館、近江屋旅館

遼陽 LIAO-YANG

遼陽は滿洲最古の都城の一つで久しく滿洲に於ける政治の中心地で朝鮮、北支に通ずる往昔時交通の要衝なりしたため城内及其附近は史蹟に富み就中白塔は滿洲をシムボライズするものとして滿洲國の切手にも印刷され八角十三層色褪せた古塔は幾變遷滿洲の歴史を無言の中に瞭めてゐる。人口は、内地人四、三〇〇、朝鮮人二五〇、滿洲國人六、三三〇、歐米人一〇、合計一〇、八九〇人。交通は人力車、馬車が使用され驛から忠魂碑、城内中央まで人力車一〇錢、馬車二〇錢、首山堡迄馬車八〇錢である。

名勝地

白塔 有名な白塔は廣祐寺の佛塔で堂宇は亡びてないが塔のほか古碑、露座の觀音釋迦像等があり、廣祐寺は白塔寺とも言はれ金代の初、世宗の母后によつて創建されたものと言はれてゐる。

白塔は八角十三層、高い基壇の上に立ち塔は相輪の頂上まで約二百五十尺ある。

戰蹟 驛の南方十四町に忠魂碑がある。碑の高さ四十五尺、日露戰役の時、蓋平、沙河間に於て戰歿した一萬三千三百餘名の靈灰を納めてある。其他に激戰地として驛の東南一里餘に玉皇廟があり同じく驛南二里餘に首山がある。

壁 驛の東南約一杆、明の洪武年間に改修したるものにて當時南北二城ありしを清の太祖が之れを毀ち新城を太子河の右岸に築き今の土城若くは北哨堡と言はれるのは北城の遺跡である。

鞍山 ANSHAN

當市街は製鐵所に興された純粹な鑛業都市で一時世界大戰後の變動により衰微の状態にありしも滿洲建國後昭和八年六月昭和製鋼所が誕生してからは鐵都鞍山として、大工業都市に轉廻し増産へ増産へと躍進する製鐵業と共に都市も一段と飛躍を示してゐる。

人口も事變前に比較して約二倍となり現在二六、七九〇人、そのうち内地人一〇、三九〇人、滿人一五、七五〇人、外朝鮮人である。

昭和製鋼所 大正六年此の市街が計畫された折は製鐵所の出銑量百萬噸、この事業に伴ふ人口十五萬を抱擁するものとして出發せるも大戰終熄後經濟界の大變動により急轉直下總てが緊縮され、次いで昭和八年六月一日滿鐵より分離し設備一般を昭和製鋼所に讓渡し同日誕生した昭和製鋼所の出現は長年月の萎靡から一途回復の途を辿り加ふるに増産計畫によつて跳躍的な進展振りを示し居る。

製鋼所を中心として半徑九哩を以て北東から西南に向けて畫く半圓形内に埋藏される鑛量は約六億噸で現在は主として大孤山で採鑛しその採鑛能力は一日二千五百噸で昭和八年から設置された弓長嶺採鑛所は富鑛量三百萬噸以上、貧鑛量數億噸以上と推定される。

鞍山一帯の鐵鑛は埋藏六億噸と言はれ含鐵量は大部量が四〇%以下の貧鑛で、この貧鑛を如何に處理するかは事業經營上の重大問題として創業當初から研究され大正十一年還元焙燒法に依る處理方法を發明し鞍山鐵鑛の利用價值を確保するに至つた。

現在の設備は

鑄鑛爐 三基	年産額 三二〇、〇〇〇噸
選鑛設備	年産額 四〇〇、〇〇〇噸
骸炭製造設備	年産額 三一〇、〇〇〇噸
副産物製造設備	
窯業設備其他	

千。山 鞍山驛の東方約九軒の地に連立する山嶺で樹木鬱蒼、山中四十八谿、五大禪寺、二十三道觀があり遊行の地として著名である。

【旅 館】 近江屋ホテル、鞍山ホテル、扇屋旅館、日光旅館、とらや旅館

湯崗子 ㊦
TANG-KANG-JZU

湯崗子は東方に千山の美しい山並を眺め古くから温泉地として有名な處で熊岳城、五龍背と共に滿

洲に於ける三温泉の一として普く知られて居る。

この温泉の泥湯は東洋一と稱されるもので他の諸設備と相俟つて理想的な温泉地をなしてゐる。

温泉旅館は總て湯崗子温泉株式會社の經營で同一境内にある。

【旅 館】 對翠閣、玉泉館、龍泉別墅

營口 ㊦
YINGKOU

營口は遼河の河口にあり、大連開港以前までは滿洲唯一の貿易港で現在なほ鐵道と水運、渤海灣の航路が開けてゐる爲めに南滿三貿易港の一つとして沿岸貿易には特殊の勢力を持つてゐる。殊に對北支上海の戎克貿易は支那が開港した貿易港と言ふ先入觀念から南滿三港中最有勢である。

百餘年前は無名の大葦原なりしも先頃まで遼河貿易の中心地なりし牛莊をこの地に移して以來牛莊とも呼ばれ、日露戰役後急激に發達せるも大連港が開港するに及び當港が冬季凍結し十一月半より翌年二月末まで利用不能なると相俟ちその繁榮を奪はれしも其の後再び滿洲産業の發達に伴ひ漸次回復し昭和五、六年の貿易額は一億海關兩を突破するに至つた。

經濟的には、遼河によつて集散される大豆、豆粕の海路、鐵路を利用する消費地として殷盛を極め商業的地盤を確立して人口も、季節により異動あるも滿支人十一萬 邦人三千四百 鮮人一千五百

合計十一萬四千五百名に達してゐる。

名勝地

營口神社。忠魂碑。共に旭公園の中にあり邦人の氏神であり、又靈地とされて居

る。

遼河。滿鐵埠頭から太古洋行埠頭に至る岸壁は悉く汽船を繫留し得、ジャンク荷役の光景

は一偉觀であり冬季結氷中、氷上を滑走するアイスヨット、橇の遊行も有名である。

【旅館】 清林館、營口ホテル

熊岳城 千 〇 〇 〇
HSIUNG-YAO-CHENG

熊岳城は滿洲三温泉の一として又林檎、紅梨の産地として著名な處である。

温泉は珍しい砂湯で知られてゐる。美しい並木の散歩路と民衆的で安價な旅館設備等で夏季利用する人が近年著しく増えた。

南滿洲鐵道株式会社では公主嶺農事試驗場の分場を此處に設置し園藝、種藝、養蠶、林産の四科を置き各果樹の品種試験、蔬菜の改良その他試験、改良に大なる功績を擧げてゐる。

名勝地

望小山(望兒山)及天然橋。驛の東北二十八町に在る。平野の中に島の如く礫岩の孤丘が六個點在してゐる。孤丘上に廟あるもの二、喇嘛塔あるもの一、その塔あるものを望小山

と云ふ。塔は俗に水難塔と云ひ、八角の半喇嘛型、高さ二十八尺、磚築である。昔、一人の寡婦あり、その子、擧に應じ渤海を渡つて京に上つたが月を経て還らず、爲めに寡婦は日夜思慕、歸帆を眺め遂に此の丘頂で我子の名を呼びつゝ悶死したといふ傳説によりこの山に望小山の名が起つた。望小山は靴で登るには稍困難である。頂上に立てば熊岳城一帯の飛景指呼の裡にあり、遠く渤海に眸を放てば海岸北端の山頂と南端の山の中腹とに完全なる烽火臺が見える。

望小山の續きの孤丘は岩骨の一部が穿たれて天然橋をなし奇觀を呈してゐる、望小山も天然橋も列車が驛を出て北行する時、車窓の右側に見える。

其他、城外に黃旗山、韓家の梨園、觀寶山、望海寺等春秋の好季に遊行の好適地がある。

【旅館】 温泉ホテル

金州 千 〇 〇 〇
CHIN-CHOU

日露戦役の古戦場で乃木將軍の詩、山川草木轉荒涼、十里風腥新戰場、金州城外立斜陽、征馬不前人不語は人口に膾炙され又古くは、遼東半島の都城として有名で金福鐵道は此處を起點として城子曠に向つてゐる。

新市街は工業都市として、近郊には果樹園及大和尚山等を控え行樂の地として廣く知られて居る。

金州城。金代（西曆一二一六年）に州とし初めて金州と稱され、歴代此處は遼東半島及滿洲の政治的要地である。

城は元代既に土城があつたらしく、土築の儘のものが明代洪武十年（西曆一三七七年）甌城に改修したもので、往時は周圍六里（滿里）高さ三丈五尺であつたが現存の城は清朝乾隆四十五年の修築で方形をなし周圍三十一町四十二間、樓門四、昔日の城濠は殆んど埋れて居るが尙昔を偲ぶ事が出来る。この城は一名榆林城と呼ばれて居る。

名勝地

城内は滿洲の城邑の相を識る標式的なところで關帝廟を中心に十字街をなし南街は繁華である。

大和尚山。海拔二千二百尺。古來滿洲の名山の一で山間寺觀多く風景佳なるにより有名であり、有名な響水寺、朝陽寺、勝水寺觀音閣等銷夏に春秋の行樂に趣深い處である。日露戰役に關する三志士の碑（三崎山）、乃木少尉の碑も近くにある。

天齊廟。北門外にあつて邦人間には「地獄、極樂」のある寺として金州の名所の一とされて居る。

大連
DAIREN 連 千 口 洗 池

大連港は極東に於ける自由港であり又大陸の關門、新興滿洲國の大玄關として上陸客、四十一萬五

千人、乗船客、三十萬四千人に達し、貨物吞吐即ち貿易合計九百萬噸で輸出品の重なるものは大豆、豆粕、豆油、高粱、石炭、鐵、鐵製品、柞蠶糸等で輸入品は麥粉、綿織物、麻袋、鋼及鐵、木材、機械器類である。

此の老大な貨客を吞吐する港内には第一、第二、第三、第四、及び甲、乙、丙各埠頭があり、同時に四千噸級の船舶四十隻の繫船能力を持つて居る。陸上設備としては埠頭構内全面積二百八萬四千平方米、その中に倉庫及上屋七十九棟、四十八萬三千八百平方米、野積保管場が五十一萬三千平方米、その間に敷設された荷操用鐵道百七十八軒に及んで居る。

この埠頭の北方對岸甘井子には世界有數の電力による石炭専用埠頭があつて益々機能を高めて居る。

他に豆油、重油、石油其の他危險品揚卸用として二本の寺兒溝棧橋、鑛石其他撤積貨物荷役の爲め濱町埠頭、戎克による貨物揚卸の爲めには入船埠頭があり入港船舶約五千六百、千六百萬噸に及んで居る。

埠頭に上陸し又埠頭から乗船する旅客の吃驚讚嘆するものは、船車連絡の設備を有する船客待合所でこれは滿鐵が七十萬圓の工費を投じて作つたもので收容能力五千人、世界一と誇つて居るもので七階建埠頭事務所の屋上に至れば埠頭の諸相及び大連市街が大觀される。

市街は「アカシヤの街」と呼びたい程並木にアカシヤが多く初夏は白い花房に飾られ手入れの行届いたタール・マカダムの道路の清爽さは好感を興へる。

緑樹と道路の美に恵まれた大連市街は大小七つの廣場を中心として其處から蜘蛛網狀に街路を放射せしめ、就中大廣場はあらゆる意味で模範的な形を整へて大連の中心をなして居る。

此の放射街路は範を巴里にとつた露西亞の計畫を我が國で踏襲したもので大廣場の周圍には民政署、市役所、ヤマト・ホテル、英國領事館、警察署、逓信局、東拓ビル、及正金、鮮銀及び中國銀行があり、少し離れて蘇聯領事館、ヤマト・ホテルの背後に大連病院が巨城の様に聳立して居る。

此處は政治、經濟の中心をなし、大廣場の中心には里程標があり、又ヤマト・ホテル前には第一次都督故大島義昌大將の銅像が立ち、それ等を取り巻いて芝生、植込みも美しく一つの公園をなして居る。

尙此處を起點として埠頭方面への山縣通り、日本橋を経て露西亞町方面への大山通り、滿鐵本社前を寺兒溝方面への東公園通り、西廣場を貫き常盤橋を経て西部大連に至る西通り、ヤマト・ホテル前から大連病院脇を通り大連神社に至る大通り等合計十本の大通りを集めて大連市交通の核心をなし大連の銀座と稱される浪速町、大山通り、伊勢町などの商業區を手近く控へ次第に住宅地區、工業地區をめぐらしつつ市街を構成して居る。

大連に於ける市街の特相は街路を放射狀に射出せしめた事、總ての橋梁が市内交通路短縮のため役立つ陸橋たる事で常盤橋、日本橋、港橋は最も著名である。

日本橋は通稱露西亞町との連絡橋で港橋は埠頭を出た處にあり大連重要物産取引所と相對し道は山縣通りとなつて一直線に大廣場に達して居る。

常盤橋は市の五方面から通ずる電車の交叉點にあたり瓦斯會社、滿洲電業公司支店、連鎖商店街、市營市場、大連都市交通會社、三越等生活に須要な機關は總て之の一角に蝟集して居り、附近には大連驛をはじめ、中央公園、電氣遊園もあり將來の中樞地として重要性を發揮しつつある處で殊に連鎖商店街は資本金二百萬圓、總延坪一萬二千坪の株式會社組織で二百に餘る店舗を包有し特殊な型態と運行は大きな示唆と期待を各商店街に與へるものと見られて居る。

大廣場を中心として最初の企畫以上に完成し寸時も止まず伸びゆく市の聚域は、今や光風臺、桃源臺一帶の文化住宅を連ね、南端老虎灘まで進出し西部は、伏見臺の學校街から關東州廳を初め、地方法院、赤十字病院の建ち並ぶ譚家屯方面を経て、聖徳街、大正廣場から、馬蘭河を渡つて、臺山屯工業地區まで市の範圍は擴がり次第に星ヶ浦に迫つて居る。

一方海に面する北崗子、榮町海岸の埋立が齎らす殷賑も豫想され地理的に見て市勢は西に移行しつつある。

自治都市大連の人口は日本人十五萬餘、滿洲國人三十數萬、歐米人一千三百足らず合計五十萬餘で異數な發展は驚異とされて居る。

南、滿洲、鐵道、株式會社、滿洲に於ける文化及資源開發の大なる使命を負ひ、明治大帝の御遺業として、日本民族の進路の開拓者として、創立以來三十年滿洲建國の大事業に參劃滿洲國有鐵道及北鮮鐵道の委託經營並に新線の建設に當るなど渾身の努力を傾注して居り事業としては鐵道、埠頭、倉庫、工場、炭礦、製鐵、地方經營等で昭和十二年の治外法權撤廢で地方經營は滿洲國に移讓した。

施設には衛生、教育、試験研究、産業助成等があり半官半民八億餘の大資本と十二萬餘の社員を擁して居る。

滿洲、資源、館、露西亞町の一角兒玉町にあり、滿鐵の經營になるもので滿蒙の鑛産、林産、農産、畜産、及びそれらの加工品並に鐵道、港灣等に關する標本、模型、圖表等を陳列して一般の觀覽に供して居る。

中央、試験、所、伏見臺に所在し、滿洲天與の富源開發と學究的に福利を増進せしめる目的をもつ化學實驗所で、モンド瓦斯タールを利用する防臭劑、硬化油製造澱粉製造、高粱酒改良、オイルシエール研究等業績には見るべきもの頗る多く、滿蒙に所在する幾多の製造會社は此の試験所の結果から生れたと言つても過言でない。

地、質、調査、所、滿洲資源館の階上に在り、中央試験所と同様、滿鐵に屬し専ら滿蒙の地質並に鑛産物に關し基礎的調査の使命を持つもので鞍山鐵鑛の發見、撫順以外諸炭田の發見等が功績の大なるものである。

衛生、研究、所、下霞町にあつて衛生、保健に關する研究、検査、血清ワクチン、痘苗を製造して居る。
大、連、圖、書、館、所在は滿鐵本社に並び、藏書冊數十八萬冊、本館は滿洲、蒙古、中國研究の圖書、漢籍、露文圖書の蒐集に異色あり、尙市内七箇所の小圖書館も自由に閱覽せしめ開架式になつて居る。
公、學、堂、市内に於ける教育機關中滿洲國人子弟の爲めに關東州廳が設けたもので、五ヶ所あり初等教育上遺憾なからしめて居る。

西崗子、沙河口、上佐町、伏見臺、秋月臺にあり、尙嶺前屯、寺兒溝に分教場がある。

鐵、道、工、場、滿鐵の車輛工場として特殊なもので工場面積六十萬坪、全従業員日本人二千四百滿人二千三百、獨立の水道、發電所があり、滿鐵及滿洲國諸鐵道の機關車、客貨車製造、修理をして居る。
油、房、市の東部と寶町一帯、及西崗子に多く存在し滿洲の生む特産物大豆から豆油、豆粕を製造して居る。

全滿三千位の中約一千が大連にあり、その中日清、三泰、豐年、小寺、三菱等が代表的なものである。
公、園、大連市内には數多の公園があるが市全體が一つの公園の様に思はれる。

中央公園は最近まで西公園又は、露治時代虎を飼養して居たので虎公園とも呼ばれた公園で現今は、常盤橋から緑山にかけて五十萬坪、園内には日露戦役時の蓋平以南の戦死將兵四千名の遺灰を祀つた忠靈塔があり、五月、九月には盛大な招魂祭が行はれる。

尙此の園内には満鐵、實業兩野球グラウンド外各種スポーツ場を有し、譚家屯にある一萬坪、工費三十二萬圓を投じた大連運動場と相對して居る。

外に電氣遊園が伏見臺にあり、植物温室、圖書館等があり有料公園になつて居り春季になれば星ヶ浦と共に櫻の名所である。

露西亞町にある北公園は露治時代からのもので兒童の嬉戯に適した設備が整つて居る。

星ヶ浦、大連近郊の景勝地として老虎灘と併稱される處で星ヶ浦は纖細女性的の風光に於て、老虎灘は朴訥な野性を持つ男性美を以て顯れて居り星ヶ浦は滿洲唯一の冠絶した公園で市の西南一里餘、市内電車は此處まで延び黒石礁で終點になつて居る。

大連富士山麓十五萬坪のゴルフリンクの緑の芝生と小島を配した群青の海の間には展けた三十三萬坪の遊園地で満鐵經營のヤマトホテルがあり、初代満鐵總裁後藤新平伯の銅像一帯は春季櫻花を以て名高く、霞ヶ丘を境として曙の濱、天の川臨海浴場との間は、夏季、海水浴場として内外人の來浴するもの多く園内に點在する別荘を利用する避暑地として、遠く哈爾濱、上海からの來客あつて非常な賑

しさを呈する。

附近には海水浴場として著名な黒石礁あり。少し離れた凌水寺、小平島、龍王塘等の遠足行樂地があり、尙此の中間を貫いて坦々とアスファルト舗装の道路が旅順まで續いて兩側には胡藤の並木が續き開花期は夢境を馳るドライブウエイである。

老虎灘は常盤橋から南行する市内電車の終點にあり、景觀の奇と釣魚と清らかな海水浴とに普く知られて居る。

大連に於ける地方色の最も特異なものは苦力、收容所、即ち福昌華工株式會社の碧山莊華工收容所、戎克の碇泊に充てられてゐる俗に露西亞町波止場と言はれてゐる入船埠頭、滿人の住んでゐる奥町、西崗子等である。

碧山莊華工收容所は東山町にあり繁忙期一萬五千、閑散期にても九千五百が駐住し華工は大連埠頭に於ける荷役作業に従事し會社は彼等の生活を保障し向上發展の資とし諸般の設備が整ひ社會、勞働問題研究の好資料となつて居る。

外に、馬車夫收容所が嶺前屯及白雲山麓にあり、人力車夫收容所が八幡町にある。

露西亞町、波止場は滿洲特異の情緒を示し、物資は石疊の上に陸揚げされ檣頭の紅旗が翻り、戎克による仲繼貿易は年額十五萬圓、七百二十萬圓に達し豆油及特産物等を仕向品とし滿洲各地を初めとし

山東、江蘇、直隸、等に向け活潑に動いて居る。

滿洲情緒を味ふには奥町、西崗子、があり奥町は、風呂、芝居、料理屋等があり、西崗子は完全な支那街で殊に西崗子の露天市場は小盗兒市場と呼ばれ、滿洲人下層階級の生活必需品マーケットとして又民衆娛樂地として梨園(劇場)、書館(妓樓)、寄席、見世物小屋、奇術師等慰安の別天地になつて居る。

【視察に就いて】

○普通團體向コース(乗物タクシー又はバス) 埠頭—碧山莊—油房—大連神社—大廣場—滿洲資源館—伊勢町—西廣場—忠靈塔—星ヶ浦—露天市場—連鎖商店街—旅館。

所要時間五時間、料金、タクシー一臺四人乗八圓 バス二五人乗二八圓

○學生團體向コース(乗物貸切電車六回乗降) 埠頭—油房—朝日廣場—大連神社—忠靈塔—星ヶ浦—露天市場—滿洲資源館—旅館

所要時間七時間半、料金一回乗捨て毎に、一臺六圓乃至八圓(定員五五名乃至九〇名)

外に視察箇所としては大連重要物産取引所、錢鈔取引所、工業博物館、西崗子公學堂、ロシア町埠頭、遊覽道路、老虎灘、等がある。

尙「大連市内遊覽バス」を利用すれば五時間半で主要箇所を一廻り出来る。

發車時間午前九時半、料金大人一、八〇 小人、九〇

○市内の交通機關 市内の交通機關としては電車、自動車、乗合自動車、馬車、人力車があり電車は全線片道五錢、乗合自動車は一區五錢、タクシーはメーター制になつて居るが舊市内は大體五十錢、旅順行乗合自動車は一圓、金州行五十錢、馬車は二人乗一區(十町以内)十四錢、(三區以上は一區を増す毎に十錢を増す) 半日一圓四十錢、一日二圓八十錢、人力車は馬車の半額である。

【旅 館】 大連ヤマトホテル(洋式)、星ヶ浦ヤマトホテル(洋式)、遼東ホテル、中央ホテル、亞細亞ホテル、天滿屋ホテル、浪速ホテル、花屋ホテル、磐城ホテル、鎮西旅館、東郷旅館、錦水ホテル、春田旅館、日本橋ホテル、東洋ホテル、南滿ホテル、東旅館

旅 順 平 田 印
RYOJUN 順 平 田 印

旅順は、遼東半島の最南端に位し四方に山岳を繞し、西に老鐵山脈、東に黄金山を控へ港内は東西兩港に分れ、古來海南から朝鮮方面に旅行する戎克の天然良港として寄港地となり旅順の名稱もこれから起つたと言はれる。

尙外人が「ポート・アーサー」と言ふのは、英國東洋艦隊の根據地に利用した記念にアーサー親王の名に因んで附けられたものである。

東港は軍港として使用せられ滿洲に於ける不凍港として古來支那も東港を重要視し、露國は東洋侵

出の最前線として東港を選び難攻不落の築港を此處に企てたのである。

日露戦争に於ては、我が海軍の決死閉塞隊や乃木將軍の攻圍戰によつて、邦人の忘るる事の出來ない古戦場で今は軍事、文化の中心とし又遊覽、靜養の爲めにも州内第一の土地で風光明媚の自然境として知られる。

市街は舊市街と新市街とに分れその間に龍河があり、舊市街は停車場から東に連り、更に東方に伸びて軍隊區を形づくり大體に於て商業區であるが商勢は振つて居ない。教場溝川の右岸及鮫島町には支那人が多く居住し乃木町、青葉町、迎橋一帯は商業區として賑かである。

又要塞司令部、民政署、市役所、兵營等多くの露西亞時代の建物がある。

新市街は驛から十四町、舊關東廳、軍司令部、工科大学を初め、諸官衙學校多く、住宅地で、街路樹のアカシヤ、高層な建物、アスファルト道路等文化的市街としての色彩が濃厚である。

新市街にも露西亞時代の建築物多く、露西亞建築研究上の好資料が澤山遺されて居る。

市の人口は、日本人一二、六四〇、滿人一八、八二八、外歐米人で更に郊外を加ふれば總人口、一四二、三九八に達する。

特産品としては製鹽が盛んで生産、輸出が年々増加して居り硃石、魚類の輸出は好調を呈して居る。

滿鐵埠頭は石炭輸出の補助港として相當な殷賑を極めて居る。

名勝地

日清、日露の古戰場として餘りに有名である。東亞の平和を兆してより三十星霜、同邦の骨肉碧血に蔽れ、死屍を横えた山と海は、野と河は永遠に日本人の靈場である。

白。玉。山。納。骨。祠。と。表。忠。塔。 白玉山は旅順の新舊市街の間に挟まれ、高さ百二十六米、眺望ひらけ市街及海陸兩面に及ぶ。頂上には日露役に陸海の犠牲となつた、忠勇二萬二百餘の遺骨を納めた納骨祠が建ち南方には圓鑄形六十六米に及ぶ表忠塔がある。

戦利記念品陳列館 元露軍下士集會所であつたものを利用した建物で我が砲彈の跡を存し、充實した参考館で、陳列品二千五百餘點。(入場料大人十錢、團體二〇名以上半額、學生、軍人、子供無料)

東。鷄。冠。山。北。保。壘 數ある旅順背面の防禦保壘中歴史的に著明で且つ典型的なものである。保壘は南、東鷄冠山第二及北保壘で近世式永久築城本位のもので、この保壘は明治三十七年十二月十八日第十一師團の決死隊が占領した處である。

望。臺 北保壘の背後に高く天空に聳へ標高百八十四米、露軍の防戦最も良く努めた處で第十一師團が開城の前日明治三十八年一月一日占領した處である。

十一師團が開城の前日明治三十八年一月一日占領した處である。

二龍山保壘、白銀山、東鷄冠山、盤龍山、松樹山等に續く保壘中最大の永久保壘で第九師團が十月二十八日爆破占領した處で此處の陥落は旅順開城を早めさせたと言はれ皇軍占據の折は敵軍僅か三名生存して居たと言ふ激戦であつた。

松樹山砲壘 白玉山を扇の要として舊市街の東方背面に向つて、南方海岸から白銀山、鷄冠山と順次に展開した砲臺は、之の松樹山砲壘を最後とし椅子山、案子山に近迫する皇軍を掃蕩する重務を帯びたものであつたが、第三回目の攻撃に鷄冠山北保壘、二龍山を爆破したに乗じ十二月三十一日爆破を企て占據したもので背後の松樹山補備保壘は第一師團の白禰隊で著名な處である。爾靈山—二〇三高地 新市街を抜け北方へ大陽溝に沿つて進めば山麓まで四軒で達す。

山頂に立てば展望宏大、新市街、灣内及彼我の塹壕、攻略の徑路等を詳らかに觀察出来る。二〇三高地は旅順攻圍戰中最大の犠牲を拂つて正攻法に據らず肉弾を以て占領した處で第三回總攻撃に第一師團に代つて第七師團によつて十一月二十七日から九日間を費して獲得した處で、皇軍の本攻撃に失つた士卒の数は七千五百で非常な苦闘をした處である。

北方の斜面中腹には乃木中尉戦死の碑があります。水師營 旅順開城に際し一月五日、乃木大將と露軍ステツセル中將との會見の地で有名な棗の樹も會見に使用した民家と共に保存されて居る。

博物館 新市街の西北部にあり滿蒙の現況、風俗等の資料を汎く蒐集し、これに考古館を併せ、滿洲支那の考古的資料の逸品を陳列し、二・三千年前の古陶器、石器、古錢、土偶その他貴重品のミイラ（新疆出土のもの）西藏の壁畫等見るべきもの多く殊に銅器と中部アジアの土俗資料は世界的なものと言はれる。

（觀覽料）大人、軍人十錢、（團體二十名以上半額、學生、小兒無料）

【觀察に就スル】

各戰跡見學車馬賃及里程

- 一、白玉山、陳列館、往復所要時間二時間馬車二人乗り一圓二十錢、四人乗一圓五十錢。
- 二、白玉山、二〇三高地、往復所要時間三時間半馬車二人乗一圓六十錢、四人乗二圓。
- 三、白玉山、背面砲臺、往復所要時間四時間馬車賃二人乗一圓七十錢、四人乗二圓四十錢
- 四、白玉山、陳列館、背面砲臺、二〇三高地、博物館、往復所要時間七時間馬車賃二人乗り二圓十錢、四人乗り三圓八十錢

- 五、白玉山、陳列館、背面砲臺、二〇三高地、博物館、水師營、所要時間九時間、馬車賃二人乗三圓四十錢、四人乗四圓二十錢

尙戰跡觀光バス（二十五人乗三時間半）一名一圓五十錢（自四月一日至十月三十日）毎日十時半と

十四時（午後二時）の二回乃木町から發車。但し臺數三臺、説明附。
戰跡廻りタクシー四人乗一臺六圓

戰蹟案内には滿洲戰蹟保存會が驛前に案内事務所を置き説明者を派して無料奉仕に當らしめて居る。

この他大連都市交通バス旅順出張所でもバスによる團體客に對しては、無料で案内に従事して居る。

【旅 館】

旅順ヤマトホテル（洋式）、旅順ホテル、防長館

奉天から新京へ……………（三〇四、八軒）……………連京線

本區間は連京線即ち大連、新京間の滿鐵主幹線の北部をなすもので奉天、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺を経て新京に至るもので、沿線は廣漠たる滿洲の平原が展げ窓外から望み得る處奈邊にも山影を認められず、丘陵と畠をして森の完全な滿洲の貌を展開してゐる。

滿洲の大動脈であると共に四平街からは平梅線及平齊線を岐ち濱州線、奉吉線に連絡して居る。平梅線四平街驛から西安を経て沙河線に至る線で沙河で奉吉線に接続してゐる。

平齊線 四平街に起り東部内蒙古を貫通して北上し齊々哈爾に至る鐵道で途中に鄭家屯、洮南等の都市がある。

四平街 千 〇 ① ② ③

SSU-PING-KAI

黒龍、興安の二嶺を扼す關門で、平梅線、平齊線の起點として、遠く歐洲への連絡線のポイントとして重要な交通の地點となつて居る。

北滿の經濟幹線、平齊、齊北、北黒各線に依つて北滿、東部蒙古への入口で貨物仲繼市場として市況は股賑を極めて居る。

町の特産としては古くから粟の市場と稱され、他特産大豆、高粱、玉蜀黍の中繼集散市場として有名である。

市街には之等特産と關聯して特産商、油房が多く各農産物の産出は次の如し。

粟 五三、九一二廳 大豆 七六、四四〇 高粱 三六、三六六廳 玉蜀黍 一六、九九六廳

（以上昭和八年）

尙當地は日露戰役の時 參謀福島少將と露軍參謀オラノフスキーが撤兵手續及鐵道受渡順序等を議定した記念すべきところである。（明治三十八年十月十三日）

人口約四萬四千内日本人六千人で内地人も累年増加し、滿洲建國以後國運の隆盛と相俟つて、躍進的飛躍を示して居る。

公主嶺 干 ④ ⑤ ⑥ ⑦
KONG-CHU-LING

此地は大規模の滿鐵農事試驗場と背後地よりの特産の出廻りによつて經濟都市として著名な處である。

懷德、伊通、磐石の諸縣から此の市に集散される特産は、大豆八二、三四九觔、高粱三〇、六一五觔、市街は南北二街に分れ北街は諸官衙、兵營、滿鐵宿舍、南街は整然たる商業區をなして居り人口約三〇、二八〇、(含隣接地)内滿洲國人二六、六四〇、内地人三、一〇〇位で事變前に比して素晴らしい躍進を示して居る。

農事試驗場は面積二、二一五、二九六平方米、我國に類を見ない大規模なもので作物試驗用地、放牧及飼料作物地に充てられ、種藝、農藝化學、病理昆蟲、畜産の四科を置き改良、増殖、育成、配布に當つて居る。

種藝科は農作物の改良増殖、農具及土地改良、種苗育成配布他農作物栽培
農藝化學科は農牧林業及畜産業生産物の化學的研究、肥料、土壤、飼料等

病理昆蟲科は植物病蟲並其の豫防驅除、驅除用品及機械

畜産科は家畜及家禽の改良、繁殖、飼養管理他畜産に關する一般的事業

尙滿洲開發の爲め農事試驗事業を傳習し、技術も習得せしめる爲め農業實習所が開放されて居る。

市街は國都新京に近く股脈を極め、人口、三〇、二九〇内滿洲國人二六、六三〇、外内地人。

名勝地

公主嶺 公主陵 公主嶺の名の起原を爲す處で驛の北八滿里、丘陵の南面に古廟及背

後に二基の墳墓があつて傳説をもつて有名で嘉慶皇帝の姪の墓と云はれてゐる。

外に古墳らしき萬人頭が驛の東南一里半の處にある。

【旅 館】 公主嶺ホテル

新京 干 ④ ⑤ ⑥
HSHINKING

新京は滿洲國の首都として昭和七年三月七日舊名「長春」を「新京」と改め、中外に滿洲國獨立建國の宣言が聲明され、以來國內は秩序整ひ、内政の實あがり、昭和九年三月一日、滿洲國皇帝の即位式行はれ年號も康徳と改められた。

我が國は率先滿洲國を承認し、新京に日本全權大使を駐劄せしめ、關東軍司令部を移し諸機關を設置擴張した。

政府機關は人口五十萬の大都市計畫をし、着々として政治、經濟、軍事、交通上の中心地として首都の貌を具へて居る。

「國都建設計畫」第一期計畫は大同元年（昭和七年）から一齊に開始され、人口十五萬の既成都市を基礎として新たに建設される區域は新京驛から南方の高臺子附近を中心として二百平方料の長方多角形をなし、數個の大公園が官廳街、商店街、工場街、住宅街を點綴し市街は二線直角を原則とし、之れに放射道路を配し、廣場を置き八里堡の新設中央停車場から出る幹線道路は幅員六十米、三線式のもので交通機關は高速度バスを使用し大同廣場は市政機關の中心、順天廣場は宮内府の前苑、安民廣場は中央政府各機關の所在地とし建築物は紀念造營物を除き總て高さ二十米を限度とされ、國際飛行場、大運動場は勿論、國營の娛樂機關も備はる等都市としての機能を充分ならしむべく計畫されて居る。

新京は首都として政治、軍事、文化の中心のみならず連京、京圖、京濱、京白の四線が折衝し、歐亞を結ぶ幹線上の連絡驛として背後地の特産物や木材の集散地、輸入商品の配給地として經濟都市としても中部滿洲に於ける最要衝の地位を占めて居る。

新京は「豆の都」と呼ばれ、滿鐵沿線隨一の農産物集散市場として有名で、北東滿の大都市を背後に控へ集散配給及中繼、金融の状態は隆盛を示し新京驛に於ける貿易額百四十四萬疋、一億八千餘萬

圓、輸出品は大豆、高粱、豆粕、粟、包米、輸入品としては石炭、鹽、綿絲布、石油、煙草を主なるものとして居る。

工業には現在見るべきものなきも將來大に期待されて居る。

驛前の北廣場から中央通、日本橋通り、敷島通の三大街路を放射し東廣場、南廣場等によつて圍繞された地域は元附屬地と稱された處で街衢整然とし中央通り以西には官衙、學校、住宅街、以東及鐵道北部は商工業街又糧棧の區域をなし中に吉野町と日本橋通方面は商業區として殊に賑やかである。

元附屬地と城市北門の間は商埠地と稱され日本橋から通じ商勢頗る活氣を帶び、商店櫛比し、市場が東西にあり劇場、妓樓等の盛り場があり日本總領事館も此の地域内にある。

城内は北大街南大街を主道として大商店並び人馬の往來が頻繁で城壁は同治四年市民の餓金により匪賊防備の爲め作られたものであるが現在は城壁破壊し城市との區劃が分らなくなつて居る。

人口は現在二四一、五〇〇、内滿人二二二、五〇〇、内地人二五、二三〇で日日累増の状態にある。

名勝地

寛城子 新京驛から約二、七料、舊、北滿鐵道南部線の終端地で北鐵接收後京濱線から除外され京白線の一驛として編入された處で一名、二道溝と稱されて居る。

以前は露西亞人の居住者多く相當に繁榮して居たが今は新京に勢力を奪はれ見る影もない。

此の地は大正八年七月寛城子事件の地とし又滿洲事變の折大島歩兵第四聯隊長以下の奮闘の地と

して有名である。

南嶺の戦鬪。南嶺の兵營は前清朝時代に建てられたもので事變前には兵員四、四〇〇が駐屯した外整備した兵器を以て、東北陸軍中の精銳と稱せられたもので九月十九日滿洲事變の折大島聯隊黒石第二大隊が之れを攻撃完全に占領したものである。

【視察に就て】 普通選ばれる順路は

新京驛前—中央通—新京神社—軍司令部前—忠靈塔—寛城子—新京驛前—日本橋前—舊國務院前—宮内府—大馬路—南關—南嶺—財政部前—國務院—興亞街—國都建設局—新京驛。

時間の切詰めた人には一時間位短縮されたコースも一、二準備されて居るから驛、ビューロー等に問合せば斡旋してくれる。

觀光機關としては

團體貸切バス一臺二三圓八〇錢で所要時間は四時間、遊覽バスは所要時間三時間一人一圓五〇錢（小人半額）、遊覽自動車は所要時間二時間餘、一臺五圓五〇錢、馬車は一臺約二圓で時間は五時間半を要す。

○淨月潭水溜地遊覽バス（五月より、十月迄日曜、祭日）驛前發車午前九時、淨月潭發車午後二時、料金は往復一圓三十錢（小學生以下半額）

○新京バス郊外線、伊通行、雙陽行、雙城堡行、萬寶山行、伏龍泉行、小八家子行…驛前定期發車

他視察上の便宜は 驛前ジャパントゥーリスト・ビューロー、新京案内所、又は驛構内「鐵道案内所」、特別市政公署の新京觀光協會

滿洲事情案内所は専ら滿洲事情の調査、紹介に當つて居り、滿洲弘報協會經營によるものである。

【旅 館】 新京ヤマトホテル（洋式）、國都ホテル、向陽ホテル、大陽ホテル、新京ホテル、中央ホテル、大和旅館新館、都ホテル、富士屋旅館、梅屋旅館、國際ホテル（洋式）、西村旅館、愛國旅館、北滿旅館、大平旅館、國華ホテル、滿蒙旅館、常盤旅館、白石旅館、旭ホテル

新京から哈爾濱へ……………二四二軒……………京濱線

京濱線は濱洲、濱綏線と共に舊北滿鐵路の一ブロックをなすもので、本線は南部線に當り北滿の大都哈爾濱を中心に南下して滿洲國の國都新京に至るものである。

京濱線は滿洲國鐵道網の根幹をなす連京線に連絡するもので歐亞連絡の動脈として連京線と共に滿洲鐵道交通體の主脈をなして居る。

本線は露西亞帝國當時極東政策の足場として構築したもので日露戦争によつて南滿支線中の寛城子

以南を日本に割譲したのが今日の連京線である。

爾來北滿鐵道は過去四十年間東方政策に終始したが、昭和八年六月日本の仲介によつて滿露間に北鐵讓渡交渉が開始され二十一月を経て昭和十年三月讓渡成立、次いで同年九月四呎八吋半の標準に改良され大連から特急アジア號が直行して居る。

沿線は農業滿洲を代表する豊穰な地方で産業は全て農業に盡き無限の耕地で夏期は大豆、粟が美事に成育して穀食風景を展開してゐる。

哈爾濱 ハルビン HARBIN

哈爾濱は北滿の略中心で松花江岸に在り、そこを中心として延びる濱洲、濱綏兩線の起點、京濱線の終點、濱北、拉濱線の發著驛として鐵道交通の要樞をなし遠く歐州に連絡し又松花江航路の中心として文字通り水陸交通の便を兼備して居り、哈爾濱を交通と共に經濟、政治、産業の凡ゆる部門に於て最も典型的な國際都市たらしめ、特に交通は、浦鹽、北鮮三港との連絡に地方的運輸に惠まれて居る。

更に昭和十年三月北滿鐵道讓渡の成立後は滿洲國鐵道の統一なり哈爾濱の價値を倍加し人口四十六萬五千で滿洲に於ける最大の都市であり、日滿人の進出によつて驚異的な膨脹を示して居る。四十六萬五千の中、滿洲國人三十八萬五千、内地人三萬二千五百、その外は朝鮮人、蘇聯人、白系露人等である。

市街は新市街、埠頭區、馬家溝、舊哈爾濱、ナハロフカ、八區、傳家甸に別れて居り、新市街は南崗又は秦家崗と言ひ市街の中央を東北から西南に長く續いた丘陵地帯で主として各國の官公衙、諸官舎が集り、各建物は露西亞建築の特長を備へ街路整然として清潔、一面綠樹に蔽はれて居る。

驛を出て正面新市街中央寺院に至る大道路を東站大街と云ひヤマトホテル、各領事館があり、中央寺院は新市街の中央にあり博物館も近くにある。

中央寺院に向つて左側は新賣買街として有名な商業區で純露西亞式の商店が並び郵便局、哈市特別區長官公署等があり新市街は散歩に良く深い印象を旅人に感じさせる。

埠頭區は道裡と云ひ松花江に接して新市街と埠頭區を結ぶ跨線橋（虹霽橋）上から一望の下に俯瞰される商業區で凡ゆる享樂機關、暗黒街を設けた下町とも稱すべき處である。

中央を眞直に松花江に通ずる中央大街（キタイスカヤ）は哈爾濱の銀座とも云はれる處で、中央大街に並行して新城大街があり滿人經營の百貨店や大商店が多い。

日本人の多く居住してゐるのは石頭區街、地段街、賣買街一帯で日本化されて居る。

夏の夕暮のキタイスカヤの散歩は哈爾濱の魅力と言はれてゐる。

馬家溝は一部の露人間で「皇帝の村」と云はれ主として革命後の亡命露人の集團的部落で新市街に

接続し日滿露人の雜居する郊外住宅地で飛行場と兵營があるこの周圍は全く都會と思はれぬ牧歌的な情緒をもつて居る。

傳家甸は埠頭區に接続して俗に「道外」と言はれ「濱江」と言はれるのは此處である。

頭道街から二十道街まで街路整然と伸びた大市街で正陽街の雜沓は喫驚に價する。

實に支那人が建設した代表的市街として上海に次ぐ大市場を成し、現在北滿農産市場を支配する經濟的中心地である。

滿洲に於て近代支那文化の最も發達したのは實のこの傳家甸である。

傳家甸の北側は松花江の江岸となり、鐵道總局を初め公營、私營の埠頭は殊んどここに竝んで居る。

舊哈爾濱、ナハロフカ、八區……舊哈爾濱は露國の殖民當初に建設された街で滿人間には香坊と言はれ新市街から四軒、今は主として工場地帯となつて居る。

ナハロフカは埠頭區の西に隣接し低地を成し滿人は偏隘子と呼んで居る。哈爾濱の貧民窟で近年白系露人が多く居を構へて居る。

八區は埠頭區と傳家甸の間に介在し油房、工場倉庫等多く工業地區であると同時に鐵道貨物の取扱所で八區一帯に引込線が網狀をなして居る。

名勝地

哈爾濱は露國帝政時代東洋のモスコイとして構成された都で三十年の歴史に多端

な露國の革命、變轉を蒙むる事少なく往時の寺院と建築物を存し宗教的祭禮として異色ある基督洗禮祭、基督復活祭等があり異國調と西歐的雰圍氣は非常に印象的である。

伊藤博文公胸像と遭難地點標識 明治の元勳伊藤公が日韓合併の礎石となつて遭難された驛頭にはこの悲痛な事件の追憶の爲め標識が作られ、大正十四年日露協會と居留民會によつて青銅の胸像が作られ居留民會樓上に安置されて居る。

志士の碑 新市街から舊市街に通ずる大街道の西南方に忠靈塔及日露戰爭の折特別任務を帯びて銃殺された沖、横川兩氏、脇、中山、田村、松崎四勇士の碑があり永久に邦人の腦裡から忘れざる事の出来ないものである。尙附近に當時軍事探偵として銃殺された、小林、向後兩勇士の碑もある。

博物館 新市街中央寺院の脇にあり商工部、人類學部、生物學部、醫學部等に分れ東清鐵道建設當時から滿蒙關係參考資料が網羅されて居る。

極樂寺と文廟 新市街と傳家甸の中間にあつて哈爾濱唯一の支那寺院で華美、壯嚴の點では滿洲屈指のものである。

外人墓地 新市街、大直街の北端、廣大な地域に互つてスラブ墓地、猶太人墓地、タタール人墓地があり十字架、シナゴーガ及弦月は夫々の宗旨を表すもので、ある意味で最も異國的な處であ

る。

寺。院。哈爾濱の市街美に大きな役割を果して居るのは露西亞寺院の大伽藍で二十餘の寺院は帝政時代の名残りを止め哈爾濱とは切り離す事の出来ないものである。

ニコライエフスキー大寺院は邦人には中央寺院と呼ばれ露人はサポール(大寺院の意)と言ひ新市街内にあり様式は古代ギリシヤの寺院建築を模したものだと言はれる。

イエルスキー寺院、埠頭區、士官街にあつて義和團事變と日露戦争の犠牲者の追善會の爲め建立されたものである。

ウクラインスキー寺院。新市街大直街にあつて舊北鐵建設の犠牲者及び功勞者追善の爲め建立されたもので、附屬墓地はこれ等の人々のみの墓地になつて居る。

猶太人寺院、埠頭區砲臺街と斜紋街の二箇所にあり、猶太人は寺院を中心として相互扶助的な連絡を取つて居り圓屋根の瀟洒たるものである。

以上の外マホメット教寺院、バプチスト寺院等がある。

行事としては一月六日(陽曆一月十八日前後)に舉行される基督洗禮祭が有名で、此の儀式は今日世界で此處だけ行はれる特異な宗教儀式である。

【視察コース】

街全體が異國的情調に包まれた哈爾濱では團體以外の旅行者は地圖を片手に歩くのが面白いと思はれるが團體觀光に就いては當地のジャパン・ツーリスト・ビュローに依頼すれば斡旋してくれる。

普通を選ばれる遊覽コース

哈爾濱站(又は旅館)―郵政管理局―濱江省公署―哈爾濱神社―博物館―中央寺院―花園小學校―飛行場―忠靈塔―志士の碑―小林、向後二烈士の碑―露人小學校―ミルレル兵營―鐵路俱樂部―鐵路局―師團司令部―秋林ウオツカ工場―哈爾濱鐵路苗圃―孔子廟―露人墓地―極樂寺―ロバート煙草工場―警察廳―正陽街―滿人百貨店―平康里―航業聯合局―傳家甸魚市場―油房―製粉工場―公會堂―モストワヤ街―埠頭公園―松花江ヨツト俱樂部―キタイスカヤ街―秋林洋行―バザール(市場)―ソイフスキー寺院―地段街―站又は旅館

○市内交通機關及料金

電車及乗合バス 一區四錢(馬家溝、新市街、埠頭區、傳家甸、各區間は一區)

タクシー 一臺 一圓前後

遊覽バス 埠頭區のジャパン・ツーリスト・ビュローを發著地として五月から十月の間毎日九時、十四時(午後二時)の二回、所要時間三時間 料金大人一圓五十錢、軍人學生一圓

團體視察の場合は普通二十人乗バスを使用し、料金は最初の一時間四圓、以下三十分増す毎に一圓五十錢である。

【旅 館】 哈爾濱ヤマトホテル(洋式)、北滿ホテル、ナショナルホテル、名古屋ホテル、亞細亞ホテル、榮屋ホテル、中央ホテル、鶴屋旅館、北興ホテル、東洋ホテル、國際ホテル、哈爾濱ホテル、大星ホテル、滿平ホテル、滿洲ホテル、都ホテル、富久屋旅館、グランドホテル(洋式)、モデルンホテル(洋式)

四平街から齊々哈爾へ……………五七一軒四……………平齊線

平齊線は連京線の四平街驛に起り、東部内蒙古を貫通して北上し、齊々哈爾に至る鐵道で之れは從來の四洮(四平街—洮南間)、洮昂(洮南—昂々溪間)鐵道に、滿洲事變後齊々哈爾迄の線路を加へたものである。

この線路は鄭家屯に於て大鄭線に連絡、白城子に於て白溫線を分岐、京白線に連絡、榆樹屯に於て榆樹線を分岐し齊々哈爾に於て齊北線に接続して居る。

平齊線の通過する地域は蒙古の沙原地帯で百二十里の間一つの山も丘も見出し得ない坦々たる平草原である。

この土地は砂地で曹達を多分に含有して居る關係上農産に不適で、もつばら放牧に任せてある。沿線には蒙古との交易の中心になつてゐる鄭家屯、交通の要衝をなす白城子等の都市がある。又洮南の東部にある農安は滿洲に於ける最古の都市の一で滿洲民族の發祥地と稱はれてゐる。

洮南 TAONAN 南 千 〇 〇 〇

西部滿洲を代表する齊々哈爾に次ぐ大都市で地方交通の中心をなし、元來畜産市場として發達した街であるが現在は農産物の集散市場として重きをなして居る。

曾て此の地は蒙古王の遊牧地であつたのが日露戰爭勃發に因る家畜の需要増加がその發展の緒となつて急激に膨脹したもので人口六萬(内日本内地人千二百)

名勝地

口碑の木 此處(洮南)の地名は元薩鷄街茅土と蒙古語で呼ばれてゐた。

薩鷄街茅土とは「鶻の樹」の義であつて、往昔この蒙古の曠野に一本の榆の木があつて旅人には目標となり、鶻の嘴ともなつて斯くするうちに市が立ちこれが進展して小聚落を構成し街名もこの榆の樹に因んでサチガイモトと稱されて居た。

之の傳説の老樹も樹齡盡き枯木となり現今では口碑を以て傳へ祠が建設されて居る。

【旅 館】 南滿ホテル、萬國ホテル

鄭家屯から大虎山へ……………三六六軒……………大鄭線

大虎山、通遼間は滿洲事變前滿鐵の並行線として支那政府と日本との間に條約違反の紛争を惹起した有名な打通線である。

沿線は平齊沿線と同様沙質の草原が多く資源は乏しいが大虎山から彰武に至る間は沃地があり、西遼河の沿岸も平野が拓け農牧業が盛んに行はれて居る。

本線は八道濠炭坑開發の爲め大正十年九月着手、翌年十二月竣功した大虎山から炭坑までの鐵道と大正十四年八道濠、新立屯間を完成、次いで日本の嚴重抗議を以て紛糾した彰武、通遼間を昭和二年十一月完了、これが有名な打通線であるがこの打通線に大正十一年一月完成の通遼、鄭家屯間も昭和九年一月合併大鄭線と改稱したものである。

通遼 TUNGGLIAO

此の地は蒙古語で白音太來（富める平野の意）と稱せられた處で西遼河流域の沃野に包まれ農産物産出が頗る多く、また交通の要樞に當る爲對蒙貿易の一大中心地である。

鐵道開通後は急激な發展を示し人口三萬五千（内、内地人二百餘）で諸官衙、文化的機關が設置さ

れ、對蒙貿易としては農産物、畜類、畜産品、甘草、を輸出し綿絲布、雜貨を輸入して居る。

市街は小街基、大街基に分れて居り蒙古氣分が横溢して居り、西北隅に活佛の別荘「格根倉」が華麗な構造を見せ、西方六十五支里の處には喇嘛廟で卓里克圖親王家の家廟である「莫林廟」がある。

活佛を初め修道の喇嘛僧六、七に達する大規模なもので順治年間の開基になるものである。

天照園 通遼の次驛錢家店に在つて約百名の同邦自由移民が孜々として開拓の業を勵んで居る。

【旅館】 通遼ホテル、パイントラ旅館

齊々哈爾から北安へ……………二三一、五軒……………齊北線

從來齊克線と稱せられたもので、この鐵道の建設に就いては北滿鐵道を齊々哈爾の近くで横斷するので北鐵蘇聯幹部の強硬な反對に遭ひ有名なクロス問題を起したが後蘇聯の讓歩によつて解決した。

滿洲事變後北滿開發の必要上急遽之が建設をなすこととなり滿鐵が之に當り昭和七年十二月竣工翌年十二月本營業になつたものでこの沿線は寧年、泰安、克山等の特産市場集散場を擁してゐて活潑な輸送を呈して居り、特に克山の背後地は滿洲の穀倉と稱され大豆、黍、高粱、大麥、小麥等を産す。

此の線は濱北線と接続し北滿迂回線になつて居る。

北ほく安あん 千ちん 口こう ⑨ ⑩
PEIAN

鐵道建設前は全くの一寒村であつたものが現在齊北、濱北、北黑三線の會接點となり北滿の交通、經濟、軍事上の要地として浮び上つた處で北滿の景氣は北安に在りとまで言はれ日滿人の移住するもの多く人口一萬五千にも達して居る（内日本内地人千餘）

當地は未だ見るべき産物はないが大豆、木材を盛んに移出して居る。

【旅 館】 北黑ホテル、大同ホテル、北滿ホテル、北安ホテル

北安から黒河へ……………三〇二軒九……………北黑線

本線は昭和十年十一月より本營業を開始した濱北線に接続し遠くアムール江岸へ小興安嶺の横腹を貫通するもので、今日迄各國人が垂涎措かさざりし未開の寶庫を開く鍵となつたものである。

沿線は黒土地帯で地味肥沃、數年間無肥料の儘で相當な收穫を擧げ得ると云はれて居り水稻、小麥栽培の好適地で外に大豆、大麥、粟、その他煙草、棉等の特殊作物、草原は放牧、養蜂興安嶺の林業、黒龍江岸の砂金等實に恵まれた處であつて全面的な開拓が出来た暁には本鐵道は開拓鐵道として

意義を充分發揮するに至るものと思はれる。

黒こく河が
HEIHO

滿洲最北部を占むる都邑で黒龍江を隔て、蘇聯領のヴラゴウエスキンスクに對する政治、軍事上の重要な地點であると共に經濟上北滿の中心地として活況を呈して居る。

當經濟市場は對露關係によつて消長を示し歐洲大戰の好況時代は貿易額四千萬元（大洋）に上り人口も四萬に達したがその後露支紛争により漸次衰微し滿洲事變の時その極に達した。

この状態は滿洲事變後、滿洲國の成立となり治安も復回し次いで北黑線建設、各國防機關設置、行政的中心地となるに従ひ市勢活氣を呈するに至り現在人口約一萬二千（内邦人約七百）

市街は露西亞式の大廈櫛比し鐵道の便と併せて松花江と黒龍江の航路が昭和八年より再開されてより非常な利便を享受して居る。

主要産物には小麥、玉蜀黍、米、金、毛皮、木材等があり。未開の爲め振はなかつた採金も近代的な施設を以て活動しつつある。

【旅 館】 常盤旅館、蔦屋旅館、富士屋旅館、アムールホテル

北安から三棵樹(濱江)へ……………三二六、一軒……………濱北線

北安より呼蘭、海倫を経て濱江に至る線路で本線は北滿の穀倉と稱せられる豊饒の地を通過し、北滿に産出される特産を北鮮三港に搬出する極めて重要な經濟路線の一となつて居る。

本鐵道は北安より三棵樹に至り三棵樹から濱江、哈爾濱に連接する鐵道で、曾ては呼蘭、海倫を結ぶ爲め呼海線と呼ばれ、呼海線の建設は日露戰役後に黑龍省會議の問題となり、明治四十四年建設に着手したが不成功に終り大正十四年呼海鐵路会社が設立されて工事に着手、昭和三年竣工直ちに營業を開始したが北滿鐵路との利害相反する爲め協定ならず、孤立状態にあつたものを事變後滿鐵の手によつて海倫、北安間を建設、昭和八年末竣工したものである。

哈爾濱から滿洲里へ……………九三四、八軒……………濱洲線

本沿線中哈爾濱、碾子山間は農業地域で産物は穀物、野菜、木材、家畜、牛乳、毛皮等を産出し、碾子山、牙克石間は大興安嶺を中心に森林地帯、牙克石以西は放牧地域である。

此の線は露國の所有であつた東北鐵道の西半分で曩に成立した北鐵移讓によつて滿洲國有となり次いで滿鐵の委任經營になつたもので政治的、經濟的主要線であると共に遠く歐亞を結ぶ國際路線である。

景勝地及保養地として有名な巴林、富拉爾基、産業の中心地として活潑な動きを見せてゐる安達、滿溝、札蘭屯等之の路線の重要都市である。

齊々哈爾濱 千〇(卅) (卅)

齊々哈爾濱は滿洲人間では龍江と呼ばれ又別に卜魁、龍沙等と云はれて居る。

清朝が露國勢力の東侵に備えて建設した都市で二百數十年の歴史を有し、清朝の計畫に従ひ政治的軍事的都市として發達し滿洲事變後日本人の進出目覺ましく市勢活況を呈し經濟的にも消費都市として西北滿洲の中心的地位を築いて居る。

現今では政治、交通の要樞として平齊線、齊北線の接續地として北滿地方の建設工事、滿洲國各機關、又軍事上の根據地として重要性を確立し積極的活動は素晴らしいものがある。

市街は嫩江を控えた大平原中にあつて内城、外城に分れ城壁は高さ丈餘、厚さ七、八尺、周圍二十四町、内城は官公衙街で外城は商店街になつて居るが城壁はない。

外城の南大街、正陽街は堂々とした店舗が栞比し人口八七、二〇〇、その内、内地人六、九〇〇、滿人七九、二〇〇である。

名勝地

龍沙公園 驛の西方四軒、一名倉西公園と稱し、散策に好適で園内には省立圖書

館、忠烈祠、望江樓等がある。

胡蘆頭 龍沙公園の西方二軒、民船の碇泊地で舟遊釣魚に好適である。

【旅館】 齊々哈爾ホテル(洋式)、日の丸旅館、龍沙旅館、朝日旅館

海拉爾 千 ⑨
HAILAR

此の地は古來より北滿の要鎮として重きをなし俗に呼倫貝爾と呼んで同地方の政署は此處に設けられ現在も交通、政治の主要都市として、又經濟都市としても發達し、蒙古貿易の對象である畜産物資の集散は目覺ましく尙今後交通網の發達は本都邑の重要性を益々甚大にするものと思はれる。

對蒙古取引はガンチュルから、馬、牛、綿羊、及び家畜生産品、肉、生皮、獸毛を買付け、又後貝加爾地方ネルチンスク地方よりも廣く生皮、獸毛、牛酪等を輸入して來て以上の大部分は當地で洗滌加工されフェルト、製靴其の他の工場に分配精製されてゐる。

貝爾湖の魚類、隣近郊の蔬菜は地方にまで輸送されて居る。

現在二萬二千餘の人口を有し内日本内地人二千餘で街觀は「沙の街」とも言はるる蒙古の一盆地に發達した處で一枚の看板にも蒙、露、滿三體で書かれそれに新らしく内地人の進出と共に日本の文

字が参加し興味ある景物として見られるものである。

名勝地

甘珠爾廟 南方約四十四邦里の處に在つて興安北省最大の喇嘛廟で廟は乾隆四十九年清朝商崇帝の聖旨によつて壽寧寺の名を賜り後西藏から甘珠爾經典を紹來したのに因んで甘珠爾廟と俗稱されてゐる。

例祭は陰曆八月六日から十五日迄で廟祭は廟市と共に有名で廟市は全蒙古的行事でホロンバイル經濟市場は此處を中心として發達したとまで言はれ曾ては參集者一萬を越え取引額も數百萬元に達した。

取引方法は原始的なバーターシステムによつて居る。

【旅館】 呼倫ホテル、海拉爾ホテル、興安ホテル

滿洲里 千 D
MANCHOULI

濱洲線の最終端で蘇滿國境にあり古來幾多の國際的紛争によつて有名であり、現今でも東滿國境の綏芬河に對する西滿國境の政治的、軍事的要衝である。

曾て當地は蒙古との貿易が盛んで蒙古のウルガとの間に盛んに行はれ畜産物、家畜の一大市場として殷賑を極めて居りましたが近年財界不況の影響をうけて衰微し、特に露支紛争、蘇炳文事變等によ

つて徹底的打撃を受けた。

人口、六、七〇〇、その内、内地人千名足らずで、歐亞旅行者と附近より産出する毛皮、肉類、石炭等で僅かに維持されてゐる状態である。

【旅 館】 東亞旅館、日本ホテル、玉屋旅館

阿爾山 千
HALUNARSHAN

此の温泉はハロン、アルシャンと言ひ、又興安温泉とも呼ばれて居る。ハロン、アルシャンは正式にはハルヒハロン、アルシャン。蒙古語で「靈温泉」又は「熱い甘露」の意義である。

従來此の温泉に至る方法としては海拉爾から定期バスが一日一回連絡して居たのが此度白阿線が開通し非常に便利になつた。

古來蒙古の有する唯一の療養地で蒙人回生の靈地になつて居り、外蒙は勿論、新疆、西藏の遠くから參浴する者が多かつたと言はれて居る。

現今も蒙、滿、露の浴客で賑ひ、又露人で天津、北京、上海方面より來浴のものが尠くなく日本人間にも漸次宣傳せられ今後の發展を期待されて居る。

哈爾濱から綏芬河へ……………九三四、八籽……………濱綏線

本區間は濱綏線と呼ばれ濱州、京濱線と共に舊北滿鐵道の中の東半であつて、露西亞のザバイカル鐵道に連絡して歐亞連絡の幹線をなして居り尙連京線と共に滿洲鐵道交通體の背骨をなして居る。

西（哈爾爾）から老爺嶺、黑山嶺、太平嶺等の山脈が本線を横斷して居るので沿線の主産業は林業で木材の産出量は北滿に於ける五割以上を占めて居る。

農業は現在牡丹江平野、一面坡附近を除けば不振の状態にあり殘餘は未墾の儘で放棄されて居る。

沿線で主流をなす螞蟻河、章沙河、穆稜河の沿岸には相當に廣大な平野が展けて居るから將來の農業の發展を期待されて居り、日本よりの移民も殆んどこの地域に移住して居る。一面坡を中心とする忽布（麥酒の香料）は本沿線獨特のもので鑛業資源としては穆稜炭礦と各地の石材がある。圖佳線（圖們から佳木斯まで）が牡丹江でクロスして居る。

牡丹江 千 〇 〇
MUTANCHIANG

牡丹江は圖佳線の建設、北鐵の買収を契機に急激に發達した新興都市で滿洲の穀倉と言はれる牡丹江岸の大平野、同江上流の大森林地帯を背後地として東滿經濟活動の中心地で第二の哈爾濱として

發展が期待され、沿海州に對する國防的要衝として、三十萬を目標とする大都市建設に邁進して居る。

現在人口四萬五千（内、日本内地人六千）此處二、三年間に、二萬餘の膨脹を示したものである。市街は新市街と舊市街とあり舊市街は北鐵時代以來の街、新市街は圖佳線の建設によつて生れた街で、建設景氣横溢し市況殷盛を極めて居る。

【旅 館】 富士屋ホテル、花屋旅館、菊水旅館、佐賀屋旅館、信濃屋旅館、福家旅館、星乃家旅館、北滿旅館、牡丹江ホテル、常盤旅館

綏芬河 綏芬河
SUIFENHO

綏芬河は五站又はボクラニイチナヤ（露語で國境の意味）と稱され濱綏線の終點になつて居る。

濱州線の滿洲里に對する東部滿洲の國境を扼する地點であつてこれからウスリー線に聯絡して居る。

鐵道の開通によつて發達した街で昔日は阿片栽培で商業も殷賑を極めたが禁止以後は漸次衰退し、各種の經濟資源に乏しく經濟的發展は望まれず國境都市として對岸ニコリスクに對して國際關係を鋭敏に反映して居る。

新京から圖們へ……………五二八軒……………京圖線

京圖線は首都新京と、滿鮮國境圖們とを結び滿洲國の心臓部を東西に貫く日滿交通最捷路の一環をなし、圖們に於て北鮮線南陽驛と國際鐵橋により連接、一は穩城、慶源を経て雄基、羅津に至り他は南下して會寧を経て清津に達し所謂北鮮三港に連絡して居る。

この鐵道からは左記鐵道が分岐し、尙、海を距てて日本の敦賀、伏木、新潟と連絡し日本海湖水化時代が實現さるるに至つた。

京圖線及拉濱線、圖佳線は我國多年の念願であつた日本海中心時代を現出する基本條件で政治、經濟、交通、軍事等凡ゆる部門に於て大きな意義を持つて居り、沿線は新京より營城子附近までが滿洲式平野で土們嶺を越えて老頭溝迄は山間地帯で吉林盆地を通過し龍潭山附近から山林地帯になつて居る。吉林以東は大概山林地帯で一幅の山水畫を髣髴させる。

圖們から移住地として著名な佳木斯に至る圖佳線を分岐し、朝陽川からは龍井を経て開山屯に至る朝開線、蛟河から好子山線、拉法からは北鐵線に對する平行線として有名な拉濱線、吉林からは奉吉線が分岐し東滿に於ける交通體系の根幹をなして居る。

吉林 KIRIN

「滿洲の京都」「天下第一江山」と日滿人間に折紙をつけられた吉林は熱河承德と共に滿洲に於ける二大觀光地で遠く二千年の昔、鷄林と呼ばれ高勾麗の堅城が築かれ次いで渤海國の時吉林烏拉（大江に沿ふの意）と改められその頃渤海國と吾が國との交通は可成頻繁で千二百年の昔に此の地を踏んだ史實が残つて居る。明の末、長白山麓に發祥した愛親覺羅が率いた滿洲八旗の子孫は今も旗人と呼ばれ此の地に住んで居る。

清朝時代造船所を設けたので爾來船廠の名を以て呼ばれて居た。

京圖線中最大の都市であり又奉吉線の終點で交通上の要衝であると共に古來政治、教育の中心地で省公署の各機關及學校が多く滿洲隨一の古城市として領かしめるに充分である。

城壁は煉瓦を以て築造され九門を開き城内の北、西大街は商業地として股賑を極め、河南街、糧米街は諸銀行、輸出入雜貨等の取扱商店が集つてゐる。

牛馬行には、牛馬市、苦力市、野菜、肉類の市場が立ち德勝街一帶は遊客雜踏し下層大衆の娛樂場となつてゐる。

城市の東方東大灘は木材で名高く、木材商、製材、燐寸等の工場は殆んど此處に集つてゐる。

驛前から城内に至る間には日本側の主要機關の殆んどが設置され舊來の滿洲文化を保持する城内と劃然と區別する事が出来る。

經濟的には消費都市として東滿第一の繁盛を見せて居たが、生産的には此處で集散される木材を除いては漢藥材、葉煙草の外なく不振の状態にあつたのが、昭和十年鐵路局が新京から移轉してから急に活潑な動きを見せて來た。

移輸出の大宗である木材はその種類三十種の多きに達して居り、之れに附帶する各種工業及日滿合辦の大同洋灰公司の洋灰工業等、松花江を利用する二十萬キロ發電計畫は當地の工業推進に大きな期待をかけられて居る。

貿易額は移輸出一、三八五萬圓事變前より一割六分増加、移輸入一、二二〇萬圓で事變前より七割二分の激増を示して居る。

人口も鐵路局の開設により日本人は一躍二千人以上増加し現在一二七、五〇〇、その内、日本内地人九、九六〇、滿人一一五、二九〇人、其の他である。

名勝地

吉林が「滿洲の京都」と謂はれるのは單に風光の美を指す意味でなく、史蹟に富むことも亦滿洲隨一である事を併せて意味する。

北。山。吉林に於て第一に指を屈せられる名勝地で吉林驛の西方五軒、山腹には關帝廟、藥

王廟、坎離宮、玉皇閣の四廟が楡樹の間に隠見して居る。

關帝廟は廟宇壯大で四月末の藥王廟の大祭には數十萬の人出がある。

北山よりの展望は天下第一江山の名に背かないもので健康的な歡樂境を作つて居る。

又北山はスキー場として名高く冬期降雪の際は新京方面からのスキーヤーで賑ふ。

外に東萊門外の天壇胡同にある文廟、北山への途中にある回々教の清真寺、玄天嶺上の玄帝觀、乾隆三年創建と傳えられる萬壽宮等がある。

松花江。吉林附近の松花江は「滿洲ライン」或は「吉林ライン」と呼ばれ、市街上流十滿里附近は斷崖の絶勝、山峽の湖景等眞に「滿洲ライン」の名に相應しいものがある。

江には魚介類多く鯉、鮒、鰲花魚、白魚、等を産し又河岸は鴨、雁、雉等の狩獵地として有名である。

鵜飼。吉林の鵜飼は「觀光吉林」を代表するもので滿洲式鵜飼の特長は晝間に限る事、鵜に繩をつけず自由に解放して居る事で鵜飼の時期は五月末から十月中旬まで鮒、鯉、鮎、鰲花魚、花魚、白魚等で即席の料理は佳趣豊かなものである。鵜は黒色の外、純白、黒白の斑のもの等があり、これも滿洲獨特のものである。

鵜飼は吉林觀光局で管理して居るから希望者は市公署内同會に申込みば斡旋してくれる。

【視察に就いて】

觀光吉林の夫々の特色及歴史を有する幾多の廟を訪ひ尙主要地の觀光には一泊してその全貌に觸れるのが最良のコースであるが、大體半日コースとしては、吉林驛—吉林神社—孔子廟—日本總領事館—朝陽門—河南街—牛馬行—清真寺—德勝門—北山—福綏門—翠花胡同—臨江門—自來水—臨江門—西大街—糧米行—省公署—糧米行—新開門—吉林驛—鵜飼見物の希望があれば自來水以後を割愛して乗船—鵜飼見物—聖洞—乗船—鐵橋—臨時列車乗車—驛と變更するのが最良の方法となつて居る。所要時間五時間

一日コースは所要時間七、八時間を要し、順序は自來水迄は半日コースと同様で次いで小白山—自來水—臨江門—西大街—糧米行—省公署—驛で鵜飼見物の希望があれば自來水以後は自來水—小白山—自來水乗船—鵜飼見物—聖洞—乗船—鐵橋、臨時列車乗車—驛の順となる。

○普通車馬賃は人力車、馬車は驛から舊商埠地内十錢から十五錢、城内二十錢

自動車は驛から舊商埠地内五十錢、城内八十錢から一圓、北山一圓三十錢、小白山二圓五十錢
乗合自動車は商埠地内六錢、北山迄十五錢

○貸切車馬賃はバス(三〇人乗)一時間六圓、五時間三十圓、タクシー(三人乗)一時間二圓五十錢、五時間十二圓五十錢、馬車(四人乗)一時間三五錢、五時間一圓六十五錢、人力車一時間二

十五錢、五時間一圓十錢

【旅 館】 日清ホテル、名古屋旅館、近江屋旅館、金水旅館、東京旅館、初音旅館

圖 門 們
TUMEN

圖們は嘎呀河、布爾哈通河及圖們江の合流三角洲上に開けた街で京圖線、圖佳線の敷設によつて一躍發展した處で、京圖線終端の國境都市とし又日滿最捷路の滿洲國關門として政治、軍事、經濟上の重要地點となつた處である。人口三萬餘、内地人五、三〇〇

尙今後圖佳線、虎林線の發展によつて一層重大性が期待される。

【旅 館】 かもやホテル、博多屋旅館、福家旅館

圖們から佳木斯へ……………三六一籽……………圖佳線

圖佳線は國境驛圖們から、北上牡丹江を経て松花江岸佳木斯に至る鐵道で、沿線は山岳地帯の多い關係上林産に富み、又地味豊饒で農産物の産出も多く、農民の分布は地理的に老松嶺以南は朝鮮人が多く以北は滿人に占められて居る。

此の沿線は朝鮮人の北漸を顯著に示してゐると共に邦人移民の地として著名で彌榮、千振等の移民

村が攸々とその實蹟を擧げて居る。

この鐵道は牡丹江で濱綏線とクロスし又林口からは虎林線が昭和十二年十二月開通本線と共に東北滿洲開發の幹線となつて居る。

佳 木 斯
CHIAMUSU

當市は松花江流域哈爾濱、撫遠の中間にあつて、東滿に於て哈爾濱、依蘭に次ぐ都市で政治、經濟の中心地であり又第一次、第二次移民地として夙に著名な處である。元來特産物の集散地として發達して來た處であつて、圖佳線の開通はこれに加速度的に拍車を加えたものであり、松花江の利用増加によつて特産物集散地として第一位に達すると思考されて居る。

特産物の集散中心地である爲、糧棧業が中心となり各種商業はその寄生的存在となつてゐる。

人口約二二、六〇〇、その内、内地人八八〇、今後の發展を豫想されて居る。

移民地として滿洲に先鞭をつけた第一次永豐鎮の一九三六年度の作付面積水田一六二町歩、畑九二八町歩、一戸當り三町八畝、第二次湖南營移民地の自作一〇八〇町歩、水田は小作、自作を合せて三〇四町歩、未だ半分以上は未墾地で將來の移民、開拓を待つて居る。

林口から虎林へ……………一七二軒……………虎林線

本鐵道は昭和十二年十二月一日から營業開始を見た東北滿洲開發の主幹線で沿線には密山、虎林の主要都市があり黒龍江を距てて蘇聯邦に對する軍事上、政治上又經濟的重要性を指摘されてゐる。沿線は東邊道北部地帯をなす森林地帯で東に行くに従ひ穆稜河に沿ふ邊りは沃野拓け將來の發展を期待されて居る。

尙當沿線には鑛產物（石炭、金、銅、鐵）の埋藏量豊富で現在の原始的な操業を脱して本格的な操作に至れば、本線は經濟線としての價値を倍加されるものと見られて居る。

奉天から山海關へ……………四一九・六軒……………奉山線

奉山線は奉天から所謂遼西（遼河の西）の海岸線に沿うて山海關に至る舊北滿鐵道と共に滿洲最古の鐵道で本線の中、奉天、新民間は日露戰爭の際日本が敷設した軍用輕便鐵道を支那側で買収、改造したもので、山海關新民間は、英國の資本により京奉（北京—奉天）鐵道として建設され滿洲事變前は北寧鐵道の一部であつたが事變後中華民國から分離して奉山線となつたものである。

本沿線は資源の點からは優れて居ないが早くから開拓されて人口の密度も濃く又文化も進んで居り

本線の意義としては滿支直通の鐵道であると共に文化經濟の流通線である事にある。

沿線には全滿に比肩する處がないと云はれる名勝崗、山、正名醫、巫、閭、山、が溝幫子驛の近くにある。奉天、北京間の旅客列車直通は滿洲事變後の懸案であつて日支兩當局者間の折衝によつて昭和九年七月一日以來雙方から直通列車が一日二回運行されて居る。

本鐵道からは熱河開發又は經濟線として左記鐵道が分岐してゐる。

大鄭線……………大虎山より鄭家屯に至る昔日の打通線。

河北線……………溝幫子から營口の對岸河北に至るもので河北を吞吐港とする遼西地方出入物資の交通路。

壺盧島線……………連山、壺盧島を結ぶ鐵道で壺盧島築港に關聯して建設されたもの。

錦古線……………錦縣から分岐し熱河の中心承德を過ぎ國境古北口に至る鐵道で中途葉柏壽から赤峰まで葉峰線が分岐してゐる。

錦州 (驛名錦縣) 千 〇 卅 卅
CHINHSIEN

滿洲事變の際錦州攻撃で世界的に知られた處で奉山線中第一の大都市であると共に錦古線の分岐點として重要な地點である。

虞、夏時代に起源した古都で爾來數千年の間遼西の文化的中心地とし經濟的中心として終始し現在に於ては内蒙古方面に對する輸移出貿易の中繼地とし最大市場をなす。

經濟的には背後地廣大、鐵道便に加ふるに壺蘆島築港を近くに控へて蒙古貿易は益々増加し背後地近傍の物産の集散地、供給物資の中繼地として重要な位置を占めて居る。

現在人口八萬五千その内、内地人四千で省公署、鐵道局の存置により將來を囑望される。

名勝地

寶塔。錦縣の目標、遼西のシンボルと言はれる有名な塔で、城内の西街廣

濟寺の前庭にあり八角、十三層、四十丈餘の堂々たるもので唐代の創設と言はれる。

古塔寺。城内の西南隅にあつて煉瓦造の塔一基があり俗に小塔寺と呼ばれ寶塔に對するもので七層から成り高さ三丈餘ある。

【旅館】錦州ホテル、遼西ホテル、協和旅館、奉山ホテル、建國ホテル、富士ホテル。

興城
HSINGCHENG

溫泉と海水浴で有名な興城は經濟的には見るべきものはなきも軍事上の要衝として古來有名な處で舊名を寧遠城と言ひ明末の雄袁崇煥、祖大壽等が堅城を築いて清の太祖努爾哈赤の大軍を撃破した處

である。

附近には頂上よりの觀望絶佳を以て有名な首山。又城内には祖氏の大勝を記念する祖氏石坊等がある。

園藝試驗場。城外にあつて錦縣鐵道局の經營による園藝の試驗場としては全滿第一で主として果樹蔬菜及花卉類の試験栽培を行つて居る。

興城溫泉。驛の東南四軒、平原の中にあつて北に首山、南に海を控へた古來靈泉を以て有名な所で唐の太祖遠征の砌負傷將兵の傷を癒したと言はれ又明の都揮斌は亭を構へて浴場を拵へ又乾隆帝も此の溫泉に沐浴したと傳へられ湧出量は一時間五二石で滿洲に於て比肩するものはないと言はれ昭和九年總局直營の溫泉ホテルを經營して浴客の便を計つて居る。

驛から溫泉ホテルまで馬車、乗合自動車があり、馬車片道 三〇錢、乗合自動車片道二〇錢、往復四十錢

壺蘆島
HUTLUTAO

壺蘆島は奉山線、連山より分岐する壺蘆島線の終點、築港で有名な所で築港工事の進展に伴ひ發展を豫想されて居る。

築港工事は盧壺島が不凍港である爲舊東北軍閥が大連港に對抗し一九三〇年和蘭築港會社と契約一九三六年完成の豫定であつたが滿洲事變勃發で中止し、その後總局が目下繼續運営に衝つてゐる。

此の地は築港として又景勝地として名高く夏期遊覽客で賑はふ爲、總局は築港工事に關聯して建てられた建物を利用して遊覽客の爲にホテルを經營して居る。

山海關 SHANHAIKWAN ㊦ ㊧

奉山線の終點で滿支國境による都市で鐵道も國際列車として北京までの北寧鐵道に連接して居る。

山海關は一名臨榆と言ひ又榆關とも言はれ、有名な天下第一關で關外（滿洲國側）夷狄の中原侵入に備へた要關で興亡三千年の歴史を秘めた萬里の長城は海岸に端を發し遠く甘肅に續いて居る。

天下第一關の篇額は周圍一里八町の城壁に開いた東西南北四門中東門の飛樓上に懸つて居る。

大連會議の協定に基き山海關驛は奉山、北寧兩鐵路で共同使用して居る。

人口は四萬一千の内、邦人約二千で二年前に比較して十倍の激増である。

名勝地

萬里長城 延長千七百六十餘里、山谷に架し直隸、熱河、察哈爾、舊綏遠の境界を縫ひ陝西を過ぎ甘肅の嘉峪關に盡きるもので築城の材料は土、石及び瓢瓦を用ひ城壁の厚さ十五尺から三十尺、關門として重要なのは、山海關、喜峰山、古北口、張家口、嘉峪關等である。

長城の築造は遠く戰國時代に初まつたもので燕、趙の諸國が胡狄を防ぐ爲めに築いた事は古史にも散見され秦の始皇帝の三三年燕、趙の時代に築いた長城を修築したもので爾來漢、魏、北齊の各時代にも手を加えられた。

長城の景観は城北門外の角山よりを唯一のものと稱されて居る。

【旅 館】 日本館、大和館、東洋館本館

錦縣から承德へ……………四三六・一籽……………錦縣より古北口に至る錦古線の一部

奉山線の錦縣から分岐し大凌河に沿ふて西北行し熱河の中心承德に至る鐵道で滿洲事變後の建設によるもので本線は葉峰線と共に從來祕境視された熱河に王道の慈光を與へると共に世界的觀光地である承德への交通を便にする爲で、北支或は察哈爾を滿洲國に接近せしめる點に於て、政治的にも將來性に富むものと言はれて居る。

承德 CHENGTEH (JEHOL) ㊦ ㊧

世界の秘境と言はれる熱河の中心をなし、清朝の構築による宏壯な喇嘛廟のある處で滿洲に於て觀光の筆頭にも推さるべき處である。

承德市街は珍らしく城壁なく四邊山に圍まれ東に武烈川が流れ、北隣に避暑山莊を置き東西三軒、南北二軒半、住民は承德草創時代、河北、山東方面から來住したものが多く現在鐵道の便が拓けてから激増して四萬五千、内日本人三千で、事變前邦人の居住を許されなかつた爲熱河聖戰後來住したものである。

經濟的には何等見るべきものもなく行政、文教地區とし又觀光地として進展して來た處で現在錦古線の要樞であると共に、北京に通ずる乗合自動車、貸切自動車の連絡があり又承德から圍場、赤峰、古北口、豐寧、多倫間にバスの便があり航空路も開けて居る。昭和十三年四月から國境古北口を経て北京に至る錦古線が開通した。

承德は、古くは熱河と稱した。之れは避暑山莊内熱河石碑に始まると言はれる。承德の名は前清雍正十一年承德州の設置から始まり、燕國勃興以來塞外の重要地として明初には塞上九十城を統轄する要地であつた。

由來熱河は「熱民急叛」の文字を充てられた難治の處で清朝になつてから銳意統治に力を注ぎ離宮を造營し蒙古懷柔の方策として喇嘛寺廟を修營した。現在の喇嘛廟は清朝蒙邊懷柔策の遺物とも見られるものである。

名勝地

承德の勝地避暑山莊及各廟その他は何れも清朝の蒙古懷柔策として、造られたもの

ので支那史中最も文化の爛熟した清朝康熙、乾隆兩帝の時代に築造され宏大、華麗誠に言語に絶するものがある。

風水の被害甚しく毀損したものが尠くないが滿洲國政府の手で保久工作が施されつつある。

避暑山莊 清朝の始祖が滿洲から屈起し四百餘州に君臨することとなつた時、四億の漢民族を如何にするかが重大關心事であつた。

その中で塞外蒙古人の民族的感情を捉へ利用する事に着目して色々の方法が企圖され、彼等の奉ずる喇嘛廟を奉天、北京、多倫、熱河各地に勅建する事、皇帝自ら塞外に巡幸して彼我接觸の機會を作る等の意圖の下に造られたものでこの離宮も塞外行幸の便に供されたものである。

現在の離宮は西に山岳重疊、東部は平地に拓け平地の中央が如意湖で湖の南の丘に宮殿が建ち、錢糧處、五福堂等の宏壯な建物は此の宮殿の一部であり、湖を中心に東に文園、金山、北に永祐寺の舍利塔が建つて居り西方の峯巒には寺觀、堂塔、殿閣、亭榭等樹間に隱見して居たものが概ね荒廢に歸し僅かに廣元宮其の他の數字が僅かに見られるのみである。

普樂寺 清朝乾隆三十一年に勅建されたもので武烈河を距てて東方の丘阜上に建つて居る。

この廟は乾隆二十年、新附の都爾伯特哈薩克、布魯特的歸順があつたので宗教的歸依の爲めに建立されたもので二層の圓亭(旭光閣)は立派なものである。

安。達。廟。武烈河を距てて普樂寺に向つて左側にあり、乾隆二十四準噶爾平定によりて降附した達什達瓦の一黨數千名を乾隆二十四年、此の山下に遷居せしめ、彼等の深く歸依してゐる伊犁の固爾札都綱に模して二十九年勅建されたもので一名伊犁廟と稱されて居る。

溥。仁。寺。と。溥。善。寺。共に普樂寺の下にあり、康熙帝の萬壽を祝して蒙古都部の建立したもので熱河屈指の古刹である。

普。寧。寺。大佛寺。乾隆二十年準噶爾を平定し十月四額魯特の舊附新歸の部落民が山莊に謁を賜つたものを機として勅建されたもので、武功の完成を記念した、七丈二尺の千手千眼の佛像が祀つてありつて、之の大佛に因んで大佛寺と俗稱されて居る。

須。彌。福。壽。廟。避暑山莊の北、布達拉の東にあつて乾隆四十五年皇帝七十の萬壽を祝する爲、西藏の札什倫布廟に倣つて築造されたもので教主を此處に滯留せしめた由緒あるもので札什倫布は西藏語で福壽須彌山の義で俗に後藏廟、行宮と稱されて居る。

外觀内容共に純西藏様式で本堂には釋迦佛を祀り屋根の銅瓦に鍍金し燦然として人目を奪ふ。本廟背後にある六重の琉璃塔は華麗を極めたもので下層の壁畫は剝落して居るが往昔の華麗さを偲ぶに充分である。

普。陀。宗。乘。之。廟。乾隆皇帝六十の萬壽節を目標として乾隆三十二年三月起工したものが皇帝の萬壽

には竣工に至らず翌三十六年八月、四ヶ年半の工程を経て竣成したもので熱河諸廟中最大規模のもので俗に布達拉廟と稱されて居る。

佛殿を縫ふて上ると紅臺に達す、高さ三百尺、方五百尺殿宇の最高所に六方亭及八方亭があり、中殿と共に鍍金銅瓦で葺かれて居り祕境熱河の人工と自然美の極致を併せて天下無双の大觀である。

他普陀宗乘廟の西方に、乾隆三十九年の勅建になる珠。像。寺、五百羅漢を排列した羅。漢。堂、市街の西端に近く文廟がある。文廟は昔日承德學府の跡で乾隆四十一年塞外に人材養成を圖るべく學宮を建て四十三年承德府學と定められたものである。

文廟の東の一廓にある尊經閣の樓上には古今圖書集成一萬卷を初め天下の稀觀、珍什が今尙所藏されて居り、滿洲國內文廟中最も制式に叶ひ氣品高いとされるものである。

灤河下り。灤河下りは古來有名なもので日本の天龍峽乃至保津、筑摩川下りに比せられて居る。

河北灤河まで五百餘支里、風景の最も勝れてゐるのは下板城から國境の喜峰口を過ぎ撒河橋附近までの間で、下航常水時四日、水量によつては三日又は八日にもなる。

【旅 館】 承德ホテル、日光ホテル

天津
TIENTSIN

天津は一八六〇年の北京條約によつて開港された北支那第一の貿易港で港としては天恵に乏しい白河々岸の河港である。

白河は北支那に於て海洋船舶が航行出来る唯一の河で源を長城の獨石口に發し太沽口で渤海に入る。俗に海河と呼ばれ三岔口、太沽間三十五哩が白河航運の主要部分である。河幅も河口約三百米、天津附近で二百米に足りないので満潮を利用して天津まで週航し得る船舶も一千數百噸のものに限られそれ以上のものは塘沽、太沽に繫留し北寧線又は小蒸汽船で天津に連絡して居る。

白河に合流する河北五大河の中運河は隋の煬帝が建設した白河と長江を連絡する大運河で本運河によれば天津と山東省の濟南と連絡することも出来自然是等の運河によつて北支の物資が天津に集散されることは勿論北運河によつて天津、北京、通州の連絡も自由である。

一九三四年度の天津港出入船舶隻數は一、三二六、輸出入額は二〇九、二五〇千元（一九三三年）、輸出品は棉花、未精製毛皮、羊毛、等を主とし輸入品は鐵及鋼、綿布、綿製品、羊毛製品、小麥、麥粉等である。

天津の外國租界は北清事變前後に設定されたもので最初は、日、英、佛、伊、獨、露、白、澳の八



北京・萬壽山



天津・繁華街



青島・日本人街



濟南・大明湖

租界で大戰によつて獨、露、白、塊は回收され現在、日、英、佛、伊の四租界のみである。

各租界は各國思ひ思ひに文化を取入れて經營したもので各租界共独自の風格を持ち各國の縮圖を見る様である。天津の總人口は一、二三一、五〇〇人で日本内地人數は八、一六〇人で天津在住外國人中最多數を占めて居る。

佛租界から日本租界を貫き支那街に通ずる間は、北支第一の商業の中心地天津繁昌の商業的大動脈をなすものであり日本租界はその心臓部を占めて居り英、佛、日の各租界は白河に沿ふて下流から上流に並び日本租界は支那街に接し日本租界の對岸伊太利租界は租界中最も狭少な地域にかかわらず、夜は「ハイ、アライ」「輪子的福」等の賭博觀樂境となり不夜城の觀を呈してゐる。

各國租界には大和公園、ヴィクトリア公園、フランス公園、イタリー公園、ロシア公園等特異な型を持つた公園がある。

北支の上海と言はれる天津の娛樂機關中王座を占めるものは天津競馬で俱樂部が三つあり各競馬場を持ち春秋二回大競馬を舉行する。

北 京

PE-KING

北京は一千餘年前、滿蒙地方に興つた遼が此の地に都城を築いて以來引つづき金、元、明朝及清朝

の五朝が宮居した所で、古くは燕京、北平府と言はれ最近まで北平と稱されて居た。

二十餘年前清朝が滅亡して中華民國になつて後も國民政府が南京に遷都するまでは矢張り支那の政治、經濟の中心地として繁榮し、現在でも北支那第一の大都會である。

斯く一千年の間一國の首都として經營した都である上、康熙、雍正、乾隆三代の燦然たる文化の黄金時代も此の地を中心として現出されただけその後の數度の事變内亂によつて荒廢しても尙舊帝都の偉觀を備へてゐる。

北京城は周圍二四軒の内城とそれに接續する長方形の外城から成立つて規模宏大、高さ十米、厚さ基底約十九米、壁上約十六米の堂々たる黒煉瓦造りの城壁をもち舊皇城は内城の略々中央にあつて周圍十軒餘の牆壁でかこまれ内には紫禁城をはじめ太廟、社稷壇、西苑、景山等の豪壯華麗な建物や禁苑がある。

なほ外城には天子が祭天を執行された天壇、天神地祇を親祭された先農壇等をはじめ、寺院、陵墓、園囿等があつて外城の三分の二を占有して居る。

政治的重心が南に移り、經濟的にも天津などの活潑さを持たない北京は、東洋文化に培はれた觀光都市となつて居り従つて觀光箇所も非常に多く一通り北京を見學するには自動車で三日を要し長城見學まですれば四日を必要とする。

北京市は内外城三七・一五平方軒及それを繞る約十倍の廣さを持つ四郊を合せて總面積七一・二五平方軒で丁度東京市と同じ位の面積を持つてゐる。

市の總戸數は三〇三、五〇〇戸、人口、一、五六四、〇五〇人、その中日本人は内鮮人合計二、〇〇〇餘人である(昭和十一年調査)

紫禁城に近く内城の南側に、銃眼のついた圍壁に繞らされた一廓を東交民巷又は公使館區域と言つて義和團事變の議定書によつて設定された共同祖界の様なもので、この區域には一切支那人の居住を禁止、行政も公使館行政委員會の手によつて行なはれて居る。

日、英、米、佛、伊、獨、白、蘭、西、丁等の各國大使館は凡てこの地域に軒をならべ、日本、英國、米國、佛國、伊太利の護衛兵も駐屯し外國の商館等もこの區域にある。北京在住の歐米人約二〇〇〇程である。

名勝地

北京は「東洋の巴里」と評されて居りますが、永い間大帝國の國都として千餘年の歴史と自然と人工の三者が渾然融合して市そのものが一つの觀光地となつて居り一枚の瓦、一本の古樹が直ちに感性の對象となる位美しい處である。

紫禁城 内城の中心、景山の南陽にあり、宮城の四面に城門を設け、天安門は正門で南面し、北

面のものを地安門（俗稱後門）、東面のものを東安門、西面のものを西安門と云ひ、南面のみは特に外廓を設けて一門を開き内城の正陽門に達して居る。

觀覽希望者は東華門又は西華門で三十仙の入門料を支拂ふて城内に入ると南東に偏した處に一廓をなして居るのが紫禁殿で紫禁殿は内裏宮殿のある處で略々南北の二部分に分れ南半は天子の朝儀に當てられた外朝の諸大殿、北半は帝後の起居された内廷の諸宮殿になつて居て外朝の正門である正門は世界最大の門建築として知られ現在は歴史博物館となつて居る。

外朝の諸大殿は古物陳列所、内廷の諸宮殿は故宮博物院として一般の觀覽に供せられ、その他歴代の帝后を奉祀する太廟は、故宮博物院の分院、天子親ら五穀豐饒を祈願された社稷壇や紫禁城の鎮山であり且つ明の崇烈帝の悲痛な最後で有名な景山は夫々遊園地として開放されて居る。外城には、天子が祭天の儀を執行した天壇、天神地祇を親祭した先農壇等がある。

天壇 外城永定門内東、正陽門大街を隔てて先農壇と相對して居る。參觀料金拾錢。天壇は明朝永樂十八年の創設に係り皇天上帝を奉祀せるる祭壇で周圍約三哩の廓壁を繞らし廓内に更に塀を築いて齋宮、圓丘、皇乾殿、祈年殿等の設けがあつて宏大な事に一驚を喫する。右の内圓丘が天壇の主體をなして居る。

先農壇 外城永定門天壇の西にあり廓内には先農壇の外に天神、地祇、太歳の各壇がある。

觀象臺、内城の南東、角樓北側にあり元の至元十六年の建設によるもので天文臺である。

臺上に陳列されてゐる天體儀、赤道經緯儀、黃道經緯儀、地平經儀、象限儀、起限儀、地平經緯儀等は康熙初年ベルギー人フェルウエスト（南懷仁）に命じて製作せしめたもので、機衡撫辰儀は乾隆初年の作と云はれ清國末年までこれらの儀機は觀測に使用された。

北清事變の際、佛獨兩軍が戦利品として一時本國に持去つたものを後年ヴェルサイユ條約によつて返還され、再び臺上に陳列、毎日外國人に限つて參觀が許される。

萬壽山 以前は禁苑として觀覽を許さなかつたが民國三年以降玉泉山と共に之れを開放して公衆の觀覽に供せられて居る。參觀料一弗七〇仙、車置代三〇仙。

萬壽山は乾隆以來の離宮の所在地で善美を極めた殿堂樓閣も革命戰爭、英佛聯合軍の損害を蒙つたものを西太后垂簾の當時大改修した結果再び結構壯麗の美を極めたが第二奉直戰に又も蹂躪されてより修復されず今日に至つて居る。

内に仁壽殿、昆明湖、玉欄堂、樂壽堂、石舫等があり言語に絶する昔日を偲ばすに充分である。

玉泉山 靜明園と稱し、萬壽山の西方約一哩半、山頂に高塔聳立し山麓に森々と綠林が繁つて居る。金朝の行宮芙蓉殿の遺趾で爾後、元、明を経て清の康熙年間更に離宮を設けて澄心園と名づけられた。

中に「天下第一泉」の五字を刻した清泉の湧出する所がある。この清泉は昆明湖その他を経て白河に至つて居る。

此處より見た西山一帯の連嶺、北京城外の郊野、昆明湖の幽景は風光絶佳である。西山の勝地。北京の西郊一帯を西山と總稱される。萬壽山、玉泉山と共に、北京郊外の勝地として知られ、山中寺觀の見るべきもの多く、避暑遊覽の好適地である。

行樂、觀光には京門支線によつて黃村、三家店に下車するを可とする外、北京から自動車の便もある。自動車は西山八大處、往復六時間以内五人乗十四圓、七人乗十八圓である。

八大處。黃村の西北にあり、長安、澄果靈光等の各寺に寶珠洞を加へて八ヶ所を八大寺と稱せられる。

香山。萬壽山、玉泉山と併稱される西山三山のいで黃村の北にあり、山中の青宜園最も風致に富み、鬱蒼たる樹間に樓閣高塔あり雅致ある處である。

外に元代に創開された碧雲寺等がある。

外北京の遊覽箇所としては鼓樓、鐘樓、國字監、孔子廟、喇嘛廟、太廟、中山公園、內延等がある。

濟南

TSINAN

濟南は黄河の氾濫によつて運ばれた肥沃な黄土地帯の中心地で人口約四十四萬（内在留邦人二、〇三〇名）、北支那に於て北平、天津に次ぐ大都會で現に山東省の省域で青島に通ずる膠濟鐵道と天津、浦口間の津浦鐵道との接合點に當るだけでなく黄河水運の要地として交通、經濟上の中樞をなして居る。

市街は内外二重の城内と商埠地から構成され、濟南の商埠地は明治三十五年獨逸の勢力を制する爲支那政府自ら萬國五市場として開放したもので城の西に接し街路は碁盤狀に走り外城の普利門に通ずる二馬路が最も賑かである。

海外輸出品の主なもの落花生、落花生油、小麥、棉花、大豆、豆油、牛皮、牛骨、羊毛、麻、大麻子油等で輸入品は主として綿糸布、煙草、砂糖、紙、燐寸、浦産物、人絹、麻袋、木材等で青島の貿易年額一億七千七百餘萬元の中約一億元は濟南經由である。

工業としては製粉、紡績、燐寸、セメント等で現在貧弱であるが、交通の至便、豊富な資源を擁して居る此の地の將來は大工業が勃發するであらうと見られて居る。

濟南は昭和三年五月三日の濟南事件を以て忘るる事の出来ない事である。

名勝地

濟南は一名歴城と言はれ古代より開けた所で東洋文化の發祥地とされて居る。

太公廟 濟南城內關外にあり齊公として濟南を治めた太公望「呂尙」を祀つた處である。
大明湖 李裕の游大明湖記に「濟南七十二泉あり、滙して明湖となる。北大門より濟に注ぐ、城の三分の一を占む、延々長堤、堤傍柳多く、七橋に跨り、以て諸々の流れを流す」とある様に清水を湛へた湖上や湖畔には歷下亭、滙泉寺、李公祠、鐵泉祠、佛公祠、曾公祠、等があり今でも湖上には多數の畫舫が浮び蓮花の中を舟遊びすることも出来る。
趵突泉 城内南關呂祖閣の境内に湧き日夜間斷なく噴出する水量は小清河の水源をなし濟南市民の飲料水もここから供給されようとして居る。

青島

CHIN-TAO

青島は膠濟鐵路（舊山東鐵道）の起點で鐵道沿線は泰山、曲阜の靈地聖境を過ぎて濟南に至る。

海路は大連、神戸、上海の各貿易港に通じ北支那に於て天津に次ぐ貿易港である。

五十餘年前まではさゝやかな漁村であつたが東洋制覇の野望に燃へたドイツの注目する處となり、明治三十一年暴民のドイツ宣教師殺害により膠州灣一帯を占領、支那に迫つて獨支條約を締結、翌年三月山東鐵道布設權、沿線鑛山採掘、膠州灣租借を約した。

爾來十六年間巨額の費用を投じて軍事、經濟上の要地として經營し來り。大正三年歐州大戰の勃發により日英同盟の情誼により日本は宣戰を布告し大正三年十一月攻略、以來八ヶ年間ドイツに代つて青島と山東鐵道及その附屬鑛山の管理に當り大正十一年ワシントン會議の結果、山東鐵道借款權を保留したのみで支那に還附した。

青島はドイツが東洋に於ける小ベルリンを建設し様とした處で綠樹の間に宏壯な洋館が隱見し、海水浴場も忠の海、舞鶴濱、三日月濱その他五ヶ所程あり、夏季になると天津、北京、上海、香港あたりから内外人避暑客が殺到し盛況を呈する。

人口は青島郊外全體を合すれば四十八萬餘に達するが市内は二十五萬四千人その中日本人は一萬三千人で在留外人數の九十三%を占めて居る。

經濟方面に於ては天津に次ぐ港で築港も整備し、我克專問の小港と大船専用の港に別れ一萬噸級の大船を繫泊せしめる能力を持ち、昭和九年の青島の貿易額は純外國輸入四千八百四十八萬五千元、純支那輸入三千四百五十八萬四千元、輸出九千四百五萬一千元、總計一億七千七百七十二萬元で逐年増加の趨勢にある。

青島の背後地が落花生、棉花、石炭、天日鹽等の資源に恵まれた山東省である爲め邦人の大工業が勃り一億四千萬餘圓の投資がなされ、内外棉、大日本紡績、長崎紡績、富士瓦斯紡績等八社がありその外獨逸から繼承した最も完備した屠獸場があつて九〇%を日本に輸出して居る。

上海
SHANG-HAI

上海は揚子江の一支流黃浦江の十三漚上流にあり別名を申江、申城、滬濱、滬上等と稱され前清時代には松江府に屬し他地との通商も行はれ戎克貿易の要地であつたもので、今日の殷盛を見るに至つたのは、全く外國貿易の結果で一八四二年開港以來漸次發達し今や人口三百七十六萬、内在留外人約七萬その半數は邦人である。

在留外人の國籍は二十餘を算し國際都市としての面目躍如たるものがある。

市街は大別して租界と支那街で更に細別すると舊城内、南市、閘北、浦東、佛租界、共同租界の六部になつて居る。

現今上海の外國租界は二大別して共同租界と佛租界で共同租界は元英租界と米租界でしたあつたものが今は合併して一般外國人の居留地になつて居る。

共同租界は東區、北區（米租界）、中央區（英租界）、西區（新租界）の四區に分れ南方で佛租界と接続して居る。

中央區は實に上海の目拔で商業區域とも稱すべき處で市内電車は、其の江岸通の黃浦灘路を發着點とし南方は佛租界の江岸に接続し、北方は蘇州河に架した白渡橋を渡つて北區と相通じて居り、西側

には英國總領事館を始め各種の大厦高樓が軒を並べ、東側江岸に沿ふて芝生や街路樹に彩られた散歩區域が設けられて居る。

中央區の主要道路は黃浦灘路をはじめ、之れと垂直に連る蘇州路、北京路、南京路（大馬路）九江路（二馬路）等があり之れと並行して南北に四川路、江西路、山西路等があつて就中、南京路は上海第一の大街路で内外巨商の店舗が左右に連互し、福州路には茶園、酒館、茶館等が金色の招聘を以て人目を眩惑し日没後は行人で街路を埋めて仕舞ふ程である。

南京路を西すれば西區の靜安寺路に出る、此處には外國人競馬場、支那式の花園などがあるが、それ以外は外人の閑雅な住宅地で別天地の感がある。

中央區の北方白渡橋を渡れば北區で北蘇州路は水陸兩面の貨客の出入する處で之と交叉する吳淞路、北四川路等の各主要街路の南端は各々蘇州河に架した鐵橋を以て中央區と連絡して居る。

又白渡橋の北首から右折し東北走する黃浦路、西華德路等及び之れに交叉する文路、武昌路、天潼路等の各街には日、米、獨公使館の他病院、旅館、店舗、郵船會社等の建物が櫛比し殷賑を極め、黃浦路、吳淞路、文路、北四川路の一部には日本人多く日本人街を成して居る、百老匯路及西華德路の二線は東走して、東區と相會する一帶は製絲、船渠、鐵廠の各種工場が集り工業區としての貌を呈して居る。

佛租界は上海縣城と共同租界の中央にあつて江岸に沿ふ黃浦灘路の南端は南市に接続して居て租界の中央地帯と東西に貫通する大街を法大馬路と稱し最も繁華な場所。佛公使館を初め内外巨商が店舗を並べ他の街にも支那商舖が軒を並べ相當の繁榮を見せて居る。西南一帶の新租界地は内外富紳の住宅地になつて居る。

上海縣城は、別名を滬城又は申城と稱し明末、倭寇に備ふる爲め築城されたもので周圍三哩、七門を開いて居たが最近之を撤去した。

城内は純然たる支那式で各建築物は頗る雅致に富んだものがあり、新北門、大東門、小東門に通ずる大街は、繁華で綢緞、雜貨、骨董、玉器等の商店が軒を連ね商業上に於ては支那外國爲替相場の建値決定地として極めて重要な地位にある。

又支那各省よりの輸出品、諸外國よりの輸入品を集散して貿易額は全支那各港中第一位にあり總額九一七、四五六・五九五元（一九三六年）で全支貿易額の四分の一を占めて居る。

輸入品の主なものは綿糸、綿布を第一とし機械、石油、金屬類、砂糖、石炭、染料、木材等が之に次ぎ、輸出品としては生絲、柞蠶糸、棉花、製茶、其他豆類、牛皮、羊毛等を主とする。

工業として最も盛大なものは綿糸及絹糸貿易、造船業、機械業、金巾製織、毛織物、等で綿糸紡績の主なものは、内外紡績、日華紡績、上海紡績、怡和等で絹絲紡績では上海製造絹絲紡績廠、信昌絲

廠、怡和絲廠等である。

農業は背後に廣漠たる沃野が連り水田七分、畑地三分の割合で米を第一とし、麥、菜種、大豆、落花生等を産し畑地には棉花の栽培が盛んである。

名勝地

公。園。公家花園、新公園、虹口公園、共同公園、六三園、張園、愚園、徐園の各公園が散在し設備が完備し、夏日の消暑その他綠地帯として美しく點景されて居り、公家花園は在留外人専用の公園になつて居る。

記念碑。ハリ、パークス氏銅像、黃浦江畔に屹立して居るハリ、パークスは我國に駐割した後清國駐割欽差大使として敏腕を振つた人で英國の生れ、像は一八九〇年在留外人が建設したものである。

公家花園に常勝軍記念碑、黃浦灘路にイルチス號遭難記念碑がある。

湖。心。亭。上海縣城新北門内に在り破風造りの技工は精妙を極めて居り、附近は城内隨一の歡樂境として知られて居る。

龍。華。寺。城南約六哩、吳の赤鳥五年の建立になる莊麗な古刹で門前に七層の塔があり、結構、幽雅、附近一帶の桃花と相俟つて江南の風光中隨一の感がある。

外に、清國の偉人李鴻章を祀つた李文忠公祠、靜安寺、徐家匯天主堂、天文臺、孤兒院等がある。

蘇州
SOO-CHOW

古名を姑蘇又は平江と言ひ、大運河と蘇州河の會流點に位し、滬寧鐵路に沿ひ近くに太湖を控ゆる江蘇屈指の大都市で現在人口は五十萬と稱せられてゐる。

日本の租界もあり邦人は百人位で下關係約で開市したものである。

先秦、吳の都城以來、歴代重要な都市であつた爲名勝古蹟に富み遊覽地多きも商業上には見るべきものがなく外國貿易も上海を通じて行はるゝに過ぎず主要物産は生絲、絹織物、刺繡、玉石等を主とし農産物には米、茶種等が豊富である。

此の地は古來、杭州と併稱される風光明媚、氣候溫和、物産豊富、加ふるに人情また嫺雅、美姬の産地として著名である。

城内は巨大な城廓を繞らし高さ二十呎、南北三哩半、東西二哩半、東に二門、西に二門、北に一門西南隅に一門都合六門を備え、外周には運河を開穿し、五箇の水關を設けて城内外の水運の便を圖つてある。

之の用水路は各門から通ずる大街を基幹とする幾多の大小街路と相交錯し、水溝には到る處に石造弓狀の鼓橋を架して交通の連絡を保つて居て所謂姑蘇三千六百橋と言はれるのが之れで水都の面目躍

如たるものがある。

途上至る處に殷賑な市街を成し、殊に中央大街には絹織物、絹絲其の他の巨舖多く城内中央の觀前大街（一名玄妙觀通）は城中最繁華の街區である。

城外蘇州車站から東南部の外國公共租界に至る迄運河に沿うて廣濶な馬路を通じ特に車站に近き一劃は商店、旅館、料理店、劇場等多く城外最繁榮の地區である。

各水路を利用して鎮江、上海、杭州に至る交通路が開けて居る。

名勝地

天賜莊 葑門（東部）内にあり米國宣教師の占居する一帯で教會堂其の他大小の洋風建築立ち並び蘇州城内の一異觀である。

孔子廟 盤門（西南隅）内農事試驗場の東隣にあり、結構の壯麗なる事江南稀に見る處で内部儀門の内側に宋代の蘇州圖（平江圖）があり、戟門には有名な天文圖及び本廟重建碑がある。本廟の正殿を大成殿と言ふ。

滄浪亭 孔子廟の東、宋の蘇子美の居のあつた處で景致頗る幽雅、百五名賢祠には清朝以前の蘇州の大官五百六十名の遺像及び題贊が刻つてある。

玄妙觀 圖妙觀とも言ひ、觀前街にあり、唐代には開元宮と稱したのを元代に玄妙觀と改めた巍然たる大伽藍で樓門内に三清殿、彌羅寶閣、東嶽殿等がある。

寒山寺。府城の西方約三哩、楓橋にあり、唐代の開基であるが荒廢の結果現在の堂宇は近時再建したもので楓橋は唐張繼の夜泊の詩で名高い處、寺内には明朝の書家文徵明の筆蹟を刻した夜泊詩の古碑がある。

寶帶橋。盤門外東南約二哩、大運河と澹臺湖に架せられた大石橋で橋脚五十三、長さ千二百丈、漢の武帝の時初めて架設され後唐代に再建の時刺史王仲舒が自分の束帶を賣つて工事を援けた爲此の名がある。

靈巖山。府城の西北約十二哩、一各硯石山と云ひ、山骨露出して奇岩、怪石千態萬狀を爲す。中腹に靈巖寺がある。

天平山。靈巖山の北面に對峙し、山態巍峩、奇石怪石全山を蔽ひ、綠林の間に朱欄、白堊が隠見して居り。山中に白雲寺その他あり、晚秋紅葉の美觀を以て有名である。

太湖。蘇浙兩省に跨る支那有數の大湖で面積一千方哩、南北三十哩、東西四十哩、大小幾多の湖沼と脈絡し灌漑、舟楫の便極めて良く、水域附近には都邑無錫、震澤、平望、南潯、湖州が点在し江南の富源をなして居り風光明雅、漁産に富み、鯉魚、白魚、銀魚等多額の收穫を示して居る。

杭州

HANG-CHOW

杭州は大運河の南端に位置し浙江省の首府で、巨大な城壁を圍し、市街は城内、城外に分れ、水陸共交通至便。商業、工業盛んで貿易額も年二二、五六一、五六〇海關兩(一九二四年)に達し、人口も五十七萬餘と言はれて居る。商業は絹織物、茶、剪刀等の取引多く、工業に於ては絹織物を主とし綿絲、綿布等を生産し、農産物には茶、米、棉花、蓮根實、貿易品としては茶、葉煙草、生絲、絹織物、麻、紹興酒等を移輸出し、網絲布、卷煙草、砂糖、石油、海産物等を移輸入して居る。

城内は慶春、清泰、望江外十門を開き別に數個の水門があつて運河、西湖との便に供して居る。城内は三部に分つて上城、中城、下城と稱し上城が一番殷賑である。

省城の西は有名な西湖に面し西湖の風光明媚なるを以て支那の「瑞西」と言はれる。

日本租界は、省城武林門外二哩、「拱宸橋」と稱する一帯にあり、支那市街は殷盛で日本租界及各國租界は北隣にあるが併し商業に不便の爲め邦人及外人は杭州城内に雜居し、領事館も西湖々畔に設置されて居る。

名勝地

西湖と湖畔名勝。杭州城の西部にある湖水で四周連峰を連ね、湖上及湖畔には幾

多の名勝、奇観があつて、好個の遊覽地である。
古來、文人墨客に愛好され、西湖十景、又は三十六名蹟を列擧し、若くは七十二勝を算へて勝景を贊嘆して居る。

觀光には船遊を最上とし畫舫は孤山、湧金門外で雇へる。湖畔の名勝は次の如く

柳浪聞鶯、雷峯夕照、南屏晚鐘、蘇堤春曉、花港觀魚、三潭印月、雙峯插雲、湖心平眺、曲院風荷、平湖秋月、斷橋殘雪、放鶴亭

右の裡三潭印月を随一と言はれて居る。

南京

NAN-KING

南京は民國中央政府の所在地でこの明代創建の古城にも顯著な新文化の建設が行はれつつある。人口約百萬、在留外人約一千名と言はれる政治、軍事上の中心で、滬寧鐵路、津浦鐵路及江寧鐵路の終點、發驛とし又揚子江の利用により水陸兩方面の交通上の要樞である。

城は南東、鐘山の麓から西北、揚子江岸に亘り、高さ三十尺乃至五十尺、周圍三十二哩の磚壁を繞らし市街は東南半部一帯に展開して居る。城門は儀鳳門、定淮門、聚寶門、洪武門等十三門を開き聚寶門内は最も賑やかな商業區を占め、洪武門を入れれば有名な明故宮に達する街路がある。

西北には洋々たる玄武湖を控へて居る。

道路は大別して四條あり、市内の交通には人力車、馬車、自動車以外には全市を環流する秦河の運河と江寧鐵路があつて江寧鐵路が最も利用される。

商工業は相當に殷賑を極め、物産は附近の農産物の外城南の鳳凰山には鐵を産出し、工業品としては絹織物、綿布の外手工業品に扇、蓆、毛布等があり、絹織物は従業者九萬を數へる程であるが製品は舊式且つ不精巧である。元、青、緞（南京縐子）と板、鴨と言はれる家鴨の鹽漬は名物である。

農漁業としては南京附近一帯に稻田多く米が第一位を占め、棉花、大豆、茶、麻等が之に亞ぐ、漁業は長江で行はれ鯉魚其他で鯉、草魚、青魚等の養殖も盛んに行なはれて居る。

此の地は國民政府の所在地とし政府諸機關、各國政治機關、軍事機關の外各大學等があつて文化の中心地になつて居る。

名勝地

明故宮 朝陽門内にあり、明初洪武帝の宮城のあつた處で現在では宮城、城

壁悉く太平賊、及革命軍の兵火で灰燼に歸し、五龍橋と冷宮が僅かに殘存して居る。

血碑亭 明故宮に在り、方孝儒の遺蹟で、方孝儒は燕王に順逆を論じ罵つた爲め、極刑にされた人である。



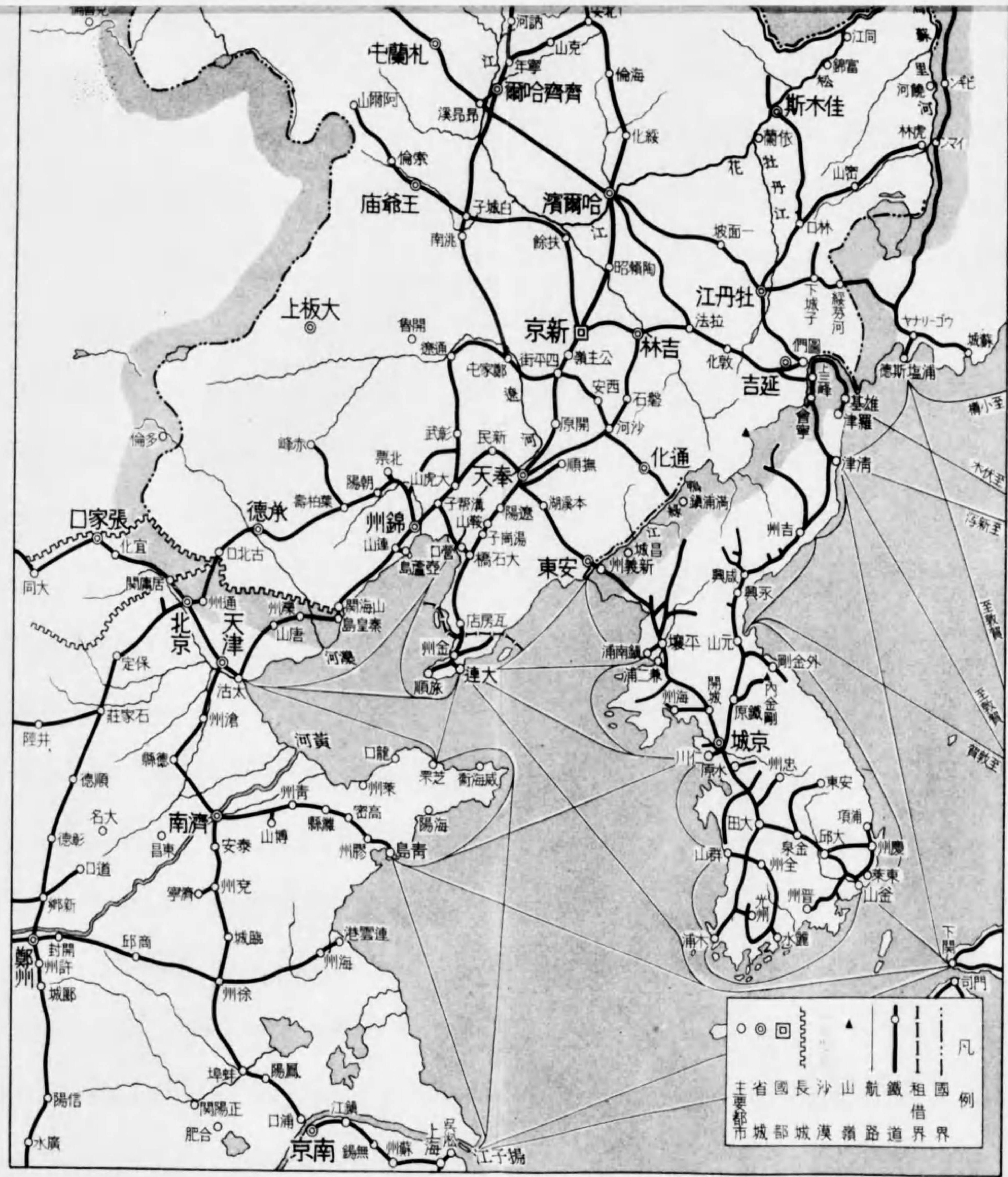
明孝陵 朝陽門外三哩、鐘山の南西獨龍寺に在つて明の大祖洪武帝の山陵で馬皇后を合葬した處で、規模宏大であつたが長髮賊の亂に兵火に罹り址礎のみ残つて居る。

爾徐の皇陵 朝陽門から東方約八哩、麒麟門に至る間にある十三陵の中第三陵である。

朝天宮 城内水西門附近にあり周圍に廊壁を繞らした宏壯な建築で正門は常に閉され來訪者は門錢十仙乃至二十仙を投與して傍の持敬門から入る事になつてゐる。往昔吳王の佩劍を鍛冶した所と傳へられる。

中山陵 市内を南北に貫く中山路の行き止りに設けられたもので革命の元勳にして、新支那の生みの親、中山先生、孫文の陵墓で一般民衆の尊敬と崇拜の的となつて居る。

外に鷄鳴寺、施食堂、臺城、幕府山、獅子山、石頭城、烏龍潭外數多の古蹟名所がある。



中山陵。市内を南北に貫く中山路の行き止りに設けられたもので革命の元勳にして、新支那の生みの親、中山先生、孫文の陵墓で一般民衆の尊敬と崇拜の的となつて居る。

外に鷄鳴寺、施食堂、臺城、幕府山、獅子山、石頭城、烏龍潭外數多の古蹟名所がある。

是門鐵十仙乃至二十仙を投與して傍の掃墓門から入る事になつてゐる。往昔吳王の佩劍を鍛冶した所と傳へられる。



昭和十三年八月五日印刷
昭和十三年八月十五日發行

東京市赤坂區葵町二番地
發行所 南滿洲鐵道株式會社
東京支社

東京市牛込區市ヶ谷臺町八番地
著作兼 發行人 中澤不二雄

東京市深川區白河町四丁目一番地一
印刷者 松井方利
東京市深川區白河町四丁目一番地一
印刷所 東京印刷株式會社

鮮滿案内所

東京	東京丸ノ内ビルデング 電話九ノ内(23)一六八八、一八七三
東京	虎ノ門滿鐵ビルデング 電話赤坂(48)二二一一——二九番
大阪	大阪市東區堺筋安土町 電話本町一七〇〇、一七〇一
名古屋	名古屋市中區廣小路通二丁目 電話本局二一七四番
門司	門司稅關前 電話本局一六一番
下關	下關稅關前 電話本局四七七番
新潟	新潟市古町通六番町 電話本局九六三番
新潟	新潟市古町通八番町 電話本局七八八番

◇案内所の業務◇
朝鮮、滿洲、中國に關する各種の質問、應答、旅行通關、貨物に關する説明、活動寫眞及講演出張業務一切無手数料

終



1938

南滿洲鐵道株式會社東京支社
東京市赤坂區葵町二